

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	澳門大学	
留学期間	2023 年 8 月 14 日 ～ 2024 年 5 月 31 日	
所属学部・学科	産業情報学部 企業システム学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科
留学出発時の年次	3 年生	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOEIC LR840、英検準一級
帰国時	未取得

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
・英語に関しては、英語力（特にスピーキング能力）自体も上がったのももちろんですが、自分の英語の自信をもって話すといった精神的な成長は大きかったと思います。 ・中国語に関しては、自己紹介と日常生活に必要な必要最低限な単語とフレーズは話せるようになった。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
・学業の面では、観光、IR（統合型リゾート）、私の専門であるマーケティングなど専門的な知識を学ぶこと。 実際に観光業、IR、マーケティングの授業をすべて履修して単位を取得し、専門的な知識を学ぶことが出来た。 ・その他の部分では、主体性や積極性、問題解決能力や異文化理解力を身に付けることを目的に留学した。 授業では、積極的に発言したりグループワークやディスカッションに参加したりし、自分が苦手とする主体性や積極性を以前よりかは向上させることが出来たと思う。また、国際交流のイベントなどにも積極的に参加し、留学生との交流を通してその国の文化や人々について学び、問題解決能力においても、留学中は数えきれないほど多くの問題に直面したが、柔軟に対応できるようになったと思う。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。 今後の目標としては、まずは語学レベルがどれくらい上がったのか確認するために語学試験（英語、中国語）を受験し、引き続き語学の勉強に励むこと。また、留学の経験を活かすことのできる仕事に就きグローバルに活躍できる人材になること。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	澳門と澳門大学に関する情報が少なかったため、澳門大学に行ったことのある担当教授の方から実際に色々とマカオに関してお話を聞くことが出来たので、事前に澳門での大学生活をイメージすることが出来、留学に対する不安が軽減された。また言語の面でも、基礎的な中国語の勉強は日常生活を営む上で役に立った。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	10 日程度
申請時期	☐ 渡航前 ・ ☒ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	記憶が正しければ、事前に指定された写真と、パスポート、澳門入境時にもらう白い小さい紙が必要だったと思います。費用は必要なかったと思います。 指定された日に他の留学生とともに学生ビザを申請しに行くので、あまり心配はいりません。まずビザを発行する場所に行き、申請を行います。その後、学内にある警察署で学生ビザの発行を行いました。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
事前に荷物は発送していません。大型のキャリーケース 1 つとリュックサックと手提げバッグ 1 つを持っていました。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
・那覇空港から香港国際空港 所要時間：約 3 時間 移動手段：飛行機 ・香港国際空港から港珠澳大橋口岸 所要時間：1 時間 移動手段：バス 2 千円ほど ・港珠澳大橋口岸から澳門大学 所要時間：1 時間 移動手段：タクシー4 千円ほど（公共バスも利用可）
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
なし
その他出発前に準備しておくべきこと
・語学の勉強 澳門大学では語学学校がなく、すぐに英語の授業に参加することになるので、事前に英検準一級レベルの英語力が必要になると思います。特にスピーキング能力が求められるので、英会話の練習をすることをお勧めします。中国語に関しては、正直ゼロの状態で行っても特に問題はないと思います。もし余裕があれば自己紹介や日常生活で使う簡単なフレーズなどを覚えることをお勧めします。 ・日本の携帯キャリアの契約 海外留学に行く際は、携帯を解約する、保管料を支払って携帯番号を維持（通信料等の料金は支払う必要なし）、または契約を維持したままにする等の方法があります。携帯を解約したら携帯電話番号を失うので、今使っている携帯番号を今後も使いたいと思っている方は、そのまま保管料を支払うか、契約を維持するほうがいいと思います。携帯キャリア会社によりますが、保管料は申込時に 4000 円程度、さらに月々 500 円くらい支払わないといけません。自分の場合は UQ モバイルから POVO に乗り換えて契約を維持することにしました。POVO は月々の支払いがギガを買わない限り、基本 0 円です。（6 か月支払いがない場合は契約が解除される恐れがあるので半年に一度、数百円のトッピング（ギガ等）を購入する必要がある）

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
・Convocation & First Lecture of University 8月15日 新入生に向けたオリエンテーションを体育会で行いました。内容は学長の挨拶や澳門大学がどういったところかなの説明でした。 ・寮でのオリエンテーション 8月15日 学校全体のオリエンテーションとは別で、寮でのオリエンテーションも同日に行われました。寮についての基本的な説明から寮にあるクラブの説明などがありました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
特になし
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
・健康診断 健康診断に関する書類（英語）を提出する必要があります。事前に澳門大学から専用の記入用紙がPDFで送られてきます。書類提出にあたって健康診断を受け、書類を病院で記入（英語）してもらう必要があり、マカオか日本で受けることができます。私はマカオで受けました。値段は約300MOP（6千円）くらいで、他の学生と一緒に指定された日にバスに乗って行きました。日本で受けていないので値段は分かりませんが、到着後はいろいろとバタバタするので、もし澳門と日本において値段の差があまり大きくなければ、日本で受けた方が良いと思います。健康診断に加えて、澳門大学側の予防接種条件があるので、自身の予防接種歴と照らし合わせて必要があれば接種を受ける必要があります。自分の場合は追加で破傷風の予防接種を受けました。接種と英文の接種証明書の書類作成で合計2万円かかりました。 ・銀行口座の開設 銀行口座の開設には、パスポートとlocal id card(マイナンバーカードを持っていなかったで自分は免許証を見せたらOKでした)と澳門大学から送られてくるLetter of Acceptance 入学受け入れの証明書が必要です。銀行口座の開設はモールにある中国銀行で行いました。銀行口座をしたらMpay（澳門版PayPay）にお金を直接チャージしたり、寮費の支払いも中国銀行のスマホアプリを使っています。 ・在留届け オンラインで在留届けを行いました。グローバル教育支援センターから事前に連絡があると思うのでそれを確認してください。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
澳門大学全体における留学生の割合は非常に少ないです。おそらくか1割以下です。また、コロナ明けの初めての留学生受け入れということもあり例年より交換留学生の数は少なかったです。中国人の交換留学生の割合が多く、それ以外の国の交換留学生は20名ほどいました。留学同士の交流は盛んで、人数が少なかったからこそみんなで外に遊びに行ったり、学内で一緒にご飯を食べたりなどしました。国際交流のイベントも多いので、他の留学生と交流する機会はたくさんあります。また基本的に、寮や学校でのイベントも多く開催されるので、現地学生との交流する機会も多いです。

大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
--

学内は非常に大きく自然があつてとても綺麗です。学内には、コンビニ、レストラン、モールがあり施設がとても充実しているので、何不自由なく生活できます。モールに関しては、スーパーやフードコート、美容室、郵便局、銀行などがあるので、何かあったときは、モールに行けば大抵のことは済みます。また、プールや寮ごとにジムがあるなど運動施設も整っています。何より勉強する環境も整っており、図書館は夜 12 時まで空いていて、他には 24 時間空いている勉強室もあります。体育館内にはビリヤードやよくゲームセンターでよく見るバスケットボールとエアホッケーなどのゲーム機などがあり、息抜きをできる場所があることです。 授業で資料をダウンロードしたりするので、PC もしくはタブレット端末が必要です。
--

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

主観ですが、治安は大変良いです。寮には警備員が 24 時間体制で警戒しており、寮や建物に入る際は学生カードをスキャンする必要があるのですが、学内における治安はあまり心配する必要はありません。また街においても、基本的に大通りなどは明るく人も多く歩いているので、危険を感じることはありませんでした。しかし当たり前ですが過信は禁物なので、夜間に見知らぬ裏路地などに行かない方が良いでしょう。また、夜のバスの運転が荒いので、気をつけてください。

保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等

沖縄国際大学が指定する保険に加入しました。14 万円ほどかかりました。
--

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	16 万 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	前期は 8 月に現地の銀行に行き支払いました。後期は 12 月にオンライン（スマホの中国銀行アプリ）で支払いました。
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
メリットは、寮内に勉強室や事務、キッチンなどがあったので、充実した生活を過ごす環境が整備されていたこと。寮内での学生内の交流もできたので、たくさん友達も作ることが出来たこと。何より、困ったことがあれば寮の先輩方や事務所に気軽に相談できたことです。 デメリットとしては、部屋やキッチンなどを含めほとんどが共有なので、たまに汚かったり、騒音や窃盗などのトラブルはたまにあります。また寮は基本的に二人部屋で、ルームメイトは選べないので、ルームメイトとの相性が良いか悪いかは運です。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
普段は寮のダイニングホールや学内のフードコートやレストランでご飯を食べ、たまにデリバリーを頼んでいました。各寮に食堂があり、異なる業者によって運営されています。そのため、メニューや味も食堂によって違います。大体ですが一日寮食で済ませる場合は朝 20MOP（400 円） 昼夜 30MOP（600 円） で一日大体 80MOP（1600 円） くらいです。フードコートやレストラン、デリバリーは大体 50MOP です。寮内に共用のキッチンが各フロアにあり、IH とレンジ、冷蔵庫があります。料理器具ははないので、もし自分で料理をするなら料理器具を買う必要があります。また、学内にスーパーはありますが、基本的に高いので、値段が安い外のスーパーに行くとなると行きかえりで 1 時間ほど時間がかかります。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど）		
ベッド、机、棚、クローゼット、冷蔵庫はもともと設置されています。ベッドシーツと枕は現地で購入しました。 日本から味噌汁やレトルト系の食品は持っても良いかもしれませんが、基本的に必要なものは、タオバオ（中国版 Amazon）で気軽に注文できるので特に困ることはありません。また、日本の製品も値段は高いですが、ほとんど現地で購入できます。		
日常の買い物について		
日常の買い物は、基本的に食材や日用生活品は学外のスーパーで行って購入していました。必要に応じて、タオバオにて購入していました。		
現地での移動手段について		
澳門大学は非常に広いので、学内を回る無料のシャトルバスが出ています。学外に出る際は基本的にバス移動です。運賃は一律 3MOP（120 円）です。学内からは基本的に 71 番、73 番の澳門本島行き、72 番のタイパ行きのバスが出ており、それらを利用していました。夜 12 時以降はバスの路線と本数が非常になくなるので、タクシーを利用していました。タクシー利用の際は、アプリや電話を使って呼ぶのですが、基本的に中国人の友達にお願いしていました。		

休暇中の過ごし方について

大きな休暇は基本的に冬休みと春節の休みの 2 つがあります。休暇中はほとんどの学生が帰省するので、学校にいと退屈します。そのため、ほとんどの留学生は旅行をしていました。私も冬休みは、タイ、ベトナム、中国、春節の休みは、ヨーロッパ旅行に行きました。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☐ 有 ・ ☒ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
学期が始まる前に履修したい授業を登録したが、履修登録調整期間に入った時、ほとんどの希望した授業が登録できていなかったので困りました。沖国のキャンパススクエアのように澳門大学にも専用ポータルがあるので、そこから履修登録の現状確認や履修の登録ができます。私は、登録調整期間中に毎日自分が取りたい授業の空を確認して、人数に空きがあれば登録して、なければキャンセル待ちで登録しました。もし、どうしてもわからないのであれば日本語学科にいるコニーさんという方（私が留学中は在籍していた）に相談してみるか、どうしても取りたい授業があれば、担当教授に直接お願いすれば授業を受けれることもあります。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
授業のレベルは当たり前ですが授業によって異なります。留学生は 1 年生から 4 年生までの授業を履修することが出来るので、学年が上がれば上がるほどレベルが高くなります。ですが私が取っていた FBA（Faculty Business Administration）のクラスは、基本的に授業内ではディスカッションやグループワークが多く常に積極的な発言や参加が求められます。また、FBA は授業内でのグループワーク、中間テスト＋中間プレゼンと期末テスト＋期末プレゼンととにかく課題が多いです。そのため、日ごろの予習復習はもちろんのこと、中間期末になると、毎日図書館にこもって勉強していました。成績評価についても授業によってこととなりますが、私の FBA のクラスでは、ほとんどのクラスで大体出席 1 割、プレゼン 4 割、テスト 5 の割合でした。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
澳門大学にはたくさんのサークルがあります。前期の初めにサークル紹介のイベントもあるので、ぜひそれに参加して自分に合うサークルを探して加入することをお勧めします。私は後期からダンスサークルに参加しました。週 2 の練習で、イベントでの披露やサークルメンバーと一緒に旅行しました。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
PRINCIPLES OF BUSINESS MANAGEMENT	3		
ORGANIZATIONAL BEHAVIOR	3		
PRINCIPLES OF MARKETING	3		
CONSUMER BEHAVIOR	3		
INTRODUCTION TO INTEGRATED RESORT MANAGEMENT	3		
TRAVEL AND TOURISM MANAGEMENT	3		
GLOBAL BUSINESS ENVIRONMENT	3		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		5 万		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		15 万		円	
C. 授業料（1 年） ※冲国大に納める授業料は除く		0		円	
D. 教材費（1 年）		0		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	0	円（月額）	0	円（年額）
	食費	4 万	円（月額）	60 万	円（年額）
	交通費	1 千 5 百	円（月額）	1 万 8 千	円（年額）
	携帯代金	0	円（月額）	5 千	円（年額）
	交際費（娯楽代）	1 万 5 千	円（月額）	18 万	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
生活費合計		5 万 6 千 5 百	円（月額）	67 万 8 千	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		A 5 万円 + B 15 万円 + E 68 万円 + 旅行 70 万円 = 約 160 万円			

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
JASSO の奨学金とバイトで稼いだお金を貯金して数十万円ほど準備しました。私の場合は、貯金の額が少なかったので一度に日本の銀行から澳門の銀行には送金せず、月々の奨学金の入金に合わせてデビットカードを使って月に一回ほどお金を下ろしていました。もしまとまったお金が留学前にあるのであれば、一度に半年もしくは一年分の留学費用を銀行経由で一気にする方が手数料が安く済むと思います。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
お金に余裕があれば、旅行なども楽しむことが出来るので、可能な限り、バイトで貯金、もしくは奨学金を探して留学費用を事前に準備することをお勧めします。また、冲国からもらえる奨学金は 11 月と 5 月の二回に分けて支給されるので、それを踏まえたうえで留学中の費用の計算を事前にしてください。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	澳門大学	
留学期間	2023 年 8 月 13 日 ～ 2024 年 5 月 31 日	
所属学部・学科	産業情報学部 企業システム学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3 年生	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

「留学の総括と今後について」

この一年間を振り返ってみると本当にあっという間で、毎日が刺激的でした。留学中はもちろん、楽しい時もあれば苦しいこともありました。その中で自分自身と向き合い戦いつつも、日ごろ直面する問題に対して自分なりの解答を模索しながら過ごす日々は、間違いなく人生の中で最も濃く、大きく成長した一年間でした。

この留学では、語学力や専門的な学問における成長はもちろんのことですが、何より自分自身の考え方や性格など内面的、精神的部分の成長が一番大きな成長だったと思います。実際、私は内向的な性格で、主体性、積極性といった部分がありませんでしたが、留学を通してより自分に自信を持つことができ、積極性に授業内のグループワークに参加したり、学内のイベントに参加して多くの学生と交流することが出来るようになりました。今回本当に澳門大学に留学に行けたこと、何より目標の一つであった、後悔のない留学を送ることが出来たことは本当に良かったと思います。

具体的に将来やりたいことが明確に決まっていなくて抽象的にはなりますが、将来的には、沖縄と世界の懸け橋になって地元で貢献できる国際的な人材になりたいと考えているので、留学で得た語学力や経験が活かると同時に、自分自身の強みを活かせるような仕事に就きたいと考えています

下記より留学生活や授業などより細かい部分についてお話ししたいと思います。

※マンスリー報告から抜粋した重複する内容もあります。

「授業」

取る授業によりますが、澳門大学では授業内で積極的な発言や参加が求められます。先生が授業中に学生に対して質問して問いかけたりすることが多いので、学生が自ら批判的思考をもって考える力を身につけることが出来ると思います。また、授業やテストに関する情報共有などができるので、授業内で積極的に話しかけて友達を作ることも大切です。最初は勇気がいりますが、実際話してみると皆さん優しいので、すぐに友達になれます。

「日常生活・寮生活」

基本的に食料品の買い出しや遊びに行く以外は大学内で過ごすことが多いです。買い出しでは、タイパにあるサンミューマーケットというスーパーに良くいきました。行き方は 72 番のバスに乗って flower garden 花庭園？（漢字は忘れました）で降りて歩いてすぐのところにあります。他にもドンキや無印が統合型リゾート（ホテル）の中にあります。

また周りの友達が遊びに行くとなると、物価が澳門より安い珠海というマカオの隣にある場所（中国本土）に行くのですが、日本人は VISA を申請する必要がある、VISA 申請には 2 回の入国の VISA で 1 万円ほどかかるので、気軽にはいきません。なので私は最初友達と、澳門内で限りある観光地を巡って、そのあとはバーに行ったり、カフェ巡りや地域のお店を巡ったりして遊びました。

寮についてですが、澳門澳門大学では、レジデンシャル・カレッジ制度というものが採用されており、10 のカレッジがあ

ります。イメージとしてはハリーポッターに出てくるグリフィンドールやスリザリンといった寮のような形で、各学生は入学時に 1 つのコミュニティ（カレッジ）に割り当てられます。そのため学生は経済学部や工学部といった学部だけでなく、それぞれ割り当てられたカレッジにも所属することになります。各カレッジ内には、ダイニングホール（食堂）、勉強室、多目的室、音楽室、ジム、パントリー（キッチン）などの施設があります。また、定期的にセミナーやワークショップ、ソーシャルイベントが開催されます。カレッジ内にはアウトドアクラブ、ダンスクラブなど様々なクラブもあるので、イベントやクラブを通して充実したカレッジ生活を送ることができます。さらに、各カレッジには、RT(Residential Tutor)と RA(Residential Assistant)がおり、何か授業や日常生活のことで困ったことがあれば気軽に相談することが出来ます。私がこのカレッジ制度の中で一番魅力に感じていることは、学生同士の交流の機会がたくさんあることです。カレッジ内には、マカオや中国の学生はもちろんのこと世界各国からの留学生もいます。そのため、異なる文化的なバックグラウンドを持った学生との交流や、学部の枠を超えた交流を通して、異なる視点、文化、知識を学ぶことが出来ます。

恐らく二人部屋の生活も気になる点だと思いますが、正直なところルームメイトに関しては運の部分が強いと思います。留学前にルームメイトの希望を出すことが可能ですが、必ず通るとは限りません。もし中国からも他に澳門大学に留学する学生がいれば一緒に部屋に住むことは可能化もしれません。私の場合は、日本語が話せるすごく優しい中国人の学生だったので、特に問題などなかったです。しかし他の留学生や友人に話を聞くと、やはり騒音や就寝時間の違いによるトラブルがあると聞いたので、その際は寮の RT や RA、事務所の方に相談することをお勧めします。

「友人関係」

澳門大学には、日本語学科の学生やアニメや漫画の影響で日本のことが好きな子も多いので、日本がきっかけで友達を作ることができます。中国や澳門の学生は内向的な学生が多いので、自分から積極的に話しかければたくさん友達を作ることが出来ると思います。さらに、ドイツ、ベルギー、フランス、ロシア、ポーランド、ブラジル、ポルトガルといった他の国々からの留学生も多く、一緒にご飯を食べたり遊んだり留学生同士の交流もあるので、そこにも積極的に参加することをお勧めします。また、個人的には日本人同士の付き合いも大切にした方が良いと思います。留学生の中には、日本語を使いたくないから日本人と絶対付き合い合わないといった方もいると思いますが、留学では様々な問題が発生して一人では解決できないことも出てきます。そういったときに頼りになるのは、母語が通じる日本人の学生なので、互いに助け合いながら、さらには切磋琢磨し合える良い仲間になると思います。しかしながら事実として、日常的に付き合う人によって語学力の成長に差は出てくると思うので、毎日日本人と居るのではなく 2 週間に 1 回など自分なりの適度な距離で付き合うくらいがちょうど良いと思います。

「長期休暇の過ごし方」

私は、旅行をして長期休暇を過ごしました。他の学生は長期休暇の間帰省をするので、大学内にいても暇になります。澳門は他のアジアの国に気軽に行ける場所に位置しているので、ベトナム、マレーシア、シンガポール、タイといった国々に旅行するのはお勧めします。繁忙期でなければ金額も往復飛行機代 2 万円くらいで行け（香港空港から）、食費もや宿泊費も安いので（シンガポールを除く）、金銭的に余裕がない方でも行きやすい国だと思います。

私は、冬休みにはタイ、ベトナム、中国のハルビン、延吉、広東という場所に行き、春節の休みは、ベルギー、ドイツ、フランス、イタリア、スペインの計 5 か国を周りました。旅行では多様な文化や歴史、人との交流を通して、新たな視野を広げることができました。特に今までヨーロッパは、世界の遠い場所といった感覚が自分の中にあったのですが、旅を通して以外に世界は狭いんだなと見方に変化がありました。これは世界に対する挑戦のハードルを下げたという点で、自分にとって大きな変化だったと思います。さらに文化や言語の壁など、慣れない環境下では様々な問題に直面することもありました。その中で冷静かつ柔軟に問題を解決する力を向上させることは自分自身の成長に繋がったと思います。これらすべてを含め旅行は、私の人生において大きな財産になったと思うと同時に、学生のうちから旅行に行く重要性を改めて感じました。

是非皆さんも早め早めのうちに旅行計画を立てて、留学中に色々な国に訪れることを強くおすすめします！！

「留学を考えている人へのアドバイス」

留学を考えている人へのアドバイスを2つ挙げたいと思います。参考程度に見ていただければ幸いです。

・留学する目的の明確化

もしまだ留学の目的を考えていない方が居れば、留学する前に留学の目的を明確化していたほうがおすすめです。おそらく留学に行くよくある目的として、「語学力を上げたいこと」が挙げられると思います。しかし今の時代、わざわざ留学に行かなくても語学力は上げることが出来るので、語学力の向上を目的にしてしまうと、留学で自分自身を成長できる幅を狭めることに繋がると思います。というのも、語学力以外にそこでしか学べない専門的な知識や異文化理解力、問題解決能力など留学で身に着けることが出来るものはたくさんあります。漠然としたものでもいいので、将来的に自分が何をしたいのか、どのような状態でいたいのかを考え、そこから留学の様々な目標に落とし込むことが大切だと思います。私を例に挙げるとすると、私は日本または沖縄を海外と繋ぐことができる国際的な人材を目指したい将来像から、その人材になるためには、語学力はもちろんのこと、異文化理解だったり、問題解決能力、積極性といった部分が必要になってくだろうと考え、語学力挙げるには英語を使って積極的にコミュニケーションを図る、国際交流や旅行に行って自分の視野を広げる、自分がまだやったことのない新しいことに積極的に参加するなど、さらにそこから細分化していった目標を立てました。このように目的志向をもって何か一つの強い軸があれば、1年間の留学を通して途中で留学の目的を見失うことなく、より有意義で後悔のない留学をすることが出来るのではないかと思います。

・Comfort Zone と Take one step further

Comfort zoneという言葉は聞いたことがありますか。日本語に訳すと居心地の良い環境です。人は誰しも安心安全と感じる慣れ親しんだ環境から離れたくありませんが、その環境から抜け出して新しい環境に挑戦しない限り成長は見込めません。私自身心配性と内向的な性格もあって留学以前は、何かを挑戦する際に様々な不安要素を考えては尻込みしてしまう場面が多くありました。そんな中で私が留学中に大切にしていた言葉が Take one step further で、日本語に訳すとさらにもう1歩踏み込むです。留学中は体験するものほとんどが初めてで、なかなか新しいことに挑戦する際に踏みとどまってしまうがちですが、Comfort Zone をもう1歩踏み込んで外に出てみると、違った世界が見えたり、思っていたより簡単だったなど、新しい発見があったりします。また新しいことに挑戦し続けることで、適応力や新しいことに挑戦することのハードルが下がります。そのため、留学中は様々なことに挑戦することをお勧めします。

実際私も様々なことに挑戦してきました。大学では多くのイベントが行われるんですが、できる限り参加して多くの学生と交流したり、未経験の私がダンスサークルに入ったり、中国語ほぼゼロの状態でも中国を一人旅行したり、たくさんの方に挑戦してきました。ここで大事なことで、自分の中で出来る範囲で徐々にやっていくことと、どうにかなるだろうというポジティブなマインドをもつことが、新しいことを挑戦するうえで大事なことでと思います。

是非皆さんも自分の comfort zone からさらにもう一歩踏み出して継続的に新しいことに挑戦してみてください。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レンヌ第二大学	
留学期間	2023 年 8 月 21 日 ～ 2023 年 5 月 17 日	
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科
留学出発時の年次	2 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	実用フランス語技能検定模擬試験 4 級 語学クラス A1
帰国時	語学クラス B1

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時の私のフランス語能力は、フランス人との基本的な会話(挨拶、自己紹介)ができる程度で英語が中心の会話でした。文法はある程度の時制が筆記で使うことができましたが、会話中に正しく使うことはできません。リスニングは、先生方の説明を理解でき、授業内では問題なかったと思います。帰国後は、語学学校のおかげでフランス語だけで会話ができるようになり、何か問題が起されば自分で解決できる能力ができました。しかし、単語のスペリングの勉強を怠ったので、ライティングの点数が悲惨な結果になりました。言語について好きだけ勉強できる機会は留学中だけだと思うので、思う存分語学に集中することができ、貴重な経験ができました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
私は、大学で中学・高等学校教諭免許状の取得を目指しているので、フランスで教育についても学びたいと考えていました。しかし、教育に関しての講義は大学院の範囲でしか学ぶことができず、断念しました。しかし、海外に住む日本人への教育について興味があったので、日仏文化学院パリ日本人学校(文部科学省認定校)に見学を懇願したところ快く引き受けていただきました。そこでは、私の予想を遥かに超えた教育水準の高さと保護者の方々の教育に対する熱量を直に感じることができました。現地で働いている先生方だけでなく、児童生徒たちからも教育とは何なのかを学ばせていただきました。それと同時に、自分の教育に関する知識が十分ではないことに気づき、これからより教育について学んでいこうと改めて決心しました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今回の留学を通して、言語能力の向上を志すと共にフランスの文化・慣習を発信していきたいと思います。日本では、フランス語を学習している方は多くはなく、しかし、フランスに対して興味関心を抱いている人は多いと思います。私の友人たちはフランス語に対して苦手意識がある方が多いです。そんな方々に一つでも多くの情報を伝え、フランス語の楽しさについて伝えていきたいと思います。また、日仏文化学院パリ日本人学校で学んだことを教職課程で活かし、教員になることができれば自分なりの教育思想を明確に持ち、生徒たちの成長の手助けをしたいです。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修では、フランスの歴史・文化、先輩との情報交換やフランス基礎文法などの学習をします。私は、留学前に先輩たちとの情報交換が最も役立ちました。日本ではフランス留学についての情報が少なく、最新情報を得ることが難しい中の交流は留学が不安だった私を安心させてくれました。また、事前研修で習った歴史などはフランス人でも知らない人が多く、会話が弾みました。日本に興味のある外国人とはお互い自国の文化を共有することになるのである程度の日本文化は知っておいたほうが役に立つと思います。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	長期学生ビザ
申請から発行までかかった期間	7-12 日程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	ビザの申請は緊急であれば、可能な限り手続きを早めてもらうことができます。しかし、申請書類の方法についての説明が一箇所にまとめられておらず、様々なページに分散しているので申請時は慎重に全てのページを確認することが重要です。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
当時は入居手続き中で住所がわからなかったため、出発 1 ヶ月前に私はフランスに住んでいる友人宅に荷物(国際小包)を 2 箱送らせてもらいました。また、私が住んでいたアパートはポストに入らない大きい郵便物は近くの郵便局までしか運ばれません。送り主がインボイスに記入した電話番号に受け取り可能な SMS が送られてきてやっと取りに行くことができます。フランスの郵便局はミスが多く、荷物の破損や紛失が日常茶飯事なので貴重品は入れないことをお勧めします。荷物が 1 ヶ月以上届かない場合、近くの郵便局に直接赴いて直談判するとまれに荷物を受け取ることができます。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
私たちは、那覇空港→関西国際空港→スワンナブーム空港→シャルルドゴール空港経由でトランジットの時間まで合わせて約 20 時間かかりました。シャルルドゴール空港に到着した後は、TGV(超高速列車)に乗ってレンヌまで約 3 時間でした。レンヌに到着後、駅内にある地下鉄を利用してアパートに向かいました。所要時間は 15 分程度です。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
出迎えサービス無
その他出発前に準備しておくべきこと
沖縄国際大学に留学に来ているフランス人から情報交換をしておくことで留学生活が一変すると思います。私の場合は、彼女たちのおかげで友人づくりの機会が多く、治安を知ること、生活の基盤を整えることができました。インターネットでは知ることのできない情報は現地の方々に聞くしかないので、留学前にそれらが確立されるだけで安心感は桁違いです。また、留学生も日本について学びに来ているので、仏留学前に外国人が日本のどのような文化に興味を持っているのか知ることができます。留学前に必要な物は衣服や常備薬など最低限のもので、他は必要になった際に現地で購入することができました。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
語学学校では学期が始まる 2 週間前くらいにオリエンテーションがあります。参加は自由ですが、自分のクラスの確認、授業料の支払い方法などの説明がされるので参加したほうが問題が起きる前に対処可能です。入学式の時期(9 月)になると、大学のオリエンテーションにも参加することができ、学生が受けられるサポートについての説明が受けることができます。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
なし
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
アパートの最終入居手続きは、事前に指定されていた書類を提出し、簡単に規則などの話を聞いて鍵を受け取りました。フランスに到着して 3 ヶ月以内在留届を提出しなければならないので、ネットで手続きしました。銀行口座の解説は難しかったので、buddy(サポートしてくれる人)と一緒に BNP という銀行に手続きに行きました。後日、カードが送られてくるので、アプリで一通り個人情報を記入したらすぐに利用できます。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
語学学校に通っている生徒は 100%外国人ですが、バイトしているフランスの大学生が留学生の支援もしています。そこで学習している留学生は約 2,000 人で 80 カ国の様々な国籍の方がフランス語を勉強しています。留学生同士は英語が話せる生徒とは英語、フランス語しか話せない人とはフランス語で話していました。多くの生徒が英語よりもフランス語を好むのでフランス語でコミュニケーション取る機会が多かったです。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
大学の施設・設備は充実しており、沖国と変わりはありません。私は図書館の PC をいつも利用していました。様々な言語の発音講義が大学講義であるので、発音専用の PC 教室などもあるので興味深かったです。図書館には PC だけでなく、大人数で集まれる会議室が多数あるので、到着順でその部屋を利用することができます。授業では、PC は必須ではないのですが、膨大なデータを保管しなければならないので、PC があると便利です。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内・周辺は、治安は良い方です。地下鉄について、villejean-universite が大学の最寄りの駅になり、そこに私たちが入居するアパートもあります。しかし、villejean-universite の次の駅が kennedy という駅です。そこは高層ビルが多数あり、物陰が多いのとホームレスが集まっている場所です。一番近いスーパーマーケットもあるので、多々赴くことはありましたが毎日誰かが喧嘩していました。たまに皆で踊っている姿も見かけましたが治安は良くなく、現地の大学生も夜は近づかないそうです。治安の判断の仕方は高層ビルの有無でわかります。高層ビルが多いのと治安が悪いのは比例するので注意しましょう。もちろん優しい方もいますが、そんな人は減多にいないので問題になる前に対処したほうが安全です。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
保険は沖縄国際大学が指定した保険会社に参加し、余裕を持って一年間の契約をしました。私が風邪をひいたときに利用することがありましたが、毎回病院の予約から丁寧にサポートしていただいたので留学中は病院に行くことも怖くはありませんでした。病院代、処方箋の料金も全て負担してもらえるので、病院に行けなくて風邪が治らないということはありませんでした。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	240 ユーロ（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	月が終わるまでに、crous のサイトか事務所にてカードで決済
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	

この住居のメリット・デメリットについて

メリットは、240€というリーズナブルな価格で専用のトイレ・お風呂がついていることだけでなく学校まで徒歩 10 分です。ベッドも日本人にとっては窮屈にならない程度の大きさだと思います。勉強机も設備されており、衣服や生活用品を置く棚も充実しているので学生にとっては十分な生活環境が整えられています。デメリットは部屋が小さいので友人を招待することが難しい、キッチンが共有でペナルティの閉鎖が多々発生することくらいです。

食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に

基本的に自炊でした。学校がある時期は、近くに低価格(3.50€)で昼食が提供される施設がありましたが、私は円安でなかなか利用することはできませんでした。フランスの外食は想像以上に高く、減多に行くことはできませんでした。外食するときは、学生割ができる subway、ケンタッキーやカフェなどに行っていましたが、それでも高価なものでした。

どのような家具・日用品が用意されていたか？

購入する必要があったものは何ですか？

日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）

家具は、寝具(シーツ・枕・毛布込)・デスク・チェア・収納家具・カーテンは用意されていたので購入する必要はありませんでした。共有で利用することができるものは、キッチン(IH)・洗濯機です。食器や調理器具は先代が置いていったものをもらったり、大学がバザーを開催したりするので購入する必要はありませんが衛生的ではありません。購入する必要があるものは掃除用具です。窓がひとつしかないので埃が溜まりやすく、箒と拭き掃除を毎日しなければなりません。退去時に掃除機が必要になりますが、近所の方に聞くと貸してもらえるので購入する必要はありませんでした。細かなゴミを取るためのコロコロはフランスでも売っていましたが、日本のほうが粘着力が強いです。

日常の買い物について

買い物は日本と変わらずスーパーマーケットに行き食材を買っていました。私は、家族向けの大量に安く売っているスーパーマーケットに行っていたので食べきれないものは友人と共有して節約していました。キッチンがよく閉まるので、電子レンジで簡単に作れる冷凍食品を常備していました。

現地での移動手段について

アパートが大学の近くなので移動手段は徒歩です。放課後遊びに行く際は、バスや地下鉄を利用していました。公共機関で使うことができる年間サブスク学生割があるので、毎日利用する人はチケットを購入するよりそっちがお得です。地下鉄は A と B の 2 種類ありますが、B は故障していて利用できませんでした。

休暇中の過ごし方について

休暇中はより見聞を広めるために近隣国に旅行に行き、実際に文化などを見てきました。フランス国内も TGV で簡単に旅行することができるので、授業では学ぶことができないことを経験できます。旅行以外では、クラスメイトたちと勉強会をして極力英語かフランス語を話すように心がけていました。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありませんか？ どのように解決しましたか？	
私は語学学校にいったので、履修科目は全て学校側が決定し、登録していたので問題はありませんでした。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
学習量は、毎日授業の予習復習をきちんとしていました。授業のレベルは学校側が決めるので自分のレベルにあったクラスを指定してくれます。授業の形式は沖縄国際大学の授業と大きく変わらず、教師 1 人が生徒 20 名にフランス語を教える形式です。異なる点は、授業によってはプレゼンが基本で、その出来栄によって評価されます。基本的には、試験の結果によって評価されるので日本の大学と変わりありませんでした。購入するテキストもなかったので、授業内で配られる資料は保管必須の重要な参考書です。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
語学学校が開催しているクラブが 5 種類あり、楽器音楽・ダンス・映画・歌・劇サークルがあり、私たち留学生は参加することができます。週末には語学学校が開催する遠足があるので、それに参加すると異なるクラスの留学生と交流することで友人づくりの機会を得ることができます。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
文法	2	フランス語 III	2
聞き取りと作文	2	フランス語 IV	2
読解と口頭表現	2	フランス語学認定 A	1
口頭表現	2	フランス語学認定 B	1
音声学	2	フランス語学認定 C	1
文化紹介	2	フランス語学認定 D	1

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8 月 19 日	現地到着
8 月 21 日	サマースクール開始
9 月 1 日	サマースクール終了
9 月 12 日	学部オリエンテーション
9 月 18 日	語学学校前期開始
12 月 22 日	前期終了
12 月 23 日	冬休み開始
1 月 15 日	冬休み終了・後期オリエンテーション
1 月 29 日	後期開始
5 月 17 日	後期終了
5 月 18 日	春休み開始
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
5 月 26 日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		400,000		円	
B. 海外旅行保険（1年）		150,000		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		400,000		円	
D. 教材費（1年）		0		円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	27,200	円（月額）	217,600	円（年額）
	食費	15,000	円（月額）	120,000	円（年額）
	交通費	3,200	円（月額）	25,600	円（年額）
	携帯代金	2,560	円（月額）	20480	円（年額）
	交際費（娯楽代）	10,000	円（月額）	80,000	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
生活費合計		57,960	円（月額）	463,680	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,263,680		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
現金は 2 万円ほどユーロに換金し、クレジットカードは 2 枚持っていました。日本からの送金方法は、郵便局から現地のクレジットカードにユーロを送金してもらいました。郵便局から送金する場合は、手数料がかかります。そのため、大半の場合は三菱 UFJ 銀行を使ってアプリ上で日本円を送ってもらい、フランスの A T M でユーロを引き出しました。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
留学をする予定・希望がある場合は、その日からすぐにでもアルバイトを始めたほうがいいと思います。留学の費用は円の価値によって大きく異なるので、余裕を持った費用計画をしなければ留学生活が苦しくなります。交際費や旅行などに使うお金まで貯めて留学に行くことが理想ではありますが、現実では難しいので留学支援の奨学金などを利用して計画を立てることがおすすめです。また、毎日日記をつけることと家計簿をつけるとより効果的だと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レンヌ第二大学	
留学期間	2023年8月19日～2024年5月17日	
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	2年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は、大学に入学する前からフランスに留学することを決めていました。その理由は、私が幼い頃に父親の仕事の関係で、家族全員でフランスへ引っ越すことになったことが始まりです。私は、未就学児だったため現地の学校に通うことになり、フランス人と同じような生活をさせていただき、幼い頃から異文化・フランス語に触れる機会がありました。日本に帰国後、フランス語を話す機会が年々減っていき、とうとう聴くことすらできなくなったので、中学生の頃からフランス語をまた学びたいと考えるようになりました。高校時代に、フランスへ留学することが決定しましたが、コロナウイルスが流行り始めたことが原因で留学は中止になってしまいます。そのため、両親は大学で私のフランス留学への思いを理解し、応援してくれたので留学中の経済面もサポートしていただきました。

フランス留学中、何度も自分について紹介する場面があり、「大学で英米言語文化学科に所属している。」と友人に伝えてきました。すると、9割の人が「なぜ英語を専攻しているのにフランス語を学んでいるの？」と質問してきました。私は、フランス語を専攻しているわけではないので、この疑問が生まれることはごく普通なことだと思います。しかし、私には中学・高校の外国語教師になりたいという夢があります。日本では中学・高校では英語を教えることが一般的なので、英語教師になるということです。英語教師にとって質の高い英語の指導ができることが目標ですが、私はそれに加えて多角的な視点を持った英語教師になりたいという思いから、フランス語を学ぶことを決意しました。また、英語の語彙はフランス語やラテン語からの借用語であり、フランス語を学ぶことは英語の起源について学ぶこともできます。そういった知識をフランス語から学び、私が英語を指導するとき活用することができれば印象強い授業ができ、生徒たちにより言語に興味を持ってもらえると思ったので、英語以外の言語も学ぶことは重要だと考えています。

私が留学している最中は、上記の自分が達成したい目標を日々忘れることなくフランスの言語・文化について積極的に学んでいきました。留学のメリットである現地の人との会話でフランスを知ることを最も重要視して過ごすと、自然と友人も増えていき、フランス以外の言語や文化についても学ぶことができました。また、留学生同士では英語を使う場面が多々あるので英語の勉強にもなります。留学の最大のメリットは、フランス語を学びながら他の国籍・人種とも関わることができる点だと思います。積極的に学ぶことに貪欲になることで、留学生活が充実するかしないかが決まると思うので、ぜひいろいろなことに挑戦してみてください。

最後に、留学で悔しかったことは、自分の学びたかった早期英語教育学について学べなかったことです。日本より早く英語教育に力を入れたのはフランスで、現在、フランス人は英語を流暢に話すことができます。昔は、フランス人は英語を話せないと言われていましたが、こういった教育が影響を与えたのかを学びたかったのですが、大学院の範囲らしく、学ぶことができませんでした。このように、自分の目標が達成できない場合は臨機応変に対応し、別の近い目標を立てることで留学の経験が豊富になっていくと思うので、諦めずに頑張ってください。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レンヌ第二大学		
留学期間	2023 年 8 月 19 日 ~ 2024 年 5 月 23 日		
所属学部・学科	産業情報学部・企業システム学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	A1（仏検 3 級取得済み）
帰国時	B1

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

留学前は、主に仏検対策のための学習を行っていました。
その為、基礎的な文法などは理解していましたがフランス語を聞く力や話す力はほとんどありませんでした。
留学期間中は CIREF での授業はもちろん、日常生活でもフランス語を使う環境に居れたことで、聞く・話す力の伸びを実感することが出来ました。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

私は、マーケティングを専攻しており特に「広告」に関心があり広告関係の講義も受講していました。
その為、留学中は語学力の向上と共に、フランスの「広告」がどのようなものか見て学ぶことも意識していました。
シャンゼリゼ通りに立ち並ぶ高級ブランドが打ち出している巨大な広告看板や、地下鉄の壁に設置してあるレトロチックなポスターなど、日本では見ることのできない多種多様な広告を見ることが出来、非常に有意義な経験になりました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

留学前は、A2 レベルまで進めれば良いと考えていましたが、B1 レベルのクラスまで進むことが出来ました。
また、留学期間中に沢山の国を見て回ることが出来、非常に価値ある経験をする事が出来ました。
今後は、フランス語の学習を続けると共に、留学を通して得られた知識や経験を卒論や就職活動に活かしていきたいと思います。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修の最後の講義の際、レンヌから帰国した沖国の先輩とランチ会を通して留学生活や出発の手続き等、事前に役立つ情報を共有して頂きました。 出発を控え不安だったこともあり、とても有難い機会だったと思います。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	1・2 週間程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	恐らく私たちの申請した年度から、ビザの申請書が手書きではなくオンライン上で情報を記入し印刷したものを大使館に提出する形式になっており、非常に戸惑いました。 結局、一日では申請書を完成させることができず私は東京に延泊することになりました。 大使館に向かう際は、提出書類を完璧にしてから出発することをおすすめします。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
私は、かさばるダウンジャケットやコート、マフラー等冬物の衣類を出発前、レンヌの学生寮宛に発送しました。 宛先は大学側から事前に送られてきた資料に学生寮の住所が載っていたので、そのまま記入しました。 出発 2 日前に航空便で発送して、2 週間弱ほどで受け取れたと思います。 発送する際は、追跡はマストでつけるべきだと思います。 また、荷物の受け取りは直接郵便局に行って受け取るシステムなので、2 週間以上受け取りに来なかった場合、日本に送り返されてしまいます。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港➡関西国際空港➡スワンナブーム国際空港（タイ）➡シャルルドゴール空港 シャルルドゴール空港からは、レンヌに直結している TGV に乗りました。 レンヌ駅から寮のある駅までは、メトロで 6 駅程度です。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
大学による出迎えサービスは無いです。 ですが、事前にレンヌのパディの学生の連絡先を共有して貰えるので、パディによっては迎えに来てくれる場合もあると思います。
その他出発前に準備しておくべきこと
クレジットカードが海外での使用制限がかかっている場合があるので、事前に確認しておく心安いです。 （日本を出発してからカード会社に電話をかけると国際電話扱いで電話料金が高くなります。） また、現地での保険加入や住宅補助の申請の際、出生証明書が必要です。 これは、現地の大使館で受け取るもので、受け取りにはアポストイーユ済みの戸籍謄本が必要です。 アポストイーユ済みの戸籍謄本は、翻訳会社等を通して申請する為時間がかかります。早めの準備をお勧めします。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
サマースクールが終わり、前期が始まる前に CIREF でのオリエンテーションがありました。 大学のグッズ等が入ったウェルカムバックを受け取り、学部の授業のオリエンテーションの日程を教えてもらったり、モンサンミッシェルへの旅行への参加可否、大学案内の日程などを決めました。 この時、他の日本人留学生と知り合うことが出来ました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
大学内にある学生団体の説明会などがありました。 参加は自由なのですが、加入に数€かかると説明会に参加した友人から聞きました。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
出生証明書の申請 ➡現地に到着後、アポスティユ済みの戸籍謄本をパリにある日本大使館へ郵送し、パリ観光がてら受け取りに行きました。 銀行口座の開設 ➡レンヌのパディの学生と一緒に大学から近い BNPparibas という銀行で口座を開きました。口座カードは 2 週間程で郵送されました。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
CIREF では、ベトナムからの留学生が最も多くその次はコロンビアからの留学生が多いと先生から聞きました。 日本人は約 20 名ほどおり、学生以外に社会人の方も数名いました。 日本から来ている留学生は殆ど同じ学生寮に住んでいたため、よくキッチンに集まって交流していました。 私は、現地で仲良くなった日本人の友人と何度か旅行に行きました。 また、同じ寮に住んでいるフランス人の友達もでき、クリスマスパーティーをしたり誕生日を祝ったりと仲良くなれました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
大学には図書館があり、自習はもちろん PC も完備されており無料で印刷することもできます。 ですが、あまり PC の台数が多くないので授業で使うパワポの作成等は自分の PC を使ったほうがいいです。 また、食堂もあり学生証を提示すると 3 €でかなり量のあるご飯を食べることが出来ます。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学の周辺は比較的治安はいい方だと思います。 ですが、大学から少し歩いたコロンビアというエリアは治安が悪いのでお昼時に幾分には問題ありませんが、夜に一人で行くのはあまりお勧めしません。 寮から一番近いスーパーはコロンビアにあるのですが、私はメトロに乗って 3 駅先のスーパーに行っていました。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等

出発前に、冲国大指定の東京海上日動の海外保険に加入しました。

フランスではセキュリティ・ソシアルという健康保険に加入する必要があります。

セキュリティ・ソシアルが無い状態で病院に行くと、一度受診料等を自分で立て替える必要があるので、早めに申し込んだ方がいいです。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	約 4 万円 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	寮の受付に行ったらカードで払うことが出来ます。
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
メリット ➡大学のすぐ隣で授業が始まるギリギリまで寝れます。また、周辺にスーパー・郵便局・銀行があるので便利です。 デメリット ➡キッチンが共同で少しでもゴミが置かれていたり、汚かったりすると直ぐに閉鎖されます。 また、たまに遅くに帰ってきた学生が廊下で大声で喋ったりすることがありました。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
外食は高いので基本的に自炊です。食堂もあまり利用してはいませんでした。 スーパーで食材を買ったり、週に 3 回大学内で食材の無料配布があったので節約のためによく通っていました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど）		
部屋にはベッド・テーブル・椅子・クローゼット・冷蔵庫・洗面台・トイレ・シャワーは完備されています。リネン類は窓口で頼めば支給されます。 調理器具は一切無いので、最初にある程度購入しました。購入後に知ったのですが、食器類は無料で中古品を貰うことが出来ます。 洗濯は寮の敷地内にあるコインランドリーを利用し部屋干ししていました。 また、寮の窓には網戸がありません。その為夜窓を開けていると虫が入ってきてしまいます。私は虫がとても苦手なので日本のホームセンターで大きめの網戸の網だけを購入し窓に貼っていました。		
日常の買い物について		
日序的な買い物はメトロに乗って寮から 3 駅のところにある Lidl で済ましていました。 日本の食品はバスに乗ってアジアスーパーで購入することが出来ます。		
現地での移動手段について		
レンヌ到着後すぐに、korigo という定期券を購入しました。Korigo ではレンヌ市内のバス・メトロが乗り放題になります。		
休暇中の過ごし方について		

フランスはバカンスが多く、CIREF の休みも多いです。

私は、休暇を利用してよく旅行に行っていました。

留学期間中に、パリ・ストラスブール・コルマル・南仏・イギリス・スコットランド・フィンランド・スイスへ行くことが出来ました。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありませんでしたか？ どのように解決しましたか？	
CIREF での授業は学費を支払えば自動的に決められるので特に困ったことはありませんでした。 ですが、セキュリティの関係で私のカードで学費が払えなかったため、急遽親のカードで学費を支払うことになりました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
私は A1 のクラスでサマースクールを終えた後、前期は A2 後期は B1 のクラスで学んでいました。 B1 までの文法はある程度学習済みだったのですが、日本語で学ぶのとフランス語で学ぶのでは難易度に大きな差があると思いました。 また、私は文章を書く練習をあまりしてこなかったため、最初はどうやって文章を構成したらいいかわからず苦労しました。 授業の形式は同じレベルでも担当の先生によって変わります。 A 2 クラスの時は、グループ学習が多かったのですが B 1 クラスの時は宿題が多く出されました。 成績評価は主にテストの点数と授業態度で決められます。 各授業の平均点が 5～6 割取れていれば、ひとつ上のレベルのクラスに上がれます。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
CIREF では、自由参加のクラブ活動があり「歌」「シネマ」「演劇」「ダンス」「楽器」の中から好きなものを選ぶことが出来ます。 演劇は B1 以上のクラスでないと選ぶことが出来ませんでした。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Etude de la langue A2/B1			
Expression orale A2			
Civilisation A2/B1			
Labo A2/B1			
Cinema B1			
De la comprehension orale a l'exp. Ecrite A2/B 1			
De la comprehension ecrite a l'exp. Orale A2			
(全て語学学校での履修科目)			

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

[illegible]

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		約 24 万円		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		約 14 万		円	
C. 授業料（1 年） ※冲国大に納める授業料は除く		約 32 万円		円	
D. 教材費（1 年）		0		円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	約 4 万	円（月額）	約 45 万	円（年額）
	食費	約 3 万	円（月額）	約 30 万	円（年額）
	交通費	約 3000	円（月額）	約 3 万	円（年額）
	携帯代金	約 2000	円（月額）	約 2 万	円（年額）
	交際費（娯楽代）	約 4 万	円（月額）	約 40 万	円（年額）
	その他	約 1 万	円（月額）	約 10 万	円（年額）
生活費合計		約 12 万 5000	円（月額）	約 130 万	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		約 200 万		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
現地に行く前に関西国際空港で 4 万円分ほどユーロに両替してきました。 現地では日本よりもキャッシュ化が進んでいる為、現金を使う機会は少ないですが市場などでは現金しか使えない場合があります。 また、私は友達とよく旅行に行っていたのでホテル代等の割り勘をする際、現金を使用していました。 クレジットカードは VISA とマスターカードの 2 枚を持ってきました。 JCB のデビットカードも一応持っていましたが使える機会は少ないと思います。 私は留学用の口座を作り、そこからカードを引き落としていたので日本からの送金はいらなかったです。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
今後は円安が大変な状況下での留学になると思います。 留学費用は、余裕をもって多めに準備した方が安心できると思います。 私は、旅費がかなりの出費になってしまいましたが、ヨーロッパは本当に色々な国に行きやすく夜行バスを利用すれば、交通費をかなり浮かすことが出来ます。 円安だからやりたいことを諦めるのはもったいないです。 計画的にお金を使って、楽しめるところは楽しみましょう！

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レンヌ第二大学	
留学期間	2023 年 8 月 19 日 ～ 2024 年 5 月 21 日	
所属学部・学科	産業情報学部・企業システム学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

授業について

私はレンヌ第二大学に付属している CIREF という語学学校に前期・後期と通っていました。

CIREF のレベルは一番初級の A1 から最も上級の C2 まで設定されています。

私は、前期の授業が始まる前に 2 週間のサマースクールに参加しました。この時のレベルは A1 で最初の授業ではアルファベットの読み方や簡単な挨拶から始めました。

正直日本にいる時に仏検 3 級を取得していたため学ぶ内容は簡単だったのですが、フランス語のアクセントを修正したり、耳を慣らすことが出来たので参加して良かったです。

A2 のクラスは、男性が 1 人しかいないクラスだったので女子高のような賑やかな雰囲気でした。文法・筆記・コミュニケーション・発音・文化のクラスがあり、発音のクラスの先生は、レンヌ第二大学の恐らく教員を目指している学生が担当していました。

同じ A2 レベルのクラスは全部で 3 つありましたが、担当の先生によって授業の形式がかなり異なっていました。

私のクラスはグループ学習が多く、4 人 1 組のグループでビデオを撮って発表する機会が多かったです。他のクラスでは、習った文法を使ってコミュニケーションを取るといった授業が行われていました。

成績は、テストの成績と授業態度で評価され全部のクラスの成績が 5～6 割取れていれば、ひとつ上のクラスに進むことができます。

私自身、A2 から B1 に進むことが出来るのか不安だったのですが私を含めた A2 クラスのメンバーは皆 B1 へと進んでいました。

B1 の授業は A2 とあまり変わらず、文法・筆記・コミュニケーション・発音・文化のクラスがありました。一点異なったのが、筆記・コミュニケーション・絵画・シネマの 4 つの授業の中から取りたい授業を 1 つ選択することが出来ました。

私は、シネマの授業を選択しましたが、個人的にシネマのクラスが 4 つの中で最も難しいと思います。授業では、映画の冒頭 40 分程を観た後、内容やどのようなイメージを持ったかなどを話し合います。

授業内で扱う映画は、子供向けの簡単なものではなく「アメリ」のような、大人を対象とした映画だったため、字幕はありましたが、ストーリーを理解するのがかなり難しかったです。

私が、CIREF での授業を通して感じたことは、CIREF には様々な理由でフランス語を学んでいる学生がいるということです。

私のクラスには、ベラルーシからフランスに移住してきた女性がいました。その女性は、フランスに永住するためにフランス語を学んでいました。他にも、フランスの大学のマスターを取得する為や、仕事に就くため等、それぞれ異なる理由を持ってフランス語を学んでいました。

そして、授業では皆積極的に発言をしたり、先生に質問をしたりしていました。このような積極的な姿勢は国民性にもよりますが、中国の授業では、私自身も含めあまり積極的に発言や質問をする学生が少なかった為、かなり大

きな違いに感じました。

時には発言をし過ぎて、先生に待ったをかけられる場面もありましたが、自分の間違いに躊躇することなく発言する彼らの姿勢はいい刺激になり、私も見習うべきだと感じました。

課外活動について

CIREF には、自由参加のクラブ活動があります。シネマ・演劇・歌・楽器・ブルトンドンスの中から複数選択することが出来、私の友人は3つのクラブを掛け持ちしていました。

私は、放課後を授業の復習にあてたかったので参加はしなかったのですが、異なるクラスの友人を作ることが出来る良い機会になると思います。

課外活動として私は、大学の日本語の授業のアシスタントをしていました。

内容としては、音読の手伝いや、担当がフランス人の先生だったため、日本人がよく使う表現についての質問に答えていました。

「学校に行く」と「学校へ行く」の違いは何か。など、日本人でも回答に困る質問をされたこともあり、改めて日本語は難しい言語だと思いました。

また、CIREF ではよく週末を利用した小旅行が開催されます。私は、サンマロやモンサンミッシェル、プロセリアンドの森への小旅行に参加しました。

この小旅行では、大学が大型バスを手配してくれ、参加費は10€程度とかなり安価なので学生からも人気です。

また、ガイドの方も同伴してくれるため、歴史や文化を知ることが出来、もちろんフランス語の勉強にもなります。

留学期間中は、授業以外にもフランス語の習得に役立つ機会が沢山あるので、色んな活動に参加するのをお勧めします。

寮生活

私が過ごした学生寮は大学のすぐ隣にあり、周辺にはスーパーや郵便局、銀行等があります。

大学周辺は比較的治安はいい方ですが、少し歩いたコロンビアというエリアは物乞いの人や爆音で音楽をかけている人が居たりと治安が良くないので、夜間一人では歩かないようにしていました。

また、寮の部屋には洗面台・トイレ・シャワーは完備されていますがキッチンが共同でした。

よくキッチンで会う学生と仲良くなったり、調味料を貸し合ったりと楽しかったのですが、キッチン内に少しでもゴミが残っていたりコンロが汚かったりすると、直ぐに閉鎖されてしまいます。

電子レンジを使いたいただけなのに、他の階のキッチンに行かないといけないのでかなり面倒でした。

また、部屋の壁が薄いので隣の部屋の住民が音楽を流していたり、電話をかけたりしていると音が漏れてきます。

私も、夜間にはあまり大きな音を出さないように気を付けていました。

ですが、たまに夜遅くに帰ってきた住民が廊下で大声で話しており、眠れないこともありました。

色んな国から学生が集まっている寮なので、中にはあまりルールを守らない学生もいました。

夜ご飯はよく日本人留学生同士でキッチンに集まって食べていました。

日本各地から学生が集まっており、専攻しているジャンルもバラバラだったので自分とは異なる考え方をした同年代の学生と話すのは楽しかったし良い刺激になりました。

また、寮にはフランス人の学生も多く住んでおり、私も何人かのフランス人の友人ができました。

皆日本文化が好きだったので、アニメの話で盛り上がったり持参した日本食を食べさせてあげたりしました。

最後、別れる際に日本人の学生と一緒に寄せ書きを書いて渡した際には、泣いて喜んでくれたので、私も彼らとの別れが本当に寂しかったです。

長期休暇の過ごし方

フランスは日本と比較して長期の休みがとて多いです。

CIREF も 2 か月に一回は必ず 1 ～ 2 週間程度の休暇がありました。

私は休暇を利用してよく旅行に行きました。行った場所はフランス国内（パリ・ストラスブール・コルマル・南仏）、イギリス・スコットランド・フィンランド・スイスです。

私がフランス国内で最も印象的だった都市はやはりパリでした。中でも、私は年越しカウントダウンをパリのシャンゼリゼ通りで過ごしたのですが、100 万人以上が集まったカウントダウンは圧巻でした。

また、冬休みを利用していったフィンランドでは、生まれて初めてオーロラを見ることが出来ました。

円安が厳しい中での留学だったため、思いのほか旅費が高くなってしまいましたがヨーロッパは、大陸続きなので色々な国に旅行しやすいです。

移動手段は主に、飛行機・TGV・夜行バスがあり私は一番価格の低い夜行バスを利用していました。最長 12 時間夜行バスで移動したときもあり、かなりきつかったですが夜行バスでの移動は、体力のある今しか出来ないので大いに活用した方が良いです。

総括・留学後の計画

今回の留学を通して、私は人との出会いの大切さに気付かされました。フランス語を熱心に教えてくれた CIREF の先生や、一緒に学んだ各国の友人達、寮で出会って仲良くなった日本とフランスの友人達など、彼らとの出会いが私の留学生活における一番の思い出になったと思います。

また、留学中様々な国の人達と関わることで、世界情勢にも考えさせられました。ベラルーシからフランスに移住してきた学生がいたり、イスラエルのガザ地区の攻撃に抗議する人々をよく町中で目にしました。

日本でもよくニュース等で取り上げられていますが、実際に影響を受けたり声を上げる人々を見ることで今の世界情勢の深刻さを痛感しました。

今後は、フランス語の学習を継続し仏検や DELF にも挑戦する予定です。

また、卒業論文制作や就職活動を控えているので、留学で得られた知識や経験を活かして乗り越えていきたいと思います。

留学中は、決して楽しいことばかりではなく上手くコミュニケーションが取れずに泣いたことや、アジア人ヘイトに会ってメンタルが落ちることもありました。

しかし、留学先には同じ悩みを持った留学生や、日本が大好きなフランス人が居たので、彼らのお陰で私は困難を乗り越え成長することが出来ました。

また、私は 4 年次からの留学だったため、周りの友人達が就活を終え、卒業していくことに焦ることもありましたが、留学を選択した自分の決断に後悔しなくなかったので、様々なことに挑戦するきっかけになりました。

結果として、私は留学という道を選んでよかったと思います。

最後に、留学準備の段階からサポートしてくださったグローバル支援課の皆様と、フランス語の指導をくださった先生方に、心より感謝申し上げます。

以上で私の帰国報告書を終わりたいと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レンヌ第 2 大学	
留学期間	2023 年 8 月 19 日 ～ 2024 年 5 月 22 日	
所属学部・学科	産業情報学部企業システム学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科
留学出発時の年次	2 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

● 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	フランス語検定 5 級・4 級取得 フランス語レベル A1 以下
帰国時	フランス留学先 CIREFE にてフランス語レベル B1 クラス卒業

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

● 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

語学レベルは明確なレベルの変化としては、留学先のレンヌ第 2 大学付属の CIREFE にて留学初期は A1 クラスから開始し、最終的に B 1 クラスに進級して留学を終えた。実際、私の体感としては留学初期において先生方や同じクラスメイトの自己紹介もしっかりと聞き取りが出来ていなかったが、留学期間を通してクラスメイトとの会話や初対面の人との簡易的な会話は聞き取りなどができ、マルシェなどの市場での買い物も一人で行えるようになった。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

語学力向上以外の目的として、フランスの各地域の行事や習慣を学びたいと考えていた。また、マーケティングを学んでいることから、フランスの広告や情報発信に関して実際に見てみたいという目的があった。実際、フランス各地域の行事や習慣に関しては CIREFE の遠足というプチ旅行のようなイベントを多く利用して、ブルターニュ地方の中でも 1 0 か所以上の場所に行き、大学の歴史の先生による各所の説明を受けた。よって、私自身としては訳 9 割ほど達成できたと考えていえる。また、マーケティングに関することとしては、フランスは日本よりも未だに紙媒体での広告や情報発信が多くみられたため、日本との違いを発見でき勉強になった。これらを通して、大きな学びとしてやはり、日本とフランスの文化や習慣の違いを知った。この学びにより、日本国籍以外の生徒と交流する際に様々な視点でその人を知ること、知ろうとすることが身についたと感じる。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

この留学を通して、一番大きな成果と感じていることが 2 つある。1 つは各地域の文化・習慣・宗教などを学んだことにより、今までよりも多角的な視点で物事・人を見ることになった。それにより、コミュニケーションの幅や物事・人に対してより多くのアプローチの仕方を考え、実行するようになった。2 つは語学力のレベルが、自身が留学前に考えていたよりも 1 段階上がったという点だ。フランス語学習は難しく何度も壁にぶつかったが、友人や先生たちのおかげで B1 クラスになれたことから私は留学の成果だと考える。
今後の目標として、語学力低下にならないよう学習を続け検定試験などを受けて語学力を維持しようと考えている。最終目標として B2・C1 級を取得したい。また、フランスの友人たちや留学生のサポートなどを通してフランスと日本の架け橋になれるような活動も行っていきたい。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	・フランスの文化・習慣・歴史・地理に関する学習 これらはフランス留学においての最低限のマナーや知識を得られたため、交流の際に日本との比較ができ、話題作りになった。 ・フランス語のリーディング・リスニング・ライティングの学習 これらの学習はフランス留学先での講義の先取りのような授業だったため、留学先での授業にさほどギャップを感じずに取り組めた。 ・発音学習 この学習のおかげで、初めて読むような単語や文章も少しは読めるようになったり、音の変化に対しても聞き取りや意識ができるようになったりした。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	長期学生ビザ
申請から発行までかかった期間	2～3週間程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	書類は初めから紙媒体での提出ではなく、ウェブでの一度提出後に在日フランス大使館で再度確認のため紙媒体の提出が求められる。また、費用はお釣りがなく用意しないといけない。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は大学の寮の住所を日本にいる友人や家族に伝えて、発送先住所を書いてもらった。 時期としては新年やクリスマスは郵便局が扱う荷物量が圧倒的に増えるため、送る時期はそれら行事ごとを避けて送るようにした方がいい。荷物は空輸が早い。船での輸送は時間がだいぶかかってしまうため到着日程が分かりづらい。しかし、沢山の量を送れるのは船での輸送になる。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄から関西空港まで ANA で約 2 時間 関西空港からタイ空港までタイエアラインで約 5 時間 タイ空港からシャルルドゴール空港までタイエアラインで約 7 時間 そこからは空港から TGV でレンヌ駅まで行き、地下鉄で大学最寄りの駅まで行った。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
出迎えサービスはなかった。 ただ、バディが気を利かせて出迎えてくれる場合もある
その他出発前に準備しておくべきこと

フランスの留学時期の気温をしっかり把握しておくこと。

荷物などは重くないのは一番いいが、まずキャリーケースは1つにする方がよい。（一人での持ち運びが可能なように。）

日本や沖縄の基本情報を知っておく。（面積・人口・伝統文化など）

海外の人はデータで自国と比べる場合が多いため知っていたら最初的话题に困ったりしない。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
夏期講習のオリエンテーション→8月22日くらいに授業に関する簡単な説明や先生紹介があった。 新学期のオリエンテーション→9月の1週目に入学式のようなものがあり、9月12日にクラスのオリエンテーションがあった。内容は夏期講習の時とほとんど同じだった。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
参加しなかったオリエンテーションはない
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
銀行口座は10月下旬に手続きを行い、二日ほどで開設できた。 渡仏後すぐに長期学生ビザを有効にする手続きを行った。※渡仏後3ヶ月以内にしないと不法滞在になってしまう。 (OFIIでオンライン申請できる) セキュリティソシアルは口座開設後に行ったが、帰国まで何も進まずできなかった。早めに行うのを勧める。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
日本人20人以下。ベトナムや中国の留学生が特に多かった。 留学生同士の交流は、大学側がイベントを設けてくれ、一緒に遠足に行ったりクラブ活動を行ったりしていた。また、授業でもグループ学習を多く行い、留学生同士の会話が多く行えた。現地学生とは、留学生活に関してサポートを行ってくれるフランス人学生や親睦会のようなイベントなどもあるため、多少は交流できる。しかし、他の交流方法がないため実際に自分で行動しないと難しい。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC教室の有無、授業における個人PC必要性など
レンヌ第2大学は文系の大学のため、語学・アート・歴史・映画などに関する学部やそれに伴う校舎分けが行われていた。 PC教室は有り。授業において個人PCは多く活用しないが、パワーポイント作成して発表することがあるため必須だと思う。先生によってはデータで課題提出する方もいる。学食・図書館・グラウンドなどがある。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内・周辺・滞在先の治安は比較的に良いが、夜で歩くのは危険度が増すため控えることを勧める。 大体治安は良いのだが、ストライキや抗議活動が行われる際は学校にバリケードが行われたり、何かを燃やしたり抗議文を壁に書いたり と過激的な活動が増加するため、情報をしっかり入手する必要があることと近づかないようにしないといけな。アジア人という理由で攻撃対象になりうるため。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
渡仏前に中国で手続きした、海上日動の海外保険。 住宅保証のvisale。 申請したが手続きが進まなかった健康保険などが含まれるセキュリティソシアル。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	45,000 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	毎月 12 日までに事務所か寮のサイトの自分のアカウントにてカード支払いかフランスの口座引き落とし
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
メリット→大学が近い。共同だがキッチンもあり、部屋はひとり部屋でトイレお風呂付。家賃が安い。管理事務所が敷地内にあり何かあればすぐ行けるし、必ず毎日誰かがいるから安心。 デメリット→うるさい。必ずだれかの声や音楽が鳴ってる。共同キッチンのため使用方法が汚ければ、しばらく使用禁止になる事。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
基本的に自炊。学食も安く食べれるが、私には合わなかったためあまり行かなかった。 外食も基本高いので行かないが、疲れすぎた時などは簡単にパンなどで済ませていた。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど）		
寮の部屋にはベッド・クローゼット・棚・冷蔵庫（小さい）があった。入寮時に事務所からブランケット・シーツ・枕・枕カバーが支給される。 買ったものは羽毛布団・タオル・ドライヤー・調理器具など 私は寒がりなので湯たんぽを持って行ったが役に立った。ただ、夏は暑すぎるので何か冷えるようなものがあればよかったなと思う。濡らせは冷たくなるタオルやバンダナ系。		
日常の買い物について		
週 1 で買い物に行き 1 週間分一気に買っていた。訳 4000 円以内に収めるようにしていた。大体、近所のスーパーか LIDL というスーパーで買っていた。		
現地での移動手段について		
基本地下鉄が徒歩。		
休暇中の過ごし方について		
友人とピクニックしたり、本屋巡りやパン屋巡りをしたりしていた。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありませんか？ どのように解決しましたか？	
特になかった。DIREFE 側がクラス分けをして時間割が配布される形だった為。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
学習量はフランス語やフランスの社会制度などの歴史関係の学習なので沖縄国際大学と比較したら少ないが、基本的に分からないが前提でそれをフランス語で調べ提出するため難しさは言語が違うという点でレンヌ第2大学の方が困難だったと思う。 授業はグループ学習・座学が多かった。 成績評価はテスト点・提出課題点・発表点を踏まえて総合評価される。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
クラブ活動・課外活動はあった。 しかし参加は個人の自由だった。クラブ活動はスポーツ系・音楽・劇・コメディ・映画など。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8 月 19 日	現地到着
8 月 22 日	夏期講習開始
8 月 31 日	夏期講習終了
9 月 12 日	新学期クラスオリエンテーション
9 月 18 日	新学期講義開始
10 月 26 日	テスト
10 月 27 日	バカンス開始
11 月 5 日	バカンス終了
12 月 15 日	CIREFE イベント
12 月 22 日	前期終了
12 月 23 日	Xmas・新年バカンス開始
1 月 7 日	Xmas・新年バカンス終了
1 月 15 日	後期オリエンテーション
1 月 29 日	後期講義開始
2 月 18 日	CIREFE イベント
2 月 22 日	テスト
2 月 24 日	冬休み開始
3 月 3 日	冬休み終了
3 月 22 日	テスト
4 月 20 日	春休み開始
5 月 5 日	春休み終了
5 月 13 日	期末テスト開始
5 月 17 日	期末テスト終了・後期終了日
5 月 22 日	日本帰国日

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		390,000		円	
B. 海外旅行保険（1年）		140,000		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		320,000		円	
D. 教材費（1年）		50,000		円	
E. 生活費 （月額／年額）	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	45,000	円（月額）	450,000	円（年額）
	食費	16,000	円（月額）	160,000	円（年額）
	交通費	5,000	円（月額）	50,000	円（年額）
	携帯代金	3,000	円（月額）	30,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	20,000	円（月額）	200,000	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
生活費合計		89,000	円（月額）	890,000	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 （F = A + B + C + D + E）		1,790,000		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
支払いは基本的にクレジットカード。ただ現金しか受け付けていないところもあるため、5万程度ははじめから現金にして持っていた。 日本から銀行への送金などは行っていなかったが、日本の引き落とし用の口座に両親へお願いしてお金を入金用口座から移してもらっていた。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
まずは、ある程度の貯金は必須。120万くらいは口座に入れておかなければビザ申請の時点で少し厳しくなる。 もし日本から海外へ送金したいのなら国際送金アプリを活用するのが一番良いと思う。フランス留学に来た日本の方がアプリを活用して送金を行っていた。また、クレジットカードは最低2枚あると安心。何かあって1枚使えなくなった時にも対応できるから。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レンヌ第2大学	
留学期間	2023年08月19日～2024年05月22日	
所属学部・学科	産業情報学部企業システム学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	2年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は産業情報学部企業システム学科3年次の川満菜央です。昨年8月中旬から今年の5月下旬までフランスのレンヌ第2大学に交換留学をしていました。私がまずフランス留学を決めた理由は2つあります。1つがフランス語の発音が日本語にはない発音があり、そこに魅力を感じもっと深くまで学んでみたいと思ったことです。2つがマーケティングを学んでいるうで、有名ブランドが多いフランスの広告の方法や人々に製品などを告知しているのか、日本との違いはあるのかという部分も実際に見てみたいと考えたためです。以上2つの理由から私はフランス留学を決意しました。実際に親元を離れフランスに飛び立つ際には、かつてないほどの不安と心配と楽しみさでいっぱいでした。当たり前のことですが、フランスについたら日本人は全くおらず聞こえてくる言葉はフランス語、英語だらけで日本語なんて少しも聞こえてきませんでした。その現実を目の当たりにしてやっと、自分がフランスという異国の地にいるんだと実感しました。初めて見るフランスの街並みは映画やドラマで見ると本当にきれいで、歩く人たちも輝いて見えました。私が留学したレンヌ第2大学は学生の街ともいわれるブルターニュ地方のレンヌという地域にあります。学生の街といわれている通り、多国籍の学生が多くみられました。近辺には郵便局、銀行、スーパーと環境も良い場所でした。私は8月の下旬から開始する夏期講習から参加したのですが、先生方も分かりやすく基礎中の基礎から教えてくれ、説明の際には英語やボディーランゲージを活用してフランス語初心者の私に対しても分かるような工夫をしてくださいました。2週間の夏期講習で開始時はA1というレベルだったのですが、終了時にはA2レベルへ1段階あがり9月からはじまる新学期ではA2クラスから開始することができました。

新学期からはA2クラスから開始したのですが、やはりA1クラスの時とは学習内容が変わりとても難しいと感じました。A1クラスでは、自己紹介から現在形の活用などを主に学習していました。現在形の活用形は、名詞の単数や複数などでも変化し、男性名詞と女性名詞でも変化するためA1クラスでは特に活用の規則性や変化を覚えるのが難しかったです。また、A2クラスから本格的に発音の練習や長文ライティングの重要なコツなどを学習し始めました。日本語にはない発音があったり、日本人にはなかなか違いが分かりづらい音の変化があったりと難しながらも日本ではできない授業はとても面白かったです。フランスの歴史を学ぶ授業ではフランスの学校制度や健康保険などの社会保障に関する学習を行い日本との比較が行え、良い点悪い点が見えてきてとても勉強になりました。

後期からはさらに1クラス上がってB1クラスに進級してさらに学習難易度があがりました。B1クラスでは、これまでの現在形の学習に加え過去形、大過去、過去分詞など自身の過去のことや経験したことについて話せるようになる文法などを多く学びました。しかし、文法が増えたことによって活用の種類がさらに増え、予習復習ではなかなか追いつかないこともありました。そんなときは日本人留学生やクラスメイトの子と一緒に勉強をして、みんなで交流をしたり助け合ったりして後期は特に過ごしていました。発音の学習もA2クラスの時とは違って、全体指導というよりは個人指導が多くなり、一人ひとりに対して的確なアドバイスをいただけてよりネイティブな発音に近づけることができた。テストは、事前にテスト期間が知られるため、対策ができるが後期の期末テストはバカンス期間を挟んでのテスト実施だったため、スケジュール的に学期最終週と重なり忙しい日々を過ごした。学習面はA1クラスから最終的にB1クラスへと進級することができた。私としては、簡単な買い物での会話や友人との少しの会話ができるようになったため、少しではあるがフランス語

が身につく、しっかり日常生活において活用できてきたのではないかと体感しています。

日常生活に関して、まず支払方法、手続き、保障に関してです。フランスでの生活においてまず基本的に支払いはカードが多いです。現金は偽札対策で大きな額のお札の利用を断る店舗が多いので私は渡仏前に関西国際空港で約4万円をユーロ札に小さい単位のお札へ変えてもらいました。実際フランスに行くとスーパーはカード支払いなのですが、マルシェなどで個人が出店しているお店では現金支払いが一般的でした。フランスについてまず手続きを行ったのが、スマホのSIMと長期学生ビザ有効申請です。スマホのSIMはリパブリック駅という駅で降りてすぐにあるfreeというスマホショップで購入しました。安価でしっかりしたギガ数を使えるのでおすすめです。長期学生ビザ有効申請はOFIIという機関で申請するのですが、現在はOFIIのサイトからオンライン申請できるので簡単にできるようになっています。長期学生ビザは持っていないもしっかりOFIIに有効申請を行わなければ、不法滞在という扱いになってしまうので渡仏後3ヶ月以内に提出しなければなりません。また、健康保険などが含まれるセキュリティソーシャルという制度は、銀行口座を開設次第にすぐに申請することを勧めます。私は、11月に申請を行ったのですが結局帰国までに手続きが上手く進まなかったため、その健康保険等の保証が受けられませんでした。実際に留学期間中に病院に行くようなことがなかったため、大きな問題はなかったのですがずっと心配しながら生活していました。さらに、セキュリティソーシャルが上手く通ればCAFという住宅の家賃補助の制度に申請でき、4万5千円程の家賃の数割を保証で支払ってもらえるので自己負担額を少なくすることができます。フランス留学を行う上で、ユーロ高ということもあり金銭面は結構しんどいと感じる部分は実際にありますが、その分学生に対する補償も充実しているので活用すべきだと強く思いますし、もっと活用すべきだったと少し悔しい部分でもあります。次に、日常生活における治安や街の様子についてです。レンヌは比較的パリに比べて治安が良くスリなどもほとんどいません。ただ、物乞いの人や少し様子がおかしい人はいるので危険予測は常にしておく必要があります。また、ストライキや抗議活動がある際は街中で何かを燃やしたり、バリケードを設置したりと過激的な行動を起こす人が増加するので、外務省や在日フランス大使館から送られてくるメールには常に目を通さなければなりません。フランスはとても綺麗で美しい文化を持つ国ですが、国を大きくしてきた強い国民性があるためしっかりと理解しておかなければ、被害などを事前に防ぐことは厳しいと思います。ただ、しっかりと危機管理を行っていれば日本とは違う景色に心躍らせながら日々を過ごせます。

次に渡仏前の準備段階についてです。まず強く伝えたいことが、ビザ申請の方法が一昨年と変更になっているため情報が少なく戸惑うことが多いという点です。しっかり在日フランス大使館のHPを調べつくして、過去の先輩たちの情報を照らし合わせるのが重要です。私は申請方法が変わって一年目の留学生だったということもあり、一度書類不備で東京から返されてしまい、二度申請に行っています。そのようなことが無いよう、大学側へ申請方法を写真付きでまとめた書類を提出しているので活用してもらえたら嬉しいです。また、渡仏前に必ず航空券の情報やTGVのチケットを取ることを勧めます。慌てずに行動できるようにするために、渡仏後の手続きはなるべく減らす方が良いです。私も実際に事前にすべて取ったうえで行ったので、少し不安ではありますが大して慌てすぎることもなくレンヌに向かうことができました。

最後に、私は最初に書いたように2つの理由があってフランス留学を決意しました。実際に訪れたフランスは、映画やドラマで見るような綺麗な街並みがあり、多国籍の人々でいっぱいでした。はじめは、心配や不安や1年間の留学生活に対する期待で胸がいっぱいでした。実際に、フランスに行ったからこそ出来た友人たち、経験があります。異国の地での学校生活は困難ばかりで何度も挫けて何度も帰国したいと考えることがありました。ただ、留学を行わなければこれほど沢山の人の関わりがなかったし、これほど沢山の国のことをより自分事のように考えなかったと思います。私は、留学を経験したことで、人との関わり方やコミュニケーションの大切さ、行動力の重要さをとても実感しました。日本にいたままでは得られなかったことだと考えるため、私はこの留学経験が出来て心の底から良かったと思います。今後もフランス語学習を継続してさらなるステップアップを目指していきたいと思っています。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レオン大学		
留学期間	2023 年 8 月 15 日 ～ 2024 年 6 月 20 日		
所属学部・学科	法学部法律学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	4	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	スペイン語検定 6 級、学内スピーチコンテスト優勝
帰国時	DELE B2、スペイン語検定 3 級受験予定

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時はホストファミリーとの会話の内容は理解できたが、自分の意志や考えを伝えることは苦手だった。また、街に出ると様々な年代、国籍、性別などでアクセントが変わるため、リスニングに苦手意識があった。
帰国後はリスニング、スピーキングに伸びを感じたが、留学前に抱いた理想像にはまだほど遠い、スペイン語のニュース記事を毎日読むようにしているため読解力はついた。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
現地人の生活、文化、行動などを本で学んだ内容と比較しながら調査した。その結果、合っていた内容もあったが現地で新しく学ぶことのほうが多かった。
課外活動では積極的に現地人とコミュニケーションをとり交流を深めることを心掛けた。その結果、信頼してくれるようになり、現地の人でもなかなか入れない場所やイベントに招待させてもらった。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学で得た経験、語学力、知識、自信を生かして常に成長できる、競争力のある企業に就職し活躍したい。自分にしかできないことやモノを社会に還元し社会貢献していきたい。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修ではスペイン語の読み物、ニュースを読んで日本語に訳す作業を徹底的に行ったことで読解力が付きました。また、毎週気になるスペイン語のニュースを1つ抜粋し、それを精読→日本語訳し、先生に確認してもらったことでスペイン語から日本語への翻訳だけでなく、ニュース記事に適した日本語を学ぶことができた。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	1 か月程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	出国日から逆算して余裕をもって申請する。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
発送しておりません。機内荷物だけです。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→羽田空港→仁川空港（大韓航空）→バラハス空港（マドリード） マドリードの空港から市内まではシャトルバスで移動。マドリードからレオンまでは普通のバス
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
レオンではホストファミリーと語学学校の先生方が出迎えしてくれた。申し込みは到着日1か月前ぐらいに現地学校へ申請した。
その他出発前に準備しておくべきこと
必要な荷物を購入しておく 現地で購入できるものは現地で購入したほうが荷物は減ります

【到着直後の手続きについて】

● 現地でオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
ウェルカムウィーク期間中にあった歓迎会。スポーツやゲームを行い交流を図る。8月ごろにある。 夏季集中講座として本学期が始まる1か月前（8月）に文法の勉強を行った。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
大学で行われたエラスムス（ヨーロッパの学生）向けのオリエンテーションが8月にあった。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
現地在留カードの発行。手続きがやや煩雑なため、インターネットで日本語で解説している記事を参考にしながら行う。 銀行口座は必須ではない。キャッシングでも引き落とせるので作らなくてもいい（あまりおすすめはしません）。私はオンライン銀行アプリ（WISE）を使用していたが現地の銀行口座を持っていないと現金が引き落とせなかったため開設した。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
現地の学生とは定期的に交流を図れる様々なイベントがある。毎週火曜日はエラスムス（ヨーロッパの学生）の日で夜になると飲食店に多くいる。そこに行けば語学学校では知り合えない仲間と知り合える可能性がある。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC教室の有無、授業における個人PC必要性など
大学付属の図書館があり、学生証を発行すれば常に出入りが可能。また、私は使用していないが、体育館やジム、運動場、カフェなどあり、時間をつぶすことができる娯楽施設は充実している。 個人PCの必要性はないが、マンスリーを毎月書くので各自用意しておくとなおいい。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
レオンはほかの町に比べて治安がいいとされている。しかし、日本ではないということを常に意識しなければならない。日ごろから盗難対策や身の安全を守ることはどこに行っても求められる。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
大学指定の東京海上日動保険を利用、基本的にすべて保険でカバーしてくれる（死亡、けが、病気、私物の紛失等）。しかし割高に思えた。もう少し安いと学生は助かる。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	130,000 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	クレジット
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☒ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	45,000 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	現金

この住居のメリット・デメリットについて

・ホストファミリー：

メリット：現地人と実際の生活様式を体験できる。地域の料理を知ることができる。ホストファミリーのお知り合いを紹介してもらえる。

デメリット：行動時間や食事のタイミング、内容などが決まっている。費用が高すぎる。

・シェアハウス：

メリット：各国の学生たちと生活を共にでき、様々な価値観や文化が学べる。安い。

デメリット：騒音や衛生面、相性などでストレスがたまる。常に周りに気を使いながら生活しなければならない。

食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に

ホストファミリーと住んでいた際には朝・昼・晩と3食出た・

シェアハウスに移ってからは学校終わりにスーパーに同居人と一緒に買い出しに行き、自炊していた。その際、手間を省くために一度に作り置きしていた。

休日は友達と外食に行くこともあったが、当時は円安の影響もあり、なるべく自炊するよう心掛けた。

どのような家具・日用品が用意されていましたか？

購入する必要があったものは何ですか？

日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）

変換プラグ、日本の調味料

日常の買い物について

現地は日本と比べてフルーツや野菜が安いので積極的に買うようにした。そのほかにも、ナチュラルチーズは常にストックしていた。

現地での移動手段について

学校までは徒歩だが、大型商業施設は少し離れているためバスも利用していた。

休暇中の過ごし方について

休暇中はホストファミリーの家を訪れたり近くの町に旅行したりした。また、スペイン人の友達に誘われて車で近くの村や山に行った。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありませんか？ どのように解決しましたか？	
大学で講義を受けたい場合にあらかじめ担当教員に連絡し許可を得る必要がある（聴講生の場合）。 受けたい講義は学期前に登録することができるが、期間が短いため注意が必要となる。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学学校ではテスト、課題の提出、出席率で評価される。そのほかにも発言をすることで評価だけでなく自信にもつながるので強くお勧めする。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
クラブや課外活動には所属していなかったが、現地の人と街に出て様々な店を訪れ地域の特色や労働者の方々との交流を深めた。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
スペイン語 文法（1～3 学期・語学学校）			
歴史（1 学期・語学学校）			
建築（2 学期・語学学校）			
美術・建築（3 学期・語学学校）			
地域の地理（1 学期・大学〔聴講〕）			

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8 月 15 日	マドリード 到着
8 月 16 日	レオン 到着
8 月 21 日	夏季集中講座① 開始 / クラス分け試験（筆記・口頭）
9 月 1 日	夏季集中講座① 終了
9 月 4 日	大学ウェルカムウィーク（休み） 開始
9 月 8 日	大学ウェルカムウィーク（休み） 終了
9 月 11 日	夏季集中講座② 開始
9 月 29 日	夏季集中講座② 終了
10 月 4 日	秋学期 開始
12 月 6 日	プエンテ（大型連休） 開始
12 月 10 日	プエンテ（大型連休） 終了
12 月 20 日	秋学期 終了
12 月 21 日	冬休み 開始
1 月 7 日	冬休み 終了
1 月 8 日	冬学期 開始
3 月 14 日	冬学期 終了
3 月 18 日	春学期 開始
3 月 24 日	セマナサンタ（大型連休） 開始
3 月 31 日	セマナサンタ（大型連休） 終了
6 月 5 日	春学期 終了
6 月 20 日	日本帰国
月 日	
月 日	
月 日	

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		240,000		円	
B. 海外旅行保険（1年）		200,000		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		0		円	
D. 教材費（1年）		0		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	45,000	円（月額）	710,000	円（年額）
	食費	30,000	円（月額）	300,000	円（年額）
	交通費	10,000～ 15,000	円（月額）	125,000	円（年額）
	携帯代金	1,600	円（月額）	16,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	20,000	円（月額）	200,000	円（年額）
	その他	15,000	円（月額）	150,000	円（年額）
	生活費合計	136,000	円（月額）	1,501,000	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,950,000		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
現地では主にクレジット支払いとなっている。しかし、市内バスは現金支払い、一部の飲食店では最低金額（10€など）を超えないと払えない場所もあります。また、友達と一緒に食事をする際は分けて払うことが多いため、小銭を持っておくと便利です。 現地の家賃支払いも基本的には現金支払いです。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
学費は払わなくて済みますが、現地での生活費や娯楽費、旅行代などはすべて自費なので、出国前にいくぐらい必要になるかあらかじめシュミレーションしておくで後で切羽詰まらなくて済みます。 また、その時の為替にもよりますが、150～200 万ほど用意しておく旅行なども楽しむことができるのではないのでしょうか（もちろんそれ以下でも可能ですが節約しなければなりません）。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レオン大学	
留学期間	2023年8月15日～2024年6月20日	
所属学部・学科	法学部法律学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は2023年8月から2024年6月までスペイン・レオンにあるレオン大学に交換留学しました。まず私が今回スペインへの交換留学を決断した理由を3点挙げたいとおもいます。

1点目はスペイン語に魅了されたからです。2点目は実際に学んだスペイン語を活かして現地人の生活、文化を直接学びたいと思ったからです。3点目は高校生の頃からヨーロッパで長期留学に興味があったからです。

この報告書では主に①1年間の留学生活で学んだこと・経験したこと、②現地の生活、③留学の総括・今後の展望の3点について報告します。

1. 1年間の留学生活で学んだこと・経験したこと

ここでは1年間の留学生活で学んだこと・経験したことを述べたいと思います。

① 勉強面(正課活動)

約1年間、レオン大学附属の語学学校でスペイン語・歴史・美術・芸術を中心に学びました。語学学校は、正課活動（日々の授業）と課外活動（遠足や市内巡りなど）で構成され、語学レベルに応じてクラスが分けられます。（課外活動については次項で記述します。）

正課活動の授業を通して、私は自分の意見を持ち、相手に伝えることの重要性和必要性を学びました。少人数制のクラスでは、一人ひとりが発表する機会が平等に与えられました。欧米の留学生は、積極的に自分の意見を述べ、質問に対してもしっかりと答える姿が印象的でした。周囲を巻き込んで議論を展開できるため、お互いが深く理解し合えました。

一方、私は人前で話すことや、自分の意見を伝えることに苦手意識を持っていました。その原因は、①語学力、②自信、③文化にあると考えています。留学前から語学学習に励んでいましたが、実際の授業では、文法や単語が理解できていることを前提に進められることが多く、専門的なテーマの議論では、専門知識とそれを外国語で相手にわかりやすく伝える力が求められました。これらのプロセスを踏むことが難しく、人前で話すことにストレスを感じていました。先生からの質問にも、「すみません、知りません」と答えてしまい、議論が深まることはありませんでした。クラスメイトのポルトガル人やベルギー人、アメリカ人は、お互いの母語の言語間距離が近いため、すぐに打ち解け、コミュニケーションも円滑に行っていました。私は自信を失い、これまでの環境や準備不足、そして自分の才能のなさを感じてしまう時期もありました。

日本の教育では、正解を求められるあまり、失敗を恐れる若者を育成する傾向があると感じています。私も中学生の頃、発音や文法の間違いを指摘され、周りに嘲笑された経験から、外国語を人前で話すことに自信を失いました。語学学習において、失敗は成長するために不可欠なものです。しかし、失

敗を恐れるような環境が、私の成長を阻害していたのだと考えます。

この知識不足とコミュニケーション能力の欠如という課題を克服するために、私は意識的に以下の3つの取り組みを行いました。

「なぜそうなっているのか」原因を考えること：知識不足を解消するために、政治や文化については現地の友人やホストファミリーに質問し、語学については学校の先生に質問しながら理解を深めました。同時に、日本と比較するためにインターネットで調べることも行いました。コミュニケーションに関しては、話す内容よりも表情や身振り手振りなどを意識しました。日本語を話す際は意識しない点ですが、現地の人々の真似をすることで、自然と会話の輪に入っていくことができました。

様々なバックグラウンドを持つ人々と交流を持つこと：同年代の学生同士の交流だけでは、価値観やマインドセットが偏ってしまうと考え、高齢者や労働者、経営者、年少者の方々とも交流しました。多角的な視点から他者にアプローチすることで、知識の習得とコミュニケーション能力の向上を目指しました。

「間違えるために行動する」という思考：語学学習においては、「間違える」というステップを踏まないと成長は見込めないことに気づきました。そのため、日々の文法学習では、間違えないように文法や単語を勉強するのではなく、どこが間違えているのか分かるように勉強するという意識で励みしました。その結果、間違えることに抵抗がなくなり、以前よりも自分の間違いに気づきやすくなり、学習した文法を応用できるようになりました。このことは、行動力にも良い影響を与え、以前は自分の知らない世界に飛び込むことに躊躇していましたが、今では、最初はわからない前提で勉強しながら習得していけば良いという考えを持つことができるようになりました。

② 勉強面(課外活動)

課外活動では、月に複数回、市内の大聖堂、美術館、協会などの歴史的建造物を見学したり、近隣都市へ遠足に出かけたりしました。講義で学んだ歴史、美術・芸術を実際に現地で視察することで、大聖堂内の静寂な空気と、日光に照らされて鮮やかに輝くステンドグラスが作り出す神秘的な風景、美術館に展示された絵画の質感や、精緻な色彩のグラデーションなど、教科書では学ぶことのできない「美しさ」を体感しました。

課外活動で学びを深めるために、私は3つのことを意識しました。

1点目は、移動中のバス車内でクラスメイトとスペイン語で会話することです。特に、アメリカ人女性の方と隣同士に座り、お互いのバックグラウンドや非ネイティブ学習者の学習方法、スペイン語学習の目的などを質問し合い、積極的にアウトプットする環境を作りました。

2点目は、ガイドに積極的に質問することです。わからないことや聞き逃したことは、その場で質問するように心がけました。疑問点をそのままにせず、理解を深めるよう努めました。

3点目は、解説を聞く際に最前列に座ることです。聞き逃しを減らすために、常にガイドの視界に入る場所に立ち、いつでも質問できるように準備しました。その結果、ガイドの方から特別に詳しく教えていただく機会にも恵まれ、積極的に学ぶ姿勢と、質問することを恐れないことが、学びを深める上で非常に重要だと実感しました。

2. 現地での生活

ここでは主に現地での生活について述べたいと思います。

現地ではホストファミリー(3ヶ月)、シェアハウス(7ヶ月)で生活しました。ホストファミリーとの生活では地域の伝統料理が提供されていたため、関心のある地域料理(レオン料理)を学ぶことができました。ここで少しレオン料理の特徴について述べたいと思います。レオンはスペイン北部に位置し、夏は涼しく冬は厳しい寒さに見舞われます。そのため、寒さをしのぐために粉末パプリカなどの香辛料が多く料理に使用されます。そのためそのバリエーションも豊富で粉末パプリカでも甘味、酸味、辛味、燻製味などがあります。スペイン料理の味の基本となるオリーブオイル、ニンニク、トマトに粉末パプリカを加えることで味に深みが出ます。日本料理の味の決め手となるさ・し・す・せ・その調味料を想像するとわかりやすいかと思います。

ホストファミリーとの生活を通して家族観の価値観の変化がありました。まず、スペインでは家族愛が強固です。それは表現にも表れており、スキンシップやボディタッチ、接し方などは親子関係とは思えないほど親密です。それゆえ成人後も親元で暮らす若者が多いという一面もありますが、日本の親子関係と比較するとその距離感に違いがあります。また、夫婦がともに行動し生活を楽しむという文化も根付いています。休暇を利用して旅行を楽しむ夫婦が特に高齢者に多くみられました。スペインでは日本人よりもワーク・ライフバランスを大事にし、長期休暇のみならず週末でも地元へ帰省し家族との時間を過ごします。これこそ現在の日本社会に欠けていることだと思いました。

さらに私は現地での生活を経験して常識を疑う重要性を学びました。日本とスペインでは常識が異なります。例を挙げると、まず挨拶のタイミングが違います。特に印象に残ったのが、ホストファミリーと一緒にカフェで食事をしていた際、一人のお客さんが入る際に挨拶をし、一緒にいたホストファミリーが返したのです。私は知り合いだと思い尋ねてみると初対面とのことでした。スペインでは、お客さん同士が初対面でも挨拶をすることがあります。日本人の価値観だと「なぜ?」となってしまいますが現地ではこれが常識なのです。その時、ふとこれまで挨拶を返さずに無視していた自分自身を反省しました。現地の文化、常識を理解していなかったためにリスペクトに欠けた行いを無意識にしていたことをその時に知りました。以降、私は失礼な態度をとっていないか日常の中で意識し時には現地人に聞いたり、行動を共にして再発防止に努めました。新しい土地・環境の下では分からないことがたくさんあります。これまで自分が常識だと思っていたことを一度疑問に思い、批判的・多角的視点をもって行動することの重要性を学びました。

③ 留学の総括と今後の展望

ここでは留学の総括と今後の展望を述べたいと思います。

今回の長期留学で、私は人生で初めて外国で生活し、多くの貴重な経験をしました。周囲のサポートがなければ、これほど多くのことを学び、人との出会いを深め、困難を乗り越えることはできなかったと思います。

新型コロナウイルスの影響で、大学1・2年時は主にリモートワーク、3年次は対面授業が増えたものの、人との交流は限られていました。そのため、私は一人で目標を設定し、問題解決に取り組むことを強いられました。この状況下で、できる限りのことをしようと努力し、語学力を伸ばし、学内スピーチコンテストで優勝することができました。しかし同時に、一人で何でも解決できると思い込み、周囲に頼ることなく、悩みを一人で抱え込むこともありました。

また、その頃「今の若者はすぐに人に答えを求める」という話を聞き、「人に聞くことは悪いこと」という考えを持つようになりました。悩みがあっても、一人で解決することが美德だと信じていました。しかし、留学先では、現地の人への助けなしには生活が困難な場面が多く、勇気を出して助けを求めることで、相手も心を開いてくれ、交流の輪が広がっていきました。

この経験から、人に相談することは決して弱さではなく、周囲を巻き込んで問題解決に取り組む積極的な姿勢であると気づきました。現地の皆さんは、まだスペイン語が話せない私に対して、優しく手を差し伸べてくれ、期待以上のことをしてくれました。

今回の留学で学んだことを活かし、今後は周囲の人を頼り、協力し合いながら成長していきたいと考えています。社会は一人では成り立たず、互いに支え合うことで成り立っていることを改めて実感しました。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レオン大学	
留学期間	2023 年 8 月 16 日 ～2024 年 6 月 13 日	
所属学部・学科	総合文化学部・日本文化学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	語学クラス：A2、スペイン語検定 6 級取得済み
帰国時	語学クラス：B2.2

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
・留学初期は授業についていけない感じが全然なく、泣きべそをかくくらいだったが、帰国時は授業内での発言を積極的にできるだけではなく、授業外でも語学学校の先生や生徒とコミュニケーションを取ることができたり、道を案内や少しのトラブルには対応できたりするようになった。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
・いろんな国の人と交流する！→授業や遠足を通していろんな国の人と交流することができた。 ・スペイン人の友だち作る！→スペイン人の友人がたくさんでき、留学後も継続して連絡を取り合っている。 ・大学の講義を受ける！→レオン大学で後期の授業を 1 つ聴講することができた。内容理解はとても難しかったが、事前に資料をもらうなどしてできるだけ授業について行けるように励んだ。また、授業内プレゼンにも参加し、フランス人の 2 人とグループを組み、アラゴン語についての発表をした。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学成果：語学クラスが A2→B2.2 と 3 クラスアップした。 今後の目標：・スペイン語の勉強を続け、DELE B1 を取得する ・留学をしようか悩んでいる学生の背中を押す（language peers の活動などに積極的に参加する） →冲国でのスペイン語関係のイベントなどに積極的に参加したい ・留学でできた友人との交流を続ける ・もう一度スペインに行く！

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	・少しでもスペインについて事前に様々な分野で知識をつけておくことで、語学学校での授業で触れる内容にとつきやすかった（建築、歴史など）。 ・スペイン語 I ～IVで触れない文法（接続法）も事前に少し学ぶことができて、語学学校で新しい文法に触れる時に大きな拒絶反応は起こさなかった。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	留学ビザ
申請から発行までかかった期間	2 か月弱程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	レオン大学から入学許可書が送られてくるのが想定より遅かったため、受け取ったらすぐ申請できるように書類は準備していた方がいい。とにかく早くて損はない。大使館で約 2 か月前に申請したが、受け取るかぎりぎりの時期だった。また、大使館は開館時間より早く並んでいた方がいい。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
事前に荷物の発送はせず、全てキャリーケースに詰めて（20kg くらい）行った。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港（出発）→羽田空港→韓国→バラハス空港（マドリッド）→〔市内バス〕→マドリッド市内→〔バス(ALSA で約 5 時間)〕→レオン（到着）
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
事前にレオン大学の方から、ホストファミリーが駅まで迎えに行くという連絡があり、そのために到着日時を事前に伝えていた。
その他出発前に準備しておくべきこと
・私は風邪薬を 1 箱しか持って行ってなかったため、風邪を引いた際、もっと持参すればよかったと思った。 ・化粧水は持って行かなくても大丈夫だけど、乳液は持って行った方がいいと思う。ラロッシュポゼなどの日本でも少し値段のするものがあるが、やはり高いため、出発時に持参する方がいいと思う。化粧水はメルカドーナ(スペインのスーパー)のもので全然大丈夫だった。 ・100 均とかのちょっとしたシールとかストラップとか持って行っておくといいかもしれない。帰国の際や、友だちが帰国する際に渡すと喜ばれる。 ・クレジットカードは最低 2 枚持っていた方がいい。私は 4 枚持っていた。実際 1 年間で使ったのは 3 枚。 ・私はそんなに日本食ロスにならなかったため、日本食はそんなに持参しなくてもいい気がした。逆に帰国前の消費に追われた。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
語学学校で最初に受ける 2 週間のエラスムスの授業が終わった後、ウェルカムウィークという大学でのオリエンテーションのようなものがあった。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
語学学校の事務の方に聞いたところ、ウェルカムウィークには参加してもしなくていいと言われたため、初日だけ参加した。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
・到着届のような書類を大学で受け取る必要がある。（スペイン出国前にそれをまた大学に持っていき、出発届のような形で手続きがあるため、忘れないように注意。） ・Tie（市役所で書類発行→銀行で税金の支払い、写真屋さんで顔写真撮影→警察署で必要書類の提出 など） ・学生証の申請・受け取り（レオン大学のアプリ、または語学学校の事務で申請→大学で受け取り）

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
8 月：冲国 3 人＋立教 1 人（日本）＋エラスムス（ヨーロッパの人たくさん） 9 月：京都外大 1 人（日本）＋立教 1 人（日本） 増えた 秋学期：関西外大 15 人＋琉大 5 人 増えた（語学学生の過半数が日本人） その他の生徒は、アメリカ、中国、トーゴ、イギリス、モロッコ、ベトナムなどからも来ていた。 冬学期：語学学生はそこまで多くなかった。 春学期：アメリカ人（ワシントン大学、ミズーリ大学からの生徒）がたくさん来た。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
pc 室はあったが、私は 1 度も使用していない。他の生徒は 1 度だけ授業で使用していた。授業でも pc の使用はなかった。レポート課題が出されることがあるから、pc の持参はしておいた方がいい（マンスリー報告書もあるし、大学の講義を受けるかもしれないし、就活もできるし何かと使う）。冬学期ごろから自習スペースができた。協定校組は Wi-Fi を普通に使うことができたが、他の学生は毎月申請のようなものを行っていた。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
レオンの治安はとてもいい。夜中でも女の子 1 人で歩ける。 ただ雨の日や、細くて暗い道などは少し怖かった。「マリアナアンドレス」という語学学校からは遠いが大学近くの通りは治安が悪いから気を付けるようにスペイン人の友人たちからよく言われていた。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
日本での保険＋レオン大学が指定している保険の 2 つに加入した

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	約 130,000 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	8 月に語学学校でカード払い（基本 1 回払いだが、2 回に分けることも可能）
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☒ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	約 55,000 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	毎月入居日に現金手渡し

この住居のメリット・デメリットについて

滞在先①：〔メリット〕 週 1 で部屋の掃除をしてくれる。ごはんを毎日用意してくれる。喋り相手がいるため、会話の練習ができる。
生活費はあらかじめ支払っているため、食べたいものや必要なものを伝えやすかった。お風呂の時間、帰宅時間についてルールがない。〔デメリット〕 冷凍の食事が多かった（ピザ、ラザニアなど）。費用が高い。

滞在先②：〔メリット〕 家賃が高い分、同居人・周りの住人の質はある程度保障されると思う。近所の治安もいい。
プライベートのお風呂トイレがついている部屋がある。学生だから通常より安い家賃で借りることができた。大家さんも同じ場所に住んでいるため、スペイン人とのコミュニケーションがとれる。〔デメリット〕 家賃が高い。大家さんがたばこを吸う。主要な通りに面しているため、町をあげての行事の際は、家の周囲がにぎやかになる。

食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に

滞在先①：ホストマザーが用意してくれた

滞在先②：自炊

どのような家具・日用品が用意されていましたか？

購入する必要があったものは何ですか？

日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）

滞在先①（自室内）：ベッド、勉強机、いす、サイドテーブル、クローゼット、卓上ライト、シャンプー、リンス、ボディーソープなど
何かを自分で購入する必要は特になかった。

滞在先②（自室内）：ベッド、いす、サイドテーブル、クローゼット、ベッドライトなど
シャンプー、リンス、ボディーソープ、トイレトペーパー、洗濯洗剤などは購入する必要があった。また、コーヒー豆、食器用洗剤、ゴミ袋などは住人で交互に購入していた。

持っていきべきもの：電子レンジでお米が炊けるやつ、乳液、菜箸など

日常の買い物について

滞在先①：食品やシャンプー、ボディーソープはホストマザーが買ってくれた。服や文房具は自分で買っていた。

滞在先②：週 1 くらいで食品の買い物をしていた。野菜や果物は土曜に開かれる市場で買ったりしていた。

現地での移動手段について

徒歩がメイン。少し遠くのショッピングモールに行く際は市内バスを使用することもあった。（市内バスは 1.2€、現金払い）。

休暇中の過ごし方について

- ・友人たちとカフェやバルに行ったり、買い物をしたり、語学学校の日本語クラスに行ったり、散歩をしたりした。
- ・平日に備えて作り置きを作っていた。
- ・語学学校の遠足に参加した。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
特になかった。 聴講する際は、授業を受け持っている教授と直接メールでやり取りをした。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学学校ではスペイン語やスペインの歴史・美術についての授業しかないし、授業時間も沖縄国際大学ほどないため、座学での学習量は少なかったように感じる。スペイン語のレベルはもちろん高かった。授業の形式は、沖縄国際大学よりも生徒の発言の場が多く実践的でとても楽しかった。語学学校での成績評価方法は、どの授業も出席点の比率が大きい。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
参加していない	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
スペインの地域言語（後期・学部授業）	—	—	—

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月15日	マドリード到着
8月16日	レオン到着
8月21日	夏季集中講座①（エラスムス） 開始、クラス分け試験（筆記・口頭）
9月1日	夏季集中講座①（エラスムス） 終了
9月4日	大学ウェルカムウィーク（休み） 開始
9月8日	大学ウェルカムウィーク（休み） 終了
9月11日	夏季集中講座② 開始
9月29日	夏季集中講座② 終了
10月4日	秋学期 開始
12月6日	プエンテ（大型連休） 開始
12月10日	プエンテ（大型連休） 終了
12月20日	秋学期 終了
12月21日	冬休み 開始
1月7日	冬休み 終了
1月8日	冬学期 開始
3月14日	冬学期 終了
3月18日	春学期 開始
3月24日	セマナサンタ（大型連休） 開始
3月31日	セマナサンタ（大型連休） 終了
6月5日	春学期 終了
月 日	
月 日	
6月14日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		約 340,000		円	
B. 海外旅行保険（1年）		約 220,000		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		0		円	
D. 教材費（1年）		0		円	
E. 生活費 （月額／年額）	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	約 55,000	円（月額）	約 800,000	円（年額）
	食費	約 25,000	円（月額）	約 180,000	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	約 1,600	円（月額）	約 16,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	約 15,000	円（月額）	約 150,000	円（年額）
	その他	約 15,000	円（月額）	約 150,000	円（年額）
	生活費合計	約 110,000	円（月額）	約 1,360,000	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 （F = A + B + C + D + E）		約 1,840,000		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
スペインでは基本クレジットカードを使用した。 普段使うものと、家賃など大きい現金を用意するものでカードを分けていた（使用限度の関係で）。 日本にいる両親に毎月の振り込みをお願いしていた。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
留学前にできるだけたくさん稼いでおいた方がいいと思います！！私は空きコマにアルバイトを入れるなどして、1日に2つのアルバイトをするなど、時間の使い方を工夫していました。 また、1年次から特待奨学生を目指すこともオススメです。私は特待奨学生に選出させていただいたため、その分両親に対して留学の相談がしやすかったです。 円安に関しての予測は難しいため、円安覚悟で留学に行った方が良いでしょう。時間や経験はその時にしかないものなので、できるだけいろんなことにチャレンジできるように留学費用は多めに見積もっておきましょう！

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レオン大学		
留学期間	2023 年 8 月 16 日 ～ 2024 年 6 月 13 日		
所属学部・学科	総合文化学部・日本文化学科	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	3 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次	

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は今回の国外協定校派遣留学で、海外語学・文化セミナー以上にスペイン語を学び、私の人生において力になるであろうたくさんの経験をする事ができた。

昨年、私は 8 月に開催される海外語学・文化セミナーに参加し、1 か月弱という短い期間の中でも自分の母語ではない言語(スペイン語)で海外の人とコミュニケーションをとることの楽しさに魅了され、語学力の伸びを感じていた。しかし、自分の伸びを実感し始めた頃に留学期間が終わってしまい、不完全燃焼で帰国することになった。そこから約 1 年の長期留学を目指すことができたため、海外語学・文化セミナーに参加してよかったと思う。また、初めての留学で海外語学・文化セミナーに参加することで、「やらないで後悔より、やって大成功」のマインドができ、それが長期留学への挑戦に繋がったと思う。

ここからは今回の留学についてまとめていく。

最初に、留学前後での変化についてまとめていく。

留学中に成長したことで言えば、語学力はもちろんだが、生活力も大きく成長したと感じている。沖縄では実家で家族と暮らしているため、「すべて一人で」ということがなかった。初めての一人暮らし（シェアハウスだが）をして、最初は時間の使い方や料理の面で苦労したが、慣れてくると 1 日を通して効率的に過ごすことができるようになり、以前よりも時間を大切に動くことができるようになった。

また、言語が通じない場所で 1 年弱生活したことで「やればできるんだ」という自信がつき、上手いかない事やトラブルもあったが、それらに全力で向き合い乗り越えることで、意外と何事もどうにかなるという余裕を持つことができるようになった。さらに留学前は心配性な性格であったが、今では「これも何かのネタになるか」と比較的トラブルも楽しめるようになったと感じている。

そして、留学中は特に帰国までの時間が限られているため、その時にしかできないことを積極的にやっていこうというマインドができ、より積極的に過ごすことができたと思う。それは帰国後にも繋がっており、以前は行きたい場所があっても、これから先いけるしなと思い後回しにしていたが、帰国後は「〇〇したいな」と思ったらすぐに予定をたてて行動するようになった。

ここからは具体的な体験談も交えて項目ごとにまとめていく。

まず、ホームステイについて。

ホームステイでは、セリア（ホストマザー）とマヌエル（ホストブラザー）と一緒に 3 か月生活した。2 人ともとても優しく、セリアはいつもその日の授業について、友人との話、日本の話などを聞いてくれ、マヌエルは、14 歳ながらにスペインの政治についての知識が豊富で、出会った日からほぼ毎日スペイン政治についての話をしてくれた。しかし、政治に関

する単語は難しく馴染みもなかったため、始めの頃は聞き返したり、全くわからなくて別の話に方向転換したりしていたが、スペインで行われたデモや選挙についてのアンテナをたてて少しでも情報収集をするようにした。すると、マヌエルとの会話の中で聞いたことのある単語が出てきたり、話のイメージがしやすくなったりと、会話がしやすくなった。さらに、語学学校の授業の中で、その頃にスペインで行われていたデモの理由は何なのかというトピックについて触れたのだが、ホストブラザーが話してくれた内容が授業内で出てきたため授業理解にも繋がり、とても嬉しかったし、モチベーションにも繋がったことを覚えている。

ちなみに、セリアが語学学校の先生だったことを最後の学期に知った時はとても驚いた。

次にシェアハウスについて。私はホームステイの後、語学学校から徒歩で 10 分ほどのピソに移った。家賃は光熱費込みで月 350€とやや高額ではあったが、日本人の友人が住んでいた大学近くの別のピソの家賃は、基本料金 280 €に毎月水道代がプラスされて 300€ほどであった。私が住んでいたピソは街の中心地で立地がとても良かったし、また家賃がやや高額であることから、同居人や近隣住人の質や、家の設備はある程度保障されていたと思う。それらを踏まえて 350€であれば許容範囲だと考え、そのピソを選んだ。

ピソには 11 月中旬から 6 月中旬に住んでいて、年末までは大家さん(70 代女性)とスペイン人女性(60 代)と 3 人で住んでいた。スペイン人の女性はとても親切な方で、スペインでクリスマスに食べるケーキをおすそ分けしてくれたり、スペインについて教えてくれたりした。大家さんはとてもお喋りな方で、キッチンなどで会うと、スペインの祝日やスペインのおすすめの場所、そしてスペイン語の表現についても教えてくれた。

年末にスペイン人女性が引っ越し、しばらくは大家さんと 2 人で住んでいたが、2 月から立教大学から交換留学で来ていた友人と一緒に住むことになった。その友人は、私と同じ時期にレオンに来て初めからピソ暮らしをしていたが、同居人が薬物を使用していたり、ピソでのルールを守らなかったりというトラブルが原因で一刻も早く引っ越したいということで、私のピソを紹介した。日本人と住むことに最初は気が引けていたが、互いにモチベーションを上げあうことができたり、情報共有ができたりしたため、結果としては一緒に住んでよかったと思っている。

ピソに住む中で、一度共有部分のドアが壊れ、それが誰の責任になるのかというトラブルが起きた。その時は日本人の友人も私も悪くなかったが、大家さんも私はこれを直さないの一点張りで、友人と二人で泣く泣く修理業者を探した。しかし、私たちは絶対悪くなかったし、お金も払いたくなかったため、一か八か、機械工学を専攻しているスペイン人の友人に見てもらった。すると彼がドアを直してくれ、一件落着いたのだが、私たちは本当に運がよかったなと思った。この経験は留学中に焦ったランキングトップ 5 に入るくらい焦った出来事だった。

次に語学学校について。

語学学校には留学中の 10 か月間通い、その期間中に A2 から B2.2 までクラスが上がる事ができた。

8 月の 2 週間だけのエラスムスの学生たちと一緒に参加する授業では、クラスメイトのほとんどがイタリア人、フランス人、ドイツ人などヨーロッパの人だった。そのクラスで授業を 2 週間受けたのだが、同じレベルのクラスのはずなのにクラスメイトは授業内容を理解しているように見え、授業にまだ慣れていなかった私は、このクラスは私にはレベルが高いと感じ、クラスの先生に「授業が早い」と泣きべそをかきながら伝えたことがある。その時、その先生は「あなたはこれから 1 年ここにいるんだから焦らなくても大丈夫」だと言ってくれ、何とか最初の 2 週間を乗り越えることができた。語学学校に通った 10 か月の中で、このように授業についていけないと感じたり、自分の語学力が伸びていないのではないかと感じたりすることはあったが、そのたびに語学学校の先生やクラスメイトが助けてくれ、頑張り続けることができた。

語学学校ではいろんな国籍の友人をたくさん作ることができた。中国、アメリカ、イギリス、韓国、イタリア、ドイツ、サウジアラビア、モロッコ、インド、トーゴなど、様々な国の人と話し、彼らの国について聞いたり、日本・沖縄のことと話したりする中で、それぞれの違いや共通点を共有するのが楽しかったし、また、違うところの中から自分が共感する部分は私の価値観に取り入れてみている。私は 10 か月レオンにいたため、3 か月で帰ってしまう友人たちと離れるのは寂しかった

が、彼らもまた涙を流しお別れを悲しんでいたため、それくらい仲良くなれていたことを感じ、嬉しくもなった。

そして、私は大学の後期の「スペインの地域言語」についての授業を聴講した。大学の講義は語学学校の授業後は全然異なり、座学中心で生徒の発言はほとんど見られなかった。そして 1 度だけ授業内小テストに目を通したことがあるが、何を問われているのが全く分からず打ちのめされた気持ちになった。だが、担当の教授がとても優しい人で、授業内のグループプレゼンに参加させてくれたのだ。全然授業について行けるほどの語学力がなかった私も参加させてくれ、とても嬉しかったし、より一層頑張ろうと思った。グループは 2 人のフランス人と組み、3 人で役割分担をして準備を進めた。準備を進める中で、1 度 2 人が住むアパートで作業をすることがあり、とても緊張したのを覚えている。向こうは日本語が全くわからないし、私もまだスペイン語で満足に話すことができない状況でどうするのだろうと不安に思っていたが、その 2 人はとても優しく、私が理解できるような比較的簡単な表現をしてくれたり、私の分担を簡単なものにしてくれたりした。そして私は発表当日まで何度も原稿を読み練習したのだが、やはり緊張してしまい、専門用語などの難しい単語が本番で読めなくなってしまった。その時、グループのメンバーが耳元でこそっと読み方を教えてサポートしてくれた時は涙がでそうなほど嬉しかった。彼らの支えもあり、無事に後期の授業を受けきることができた。

次は放課後や、友人たちとの過ごし方についてまとめていく。

放課後は、語学学校の日本語クラスに参加したり、日用品の買い出しに行ったり、友人たちとカフェに行ったりなど、いろんな過ごし方をしていた。

特に日本語クラスは平日に毎日開講されているため、少し時間が空いた時や、何も予定がない日など、どんな日でも参加しやすく、参加するとスペイン人の生徒の皆さんが温かく迎え入れてくれ、そこでスペイン人の友人をたくさん作ることができた。そこでできた友人と週末にカフェに行ったり、ドライブに行ったりでき、楽しい思い出を増やすことができた。

日本語を勉強しているスペイン人の中で特に仲良くなった友人たちとは、毎週金曜の夜にバルに行き、スペイン語での会話練習、日常で使う表現方法の習得を頑張った。彼らが日本語を勉強していたから、どうしても伝えにくいときは、スペイン語と日本語を交えて会話をすることができたことが心強かった。

そのいつも一緒にいたスペイン人の友人と帰国前にバルで会った時、「ここに来た時よりもスペイン語がとっつと上達したよね」と言われ、また、「君がここに来たばかりの頃は、君に話す内容や伝え方を考えるのがすごく難しかったよ」とも言われ、「そうだよねーごめんねー」となりながら、帰国時にはそんなことも笑いながら話せていたことが嬉しかった。

また、別の友人に「スペイン語の勉強を頑張っているんだけど、周りみたいに伸びてる気がしないんだよね」と相談した時、「みんなそれぞれ得意不得意があるから、同じ量努力しても結果で出る量は違って当たり前だよ。それぞれのペースで頑張っていんだよ。君もここに来た時よりスペイン語が伸びてるしね」と励ましてもらったことがあり、とても元気づけられたし、スペイン人からその言葉を言われた時、国籍を超えてもやっぱり人間はみんな同じなんだと、改めて感じるすることができた。

このような経験を重ねることで、沖縄以外にも帰る場所があるという心の支えが増えたように思う。

そして、別の国の友人たちともたくさんの時間を過ごした。中でも思い出に残っているのは、最初の学期末に中国人の友人の家にクラスメイト（アメリカ人、トーゴ人、日本人、中国人）で集まって食事をした事だ。その友人はとても料理上手で、レオンで 1 番と言っていいほどおいしい中国料理をごちそうしてくれた。その食事会で、クラスメイトみんなでその学期の思い出について語り合ったり、それぞれのバックグラウンドの話をしたりと、彼らとはとても濃い時間を過ごすことができた。また、韓国人の友人とは映画を見に行ったり、カフェでお喋りをしたりと、そこでも充実した時間を過ごすことができた。

次に就職活動について。

私は、留学中から就職活動も少しずつ進めていきたいと思っていたため、11 月から本校のキャリア支援課とのオンライン面談を月一回行っていた。留学中は主に自己分析と自己 PR・ガクチカの作成をした。留学中という、いつもとは違う

新鮮な環境にいた事で自己分析が進みやすかったかなとも思うし、ES の内容になるものを準備できていたため、帰国後の就職活動がしやすくなっている。

今回の国外協定校派遣留学では、たくさんの人とたくさんの思い出ができたし、自分自身の変化もあったが、どれも濃すぎて、この報告書を満足にまとめることはできていない。しかし、海外語学文化セミナーから帰る時に決意した国外協定校派遣留学の目標を達成し、そこからたくさんのことを吸収できたことは、今の私の自信にとっても繋がっている。海外語学文化セミナーから帰宅して早々に「来年は長期で行きたい」という私のとんでもない発言に対し、「日菜ならそういうと思った」と、長期留学への挑戦に背中を押してくれ、ほとんど不自由なく留学生活を送らせてくれた両親には、心から感謝しているし、また留学準備期間からたくさんのサポートをしてくれた月野先生、グローバル課の皆様にもとても感謝している。

今後は今回の留学経験やそこから得たスキル、知見などを通し、より一層パワーアップできるように励もうと思う。



沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レオン 「スペイン」		
留学期間	2023 年 8 月 16 日 ～ 2024 年 6 月 20 日		
所属学部・学科	英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	A2 「初級」
帰国時	B2 「中級」

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学する前に基本的なスペイン語しかできなかったが、留学する間に現地の人たちと接したりする時間が多かったの で、スペイン語力が凄く上達と感じた。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
スペイン人をはじめ色々な国から来た人たちと友達になることである。 80/100 で達成した 授業で学んだことは、多かった。スペインの歴史をはじめ、世界中の歴史まで学ぶことができた。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学成果としては、B2 「中級」に達成したことである。これからも更なるレベルへ行きたい。C2 「上級」まで勉強 していきたいと思 ^う 。それと大学院に進学することを計画している。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	スペイン語の基礎をはじめ文化などを勉強することが凄く役に立った。なぜなら、現地でスペイン語が全く何もわからなかったらすごく大変だと思います。英語はあまり通じていないからである。文化のことも事前研修で勉強したので、カルチャーショックはあるが、それほどではなかった。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	- 写真 - 無犯罪証明書 - パスポート
申請から発行までかかった期間	日程度 2 か月
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと※必要書類、費用、など	- 外国人はビザ申請 1 万円かかりました - ビザ申請のため沖縄ー東京飛行機代、ホテル代、保険料を入れて合計は 60 万円かかりました。沖縄-東京 4 回ぐらい行ったりしていた往復で:その時期も夏だった。私は外国人ですので、ビザの書類申請は日本人と異なった。不備書類のため何回もインドネシア大使館に行ったりしないといけなかった。それでも 30 万ぐらいかかった。15 万国際保険+スペインでの保険 7 万+「スペイン」飛行機片道 15 万でした。合計:30 万+15 万+7 万+15 万=実は 67 万ぐらいかかりました。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
行くときにたくさん服を持たないほうが良いと思う。なぜなら、スペインで安い服買うことができるからである。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄・東京・韓国・マドリード・レオン
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
ない
その他出発前に準備しておくべきこと

パスポートをしっかりし、絶対に無くさないこと。

お札のお金はあまり持たないほうがいいと思う。300 ユーロぐらいでよいと思う。残りはカードで払うこと。

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
クラス分けがあり、筆記試験と口頭試験があった。 日にちは学校が始まったときにその日 内容は先生が決めること
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
ない
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
在留カードを作ること 住民票の登録

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
日本とアメリカから来た留学生の役割は 40/60
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
はい、設備は PC も置いている。必要性ないと思う。

- 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
レオンは基本的に安全な場所である。しかし、夜中にひとりで歩かないほうが良いと思う。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
あり CIGNA という保険会社 7 万ぐらいだった

【住居および生活について】

●留学中の住居（滞在先）について

	住居種別	☒ 寮 ☒ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
滞在先①	費用	１３万 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年）
	支払い時期と方法	カード払い
※転居した場合 滞在先②	住居種別	☐ 寮 ☒ アpartment ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	32000 円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年）
	支払い時期と方法	現金払い
この住居のメリット・デメリットについて		
ホストファミリー：デメリット：自分が自由に動けないこと・高い メリット　：便利・文化について勉強も色々できる		
アパート：デメリット：ひとりで全部やること・自炊・ メリット：自由・安い		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
アパ－トは：自炊 ホストファミリー：作ってくれる		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものがありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど)		
家具は日本から持って行かなかった。しかし、ヘアドライヤ―が必要になるかもしれないので持って行ったほうが良いと思う。		
日常の買い物について		
大体毎日自炊なので材料は近くのスーパーで買い物をしていた。私は、alimerka というスーパーで買い物をしていた。 なぜなら、他のスーパーと比べたら値段的に安いからである。		
現地での移動手段について		
私は、学校へ歩きで通っていた。そんなに遠くなかったからである。		
休暇中の過ごし方について		
旅行をしたりしていた。自分が気になっていた国や場所を訪れること。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無	※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無	
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？		
初めての日は、やはりスペイン語はあまりできなかったから、先生が言ったこと時々わからなかったことがあった。しかし分からない時、質問をし、先生にゆっくり話してくださいと伝えたら問題ないと思う。		
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）		
スペインの語学学校：学習量：月～金曜日まで 成績評価：60% 出席 ・ 40% 授業成績		
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など		
参加しない		

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Curso de lengua y cultura espanolas A2	2		
Curso de lengua y cultura espanolas B1	2		
Curso de lengua y cultura espanolas B2.1	2		
Curso de lengua y cultura espanolas B2.2	2		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

●留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月 15日	マドリード到着
8月 16日	レオン到着
8月 21日	夏季集中講座①（エラスムス） 開始、 クラス分け試験（筆記・口頭）
9月 1日	夏季集中講座②（エラスムス） 終了
9月 4日	大学ウェルカムウイーク（休み） 開始
9月 8日	大学ウェルカムウイーク（休み） 終了
9月 11日	夏季集中講座① 開始
9月 29日	夏季集中講座② 終了
10月 4日	秋学期 開始
12月 6日	プエンテ（大型連休） 開始
12月 10日	プエンテ（大型連休） 終了
12月 20日	秋学期 終了
12月 21日	冬休み 開始
1月 7日	冬休み 終了
1月 8日	冬学期 開始
3月 14日	冬学期 終了
3月 18日	春学期 開始
3月 24日	セマナサンタ（大型連休） 開始
3月 31日	セマナサンタ（大型連休） 終了
6月 5日	春学期 終了
6月 20	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		25 万		円	
B. 海外旅行保険（１年）		23 万		円	
C. 授業料（１年） ※沖国大に納める授業料は除く		0		円	
D. 教材費（１年）		0		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	34,000	円（月額）	408,000	円（年額）
	食費	15,000	円（月額）	180,000	円（年額）
	交通費	2000	円（月額）	24,000	円（年額）
	携帯代金	2000	円（月額）	24,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	10,000	円（月額）	120,000	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
生活費合計		63,000	円（月額）	756,000	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,236,000		円	

- 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
スペインであまり札を使わなかった。大体クレジットカードを使っていた。現金を下ろすのは必要な時だけだった。でも、少なくとも財布に現金を入れて置いたら安心である。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
留学行く前に予備の金を準備したほうがいいと思う。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	スペイン 「レオン」		
留学期間	2023 年 8 月 16 日 ～ 2024 年 6 月 20 日		
所属学部・学科	英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	3 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次	

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

I. 最初の日の旅

まず、沖縄から東京の羽田空港に行き、東京で 1 泊し、東京出発した後の日、ビザを取り、東京からマドリードに行きました。そのとき韓国で一回トランジットがありました。初めてスペインの空間に到着した後、ヨーロッパだという感じで、日本の雰囲気とスペインの雰囲気凄く異なると感じました。入国の際に、空港で入国管理局の人が居て服装が凄くかっこよかったです。空港から出て、バス停を探しました。四つぐらいのバス停があったので、その時どのバスに乗るべきなのか迷いました。しかし、恥ずかしいもなく周りの人たちに聞き、解決出来ました。やはりその時、スペイン語もそんなにできなかったのが英語と少し混ざりました。良かったのはあの人たちが私たちの質問が理解できました。空港からアトーチャという町に行き、一泊しました。アトーチャからレオン行バスに乗りました。レオンのバス駅で降りて、ホストファミリーが迎えに来てくれた。駅から家まで、自分のホストファミリーの家場合は、6 分ぐらいかかりました。

II. ホストファミリー

ホストファミリーと一緒に住んでいる間、ママがすべて自分のニーズを準備してくれました。例えば、ご飯をはじめ、部屋の掃除や洗濯物等々です。しかし、日常品は自分で購入しました。実は私のホストファミリーは、日常品を用意してくれなかったです。各ホストファミリーは各ルールがあります。そのルールは各ホストファミリーが異なりました。私が住んでいたホストファミリーのルールは二つありました。第 1。家に友達を連れてこないことです。第 2。ご飯が必要かどうか母に知らせることです。3 か月の間、友達を家に連れて行くことができなかったのが寂しかったと感じました。しかし、友達と約束をし、外に出てバーのどこかで出会って、ビールを飲みながら話すのは凄く楽しかったです。レオンのバーは本当に安かったです。例えば、ビール一本 2.5 ユーロぐらいです。日本の円はそのとき、1 ユーロ 160 でしたので、 $2.5 \times 160 = 320$ 円でした。レオン市内ならビールは必ずどのバーでも一回目のおつまみセット無料でサービス提供してくれます。ワインやビールのタイプによって、値段が異なりますので注文の際に気を付けてください。私がいつも頼んだビールの名前はカニャーコンリモン (Caña con limon) でした。何のビールかというと、生ビールとレモン汁、少しいの蜂蜜です。蜂蜜を入れないお店もあります。しかし、蜂蜜を入れるお店が多いです。スペインのバーと日本のバーの雰囲気が全然違います。スペインのバーは、立ちながらビールを飲むお店が多いです。なぜなら、店が狭く飲みに来るお客様が多いからです。日本でしたら、こういうのはあまりないですね。

III. 寮の生活

8 月の中旬から 11 月の中旬までホストファミリーと住んでいたが、11 月中旬から下旬までシェアハウスみたいなアパートで住んでいました。日本から持って来た物を全部新しいアパートへ持って来ました。ちなみにアパートを探す時、複数の方法があります。一つ目は、アプリで探すことです。アプリという色々ありますが、私は Idealista というアプリでアパートを見つけました。アプリでアパートの状況を見ることができるし、オーナーさんと直接連絡の取り合わせもすることができる。気になった部屋を見、オーナーさんと相談し、訪問したかった場合、オーナーさんと予定を組むことです。とても便利なアプリだと思います。

IV. 授業を通して学んだこと

私は現在、B2 または中級のクラスに在籍しています。B2 クラスでは、スペイン語において Subjuntivo（接続法）や Perífrasis（周回法）を中心に勉強しています。これらの文法項目は、日本語で言うと接続詞に相当するものです。特に Subjuntivo は、仮定や希望、感情などを表現するために使われる重要な文法であり、しっかりと理解しておく必要があります。また、Perífrasis は、複数の動詞を組み合わせて特定の意味を表す表現方法であり、日常会話や文章作成において頻繁に用いられます。こうした内容を学ぶことで、スペイン語の理解が深まり、より流暢にコミュニケーションを取ることができるようになります。授業でまなぶことは文法だけでなく、スペインの文化をはじめ、スペインの歴史まで勉強しました。

V. 長期休暇の過ごし方

授業の休みの日に、旅行に行ったりしました。例えば、4 月の中旬には、ガリシアという場所へ行きました。ガリシアはスペインの最も北西に位置する自治州です。その中で、ビゴやサンティアゴ、ポンテベドラというガリシアの町々を訪れました。ガリシアは海の近くに位置しているため、スペインの中でもよく訪れられる場所の一つと言われています。私はガリシアに住んでいる友達があります。彼はとても優しく、名前はアレンと言います。ガリシアに行ったとき、彼が色々な場所を案内してくれました。彼はビゴというガリシアの町に住んでいました。彼のおかげで、彼の友達とも知り合うことができ、たくさんの友達ことができました。私たちは船に乗り、ビゴから少し離れたカンガスという島へ行きました。海がとても綺麗でした。その時の気温は暑かったですが、海に入るととても寒かったです。アイスのように冷たかったです。ビゴからカンガスまで船で 30 分ほどで着きました。本当に最高の経験でした。また機会があれば、ぜひもう一度やりたいと思います。12 月の上旬にスペインの連休が始まりました。それはプエンテと言われています。プエンテとはスペイン語で「橋」という意味ですが、ここでは連休の意味で使われます。連休中にポルトガルへ旅行することにしました。関西外大からレオンに留学しているゆきさんという日本人と二人で旅をしました。ポルトガルのオポルトという街に行きました。レオンからポルトガルへ行く方法はいくつかあります。例えば、飛行機、車、バス、電車などです。私たちは BlablaCar という運用会社に登録されている個人用の車を使うことにしました。タクシーのようなものですが、個人が運転し、行き先に人を乗せることができます。例えば、運転手がポルトガルに 3 日間旅行する場合、空いている席を BlablaCar のウェブサイトに乗せ、同じ行き先に行く人を乗せることができます。なぜ BlablaCar を使うことにしたかという、値段がバスと変わらず、しかも移動時間が 3 時間と短く便利だからです。飛行機は値段が高く、バスだと 5 時間かかるので、BlablaCar が最適でし

た。ポルトガルで2泊3日しました。色々な景色を見ました。Ponte de Louis という橋や川、建物、カテドラル、山などです。その中でも特に興味を持ったのはカテドラルと Ponte de Louis でした。とても大きくて綺麗でした。有名なカテドラルはブラガという街にあり、Bom Jesus De Monte と知られています。少し山の中にあり、登るのが大変でしたが、美しい景色を見ることができ、疲れも忘れました。ポルトガルの建物は非常に綺麗で、イギリスやスペインの影響が感じられます。ポルトガルは古い建物が多く、とても美しい国だと思いました。もう一度行きたいです。

12 月の中旬になると授業が終わります。3 か月ごとに授業が終了するので、最後の日にフイムンという中国からの友達を送別会を開いてくれました。B1 または中級クラスの人たちが彼女の家に集まり、とても楽しいパーティーでした。このパーティーのおかげで、皆の意見や価値観が分かり、さらに仲良くなれました。

12 月の下旬、いつも一緒にいた関西外大の友達とアメリカから来た友達が帰国しました。非常に悲しく、涙が止まりませんでした。彼らは短期留学で来ていたため、三ヶ月しか滞在しませんでした。彼らとの出会いで価値観が広がり、幸せな日々を過ごすことができました。いつかまた会えると信じています。

12 月 31 日にはアパートの大家さんが自宅に招待してくれました。豪華な食事をいただき、スペイン料理を楽しみました。最後にはプレゼントもいただき、本当に家族のように迎え入れてくれました。その後、一緒に散歩し、またバーで飲み物とおやつを奢ってくれました。お腹がいっぱいになるほどでしたが、血縁関係もない私をここまでしてくれることに感動しました。

VI. 総括・留学後の計画

留学から帰国した後、まずは学科長と今後の進路についてじっくりと相談しました。その際、ゼミの先生とも卒業論文についての具体的なアドバイスを受け、どのようなテーマにするか、どのように研究を進めるかについて詳細に話し合いました。その結果、大学を卒業した後は沖縄国際大学の大学院に進学することを決意しました。大学院では、さらに深い学問の探求と専門的な研究を行う予定です。そして、大学院での学びを通じて専門性を高め、自分のキャリアをしっかりと築いていくことを目指しています。大学院修了後は、自分の専門分野を活かして就職し、社会での活躍を目指そうと考えています。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	南ユタ大学		
留学期間	2023 年 8 月 23 日 ～ 2024 年 5 月 1 日		
所属学部・学科	法学部 地域行政学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	2 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	英検 2 級
帰国時	IELTS5.0

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は自分の気持ちを上手く伝えることができず、英語を聞き取る能力もあまり高くありませんでした。帰国後はある程度自分の考えは相手に伝えることができるようになり、英語を聞き取る力も向上し、ネイティブの英語を話す速さには時々聞き取れない時もありますが、伝えたいことは聞き取れた単語から推測して読み取れるようになりました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
私は語学力向上以外に外向的な性格になる為に留学しました。その結果、今では授業中に教授が質問を募るとすぐに手を挙げることができるようになり、人とのコミュニケーションも自信がついたことにより円滑になりました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今後は留学生活で培った語学力を活かして、米軍基地で働きたいと考えている。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修では出国するまでに何をすれば良いかを明確に示してくれたので、迷わずにすぐ行動に起こすことが出来ました。また、去年留学に行った人達と繋げてくれたので、現地で生活や気をつけるべきことを聞くことができた。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	J-1 ビザ
申請から発行までかかった期間	5 日程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	必要書類が多く、記入すべき欄も細かいので、何度もチェックすることが大切です。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は発送せず、キャリーケースに全ての荷物を詰めました。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港 ▶ 羽田空港 ▶ リムジンバス ▶ 成田空港 ▶ シアトル空港 ▶ ハリーリード国際空港
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
南ユタ大学から送迎バスが来て大学の寮まで送ってくれた。
その他出発前に準備しておくべきこと
送迎バスに乗って大学の寮に着いたら、次の日のオリエンテーションまで食べるものが無いので、軽食を持っていくべきです。ユタ州の8月は沖縄と比べてとても寒く、寮で寝る初日はシーツも掛け布団も無いので、防寒着を持っていくべきです。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
アメリカに着いた次の日にオリエンテーションが行われた。教授の紹介、アメリカでの生活、学校の施設の案内が行われた。無料で食べれるバイキングもあった。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
特になし。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
銀行口座 Wells Fargo を開設した。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
留学生がとて多く全体の 40 パーセントを占めていたと思う。 留学生と現地の学生が交流できるイベントが何度もあったので、現地の人たちと話せる機会は沢山ある。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
図書館に 100 台ほどパソコンがある。バイキング形式の食堂がある。ビリヤード、卓球台、PS4、Switch、ハンモック等の娯楽設備もある。体育館は室内に 3 面あり、透明なガラスで中が見える 5 つのルーム、クライミング用の高台、ジム、プールがある。授業では個人 PC は必須だが、ない場合は貸出可能。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内はモルモン教の影響で比較的安全である。ただ隣のネバダ州等の有名観光地に行く際は大麻なども合法的なエリアなので気をつけるべきである。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
留学先大学から指定された保険は無かったが、沖縄国際大学から指定された保険があったので、そちらに加入した。内容は医療費の減額、持ち物の損害、紛失による補填など、海外留学に行く際に必要になる基本的なサービスが整っていた。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	46 万 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	学期が始まって約 1 ヶ月以内
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
メリット 共用ルームがあるので、他の部屋に住んでいる人と友達になったりご飯を一緒に食べることが出来る。 デメリット 2 人 1 部屋のシェアルームなので多少気を使う。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
寮に入ると、強制的にバイキング形式の食堂のチケットを 100 回分買うことになるので、食堂で主に食べていた。スーパーでお米を買って炊いたり、友達と各国の料理をつくった。学校に無料で食料や生活必需品が貰える場所があるので、そこでお菓子や缶のフルーツ、歯ブラシや髭のシェービングなどを得ていた。		
どのような家具・日用品が用意されていたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
机とベッド、3 段になっている収納クローゼットが用意されていた。タオルやハンガーなどは近くのスーパーで買わなければならない。日本からは味噌汁とパスタソースを持っていくべきだと感じた。無料で食料が得られる場所にパスタの麺が大量に置かれているので、パスタソースで簡単に日本風のご飯ができて上がるのでオススメである。		
日常の買い物について		
洗濯機用の洗剤、袋のラーメン、白米、自炊する際の食材を買っていました。		
現地での移動手段について		
徒歩、友達の家、スーパーには 1 週間に 1 回出る学校の送迎バスを利用していました。		
休暇中の過ごし方について		
旅行に行ったり、図書館で勉強したり、友達の家でご飯を食べたりしました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
授業は自動的に決められるので、困ったことは特に無かったです。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
授業のレベルは沖縄国際大学と比べて簡単であると感じました。しかし宿題の量、人前で話す機会は段違いに増えていると感じました。成績評価は先生によって違いますが、主に出席点、授業中に行われるプレゼンテーション、宿題、最終テストが評価基準になります。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
クラブや課外活動は多くありました。強制参加ではないですが、バスケ、バレー、サッカー、クライミング等のクラブがありました。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Read Write Fund 2	3		
Listen/Speak Fund2	3		
Intensive Engl Written Lang 1	3		
Intensive Engl Oral Lang 1	3		
Intensive Engl Written Lang 4	3	英語Ⅲ、英語Ⅳ	4
Intensive Engl Oral Lang 4	3	英語Ⅲ、英語Ⅳ	4
Intensive Engl Written Lang 5	3	英語Ⅴ	2
Intensive English Oral Lang 5	3	英語Ⅴ	2

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8 月 23 日	現地到着
8 月 24 日	オリエンテーション
8 月 26 日	Thunder U（学内イベント）
8 月 31 日	学期開始
9 月 22 日	Forever RED（学内イベント）
10 月 8 日	旅行（ソルトレイクシティ）
10 月 14 日	旅行（ラスベガス）
10 月 28 日	The Scream（学内イベント）
1 月 27 日	旅行（サンフランシスコ）
3 月 17 日	Casino Night（学内イベント）
4 月 12 日	学期終了
5 月 1 日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		323,950		円	
B. 海外旅行保険（1年）		143830		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		1,263,300		円	
D. 教材費（1年）		0		円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	76,760	円（月額）	460,600	円（年額）
	食費	100,000	円（月額）	600,000	円（年額）
	交通費	20,000	円（月額）	120,000	円（年額）
	携帯代金	5600	円（月額）	33600	円（年額）
	交際費（娯楽代）	30,000	円（月額）	180,000	円（年額）
	その他	79,710	円（月額）	474,720	円（年額）
	生活費合計	312,070	円（月額）	1,868,920	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		3,600,000		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
クレジットカードで支払った。日本からは銀行口座に振り込んでもらい、現金はクレジットカードのキャッシングを利用した。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
授業料を払うときは、クレジットカードで払うのではなく、学内にあるバンクコーナーで払うと、手数料なしで支払うことができる。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	南ユタ大学	
留学期間	2023 年 8 月 23 日 ～ 2024 年 5 月 1 日	
所属学部・学科	法学部 地域行政学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	2 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は、2023 年 8 月から 2024 年 4 月までアメリカの南ユタ大学に留学しました。人生で国外に行った経験が無かったので、とても新鮮な気持ちでした。また今までに親元を離れて 1 人で暮らしたことが無かったので、出国日に空港で 1 人不安な気持ちになったのを今でも覚えています。しかし今では、海外に行くという決断をして良かったなと思えるほど、私にとって素晴らしい思い出になりました。

授業を通して学んだこと

私は南ユタ大学に ESL(English as a second language)の学生として通いました。レベルが 1～6 まであり、最初に受けるテストの結果によって受ける授業のレベルが決められました。アメリカで授業を受けてまず思ったのは、学生が自ら発言することが日本と比べて段違いに多いことです。沖縄国際大学で授業を受けていると、教授が質問を募ると沈黙の時間が生まれることが多かったのですが、アメリカではそれが一度もありませんでした。授業中に先生が生徒に質問を投げかけると 2 人から 3 人がすぐに反応して発言することが普通なので、消極的な人ほど目立ちました。先生も積極性を大事しており、自分の語学力を向上させなければ、ミスを恐れるなど何度も言っていました。

授業で 1 番苦労したことはプレゼンテーションです。授業では毎週プレゼンテーションがあったので、人前で話す機会が何度もありました。アメリカの先生達は、プレゼンテーション中にメモを見ることを強く反対していました。なぜなら外国では、メモを見てアイコンタクトもせずに話すのは、聞く側にとっては苦痛であり失礼である、という考え方が一般的だからです。その為プレゼンテーションの前の日までに 1 人で練習を何度もしていました。これを毎週繰り返していくと、最初は人前で話すことに緊張していましたが、いつの間にか自信を持って人前で話せるようになりました。

言語の壁

私は法学部ということもあり、英米言語学科の人達と比べると日本では英語を話す機会が少なかったもので、最初は上手く喋れるか不安でした。オリエンテーションの日には意思疎通が上手くいかず、何度も先生や現地の学生に助けてもらっていました。現地で話す英語はとてもスピードが早く、最初は 1 つも聞き取れないことに絶望していました。それでも英語力はすぐに伸びない、成長は長期的であると考えていたので、人と話す時は根気強く聞き取ることに集中していました。すると 3 ヶ月目から、相手の言っていることが段々と聞き取れるようになり、会話のキャッチボールが少しずつできるようになりました。目に見えた結果がすぐに出なくても、腐らず淡々と続けることが英語学習において大切であり、それは英語学習に限った話ではないと、身をもって実感しました。

大学イベント

アメリカの大学では、学生を楽しませてくれるイベントがほぼ毎日ありました。私たち留学生が大学に着いた2日後に始まったのは、**Welcome week** である **Thunder U** と呼ばれるイベントで、これから授業を頑張りましょう、という意味が込められていました。期間は1週間もあり、毎日無料で食べ物や大学の服やグッズが貰えました。またハロウィンの日には大学構内で夜まで多くのイベントがあり、多くの学生が仮装をしていました。皆レベルの高い仮装をしており、お互いに写真を撮ったりして楽しんでいました。カジノナイトという実際のお金を賭けずにブラックジャックやルーレットといったカジノで行われるゲームが体験できるイベントもありました。このイベントにはドレスコードがあり、みんなスーツやドレスを着て参加していました。また、バスケやバレー、アメフトなどの試合が私が通っている大学でホームゲームとして行われることが何度かあり、毎回物凄く盛り上がっていました。ハーフタイムにはチアガール達が踊ったり、観客席に服や食べ物を投げていました。アメリカの大学イベントは、日本の大学では経験できないようなことばかりでした。

長期休暇

アメリカの大学は日本と比べて長期休暇が多かったので、私はこの長い休みを使って色々な場所に行きました。最初に訪れた場所は、私が留学生生活を過ごしたユタ州の首都、ソルトレイクシティです。ユタ州はモルモン教と呼ばれる宗教を信仰しており、その総本山である協会を見ることが出来ました。次に訪れた場所はラスベガスがあるネバダ州です。全身 **LED** ライトで覆われた大きなドームや、巨大な城の形をしたカジノなどの、日本では見慣れない景色が広がっていました。また、大谷翔平を見に行く為、アリゾナ州にも行きました。私が観戦した試合で大谷翔平が第1号ホームランを打ったので、実際に生で見れて良かったと思っています。最後に訪れた場所は、サンフランシスコやロサンゼルスがあるカルフォルニア州です。サンフランシスコに私が好きな **NBA** のチームがあったので、人生で一度は見たかった **NBA** の試合を見に行きました。試合中は日本のバスケの試合と違い、大勢の観客が容赦なく野次を飛ばしたり、選手が観客を煽っているのを見て、日本とアメリカの違いを強く感じました。また、ロサンゼルスにはディズニーランドがありました。日本にはないアトラクションや噴水ショーなどが多くありました。これらの旅行は、自分の人生で特に充実していたものであると今では思います。

寮生活

初めて寮生活をルームメイトとすると分かった時、ずっと実家暮らしだった私はとても不安になりました。ルームメイトが怖い人だったら、気の難しい人だったらどうしようと考えていました。しかしその不安は一瞬にして除かれました。私たち留学生が寮に着いた時間はとても遅く、既に日付を跨いでいました。次の日の朝にオリエンテーションがあったので早く寝ないといけないのですが、アメリカに着いて何も食べていなかったのも、とてもお腹が空いていました。初めて訪れた場所で食べ物が売っている場所も、アメリカのお金を引き出す方法も分からなかったのも、途方に暮れていました。すると私のルームメイトがパンと水を渡してくれました。本当にお腹がすいていたので、その時のパンはとても美味しく、アメリカで最初に食べた食べ物がこのパンで良かったなと思えるほどでした。それからルームメイトとは食べものをプレゼントする関係になり、私が日本食を作った時は毎回プレゼントしていました。今でもインスタグラムで **DM** が続くほど、とても仲良くなれました。

アメリカの友達

アメリカで過ごした日々の中で、多くの友達が出来ました。私はバスケが好きなので、大学の体育館でよくバスケをしていました。スポーツは言葉が通じなくても意思疎通ができるので、英語が話せなかった時期の大きな支えになりました。また、韓国人や台湾人などのアジア圏出身の人達は特に優しく、自国の料理を沢山振舞ってくれました。それにより、韓国料理や台湾料理がとても好きになりました。私が帰国する時は、有難いことに大勢の友達が見送りに来てくれました。留学生活でこんなにも多くの人達と交流し、多くの日々を過ごしたこの経験は生涯忘れることはないと思いました。

総括

アメリカに半年以上住んだこの留学経験は、私の人生で1番影響のある期間であると思います。日本とは違う文化や価値観、物事に対する考え方に触れることができ、自分という存在を見つめ直す良い機会になりました。この留学はこれからの私の人生で、なにか大きな壁に直面した際に背中を押してくれる経験となるくらいに、大きな自信を与えてくれました。この留学で培った学び、考え方、人との繋がりを今後とも大切にしていこうと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	南ユタ大学
留学期間	2023 年 8 月 2 3 日 ～ 2024 年 4 月 2 3 日
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科
留学出発時の年次	2 年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	語学学校の最初の振り分けクラスは一番下の基礎クラスでした。
帰国時	最後の語学学校のクラスはレベル4のクラスでした。

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
私はこの留学を通して英語のレベルはだいぶ上がったと思います。留学開始時は挨拶もできなければ、読みも書きもできませんでした。帰国時は誰とでも話せるくらいの英語力がついたと思います。ですがまだ、会話の中で難しい表現や単語が出てきたら戸惑います。読みや書きも最初の頃に比べて辞書などを使わなくても書けたりするので成長を感じています。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
私は語学力の向上以外の目的としていろいろな国の人とできるだけ関り文化の違いなどを見つけること、一番は友達をたくさん作ることを目的としていました。自分は部活に入ったのでチームメイトと友達のようになれました。そこで文化の違いなども見つけることができたので良かったです。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
まだ留学成果など目に見えるものではありませんが最近から TOEIC の勉強をしているので、まずはそれを頑張りたいと思います。初めて受けるので600点くらいを目標に頑張ります。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修では、毎週南ユタ大学のことについて調べてプレゼンテーション形式で英語で発表でした。そこには自ら南ユタ大学について調べて文章や発表内容を考えて、練習をすることが必要だったので英語も勉強になるし、現地のことについて調べることができたので、現地についてからためになることが多くてとても役に立ちました。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	J-1
申請から発行までかかった期間	14日程度
申請時期	渡航前
申請にあたって注意すべきこと	ビザを申請してから大使館にいかないといけないですがしっかり自分の予定と合わせてから予約しないと、急に日程などが変わると予約がいっぱいでいけないこともあるので期間など余裕を持ってから申請等を行ったほうがいい。必要書類はパスポート、I-20、DS-2019、銀行の残高証明遺書、SUUからの留学許可書、などでした。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は何も送っていないです

●出国にあたって

渡航経路 ※経国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から JAL 便で羽田空港（2時間半程度）羽田空港から成田空港までシャトルバスで移動（1時間程度）、成田からシアトルまで移動して（9時間程度）、シアトルからラスベガスまで移動でした（2時間半程度）。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
ラスベガスの空港から学校まで出迎えのサービスがあり使用しました。申請はSUUから届いたバーコードを読み取り申請します。大体到着予定の1週間前には申請が必要でした。
その他出発前に準備しておくべきこと
飛行機のチケットは早めに取らないと高くなるので早めにとったほうがいいです。

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
現地に到着した次の日に朝からオリエンテーションがありました。午前と午後の部があり朝ご飯と昼ごはんが出ました。内容は日本でやる新入生歓迎会のようなものでした。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
すべて参加しました。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
銀行口座は現地の友達に教えてもらいながら、直接銀行に行き口座を開設しました。

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
現地にいた日本人は多分20人くらいだったとおもいます。そのほかの国は韓国人の留学生は全体を通して多かった印象です。他にもイタリア、オランダ、スペイン、メキシコ、など多国籍の学校でした。たくさんの国の文化に触れることができてよかったです。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC教室の有無、授業における個人PC必要性など
大学の設備として、ほとんど日本の学校と変わりなく、図書館や体育館、ジム、グラウンド、あとは教室がある建物がいくつもありました。

- 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
私がいた町は治安がいいほうだったので、あまり気を付けることはなかったです。ですが一度だけ銃の発砲があったらしいので、そういった面では、いつどこでだれが持っているかわからないので、注意が必要だと思います。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
特になし

【住居および生活について】

●留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	寮
	費用	一学期、約25万+20万（食券）
	支払い時期と方法	学期の初めごろにネットもしくは学校の窓口でお支払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
留学生はほとんどみんなこの寮に住むので、多国籍の友達が作りやすいところはメリットだと思います。デメリットとして、二人部屋で、トイレとお風呂は4人で共同でした。掃除の分担などでもめてしまうことがあったので面倒でした。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
食事は寮に入るときに購入する食券があるので、それで食堂を使っていました。土日や食堂が閉まっているときは外食をしたり友達とご飯を作ったりしていました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
寮には、ベット（シートなし）、机、タンス、クローゼット、しかないです。最初の買い物で枕やカバー、ハンガー、毛布、などを買いました。日本から持って行って助かったものは、百均に売っている、小さい炊飯器です。最初の頃はそれでお米を炊いて食べていました。		
日常の買い物について		
衣類の洗剤やトイレトペーパー、シャンプーやボディソープなど、日用品は自分で買う必要がありました。		
現地での移動手段について		
基本的に徒歩か、友達に乗せて行ってもらっていました。		
休暇中の過ごし方について		
休暇中は友達と予定を合わせて隣町に遊びに行ったり、旅行に行っていました。それ以外は勉強したり、ジムに行ったりしていました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	なし
語学学校のプレースメントテスト	あり
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
特になし、プレースメントテストを受けて、その結果に対して先生が振り分けをしてくれる。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
学習量は日本とあまり変わりなく、レベルも日本でやっていることをすべて英語にした感じでした。成績の評価方法は授業によって少し違う点はありませんでしたが、基本的に授業に出席して課題などもしっかりやれば A 評価をトレス感でした。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
私はサッカー部に所属しました。週末に試合がある週は平日に 4 回程度練習があったりしました。朝練などはなく、大体放課後だったので良かったです。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
read/write fund I	3		
listen/speak fund 1	3		
intensive Engl written lang 1	3		
Intensive Engl Oral Lang 1	3		
Intensive Engl written Lang 2	3		
Intensive Engl Oral Lang 2	3		
Intensive Engl Written Lang 4	3		
Intensive Engl Oral Lang 4	3		

- 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

●留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月23日	現地到着
8月24日～ 25日	オリエンテーション
8月29日	授業開始（秋学期）
10月7日	半期終了
10月7日～ 10月24日	秋休み
12月17日	秋学期終了
12月17日 ～1月8日	冬休み
1月9日	春学期開始
2月23日	半期終了
2月24日 ～3月3日	春休み
4月12日	春学期終了
4月13～ 4月25日	帰国準備
4月25日	シダーシティを出発
4月26日 ～4月31 日	ロサンゼルス旅行
5月1日～ 5月5日	カナダ旅行
5月6日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		約 3 5 万		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		約 1 0 万		円	
C. 授業料（1 年） ※沖国大に納める授業料は除く		約 8 0 万		円	
D. 教材費（1 年）		0		円	
E. 生活費 （月額／年額）	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	約 7 万	円（月額）	約 5 0 万	円（年額）
	食費	約 7 万	円（月額）	約 5 0 万	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	2 5 0 0	円（月額）	約 1 万	円（年額）
	交際費（娯楽代）	約 7 万	円（月額）	約 5 0 万	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
	生活費合計	約 2 2 万	円（月額）	約 1 5 1 万	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 （F = A + B + C + D + E）		約 3 0 0 万		円	

●留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
現金は 1 0 万程度持っていました、クレジットカードは事前に 3 枚作って持っていました。ですが、現地で作ったクレジットカードをほとんど使用していたので日本から国際送金してもらっていました。やり方はネットで手続きをするらしいです。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
自分の場合は旅行にたくさん言ってしまったので、娯楽費としてたくさんお金を使いました。なので節約したければそちらを少し我慢する必要があると思います。それと日用品などで安いものを使うなどして細かいお金も節約する必要があると思います。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	南ユタ大学	
留学期間	2023年8月23日 ～2024年5月5日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	2年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

こんにちは南ユタ大学に派遣留学生として留学をしていました、立津詩真です。

まず初めに、留学出発前の準備についてお話しします。私は出発3か月前の5月ごろから本格的に留学に対して準備をしていました。やるべきことはたくさんあるのでもう少し早めに始めたらよかったと思います。英語力の準備として事前研修で萩野先生の元、毎週南ユタ大学のことについて調べてプレゼンテーション形式で英語で発表でした。そこには自ら南ユタ大学について調べて文章や発表内容を考えて、練習をすることが必要だったので英語も勉強になるし、現地のことについて調べることができたので、現地についてからためになることが多くてとても役に立ちました。ですがそれだけでは足りないので、空き時間やお家で単語帳をやったりしていました。次にビザについてです、アメリカのビザを取得する際はネットで手続きを行い、ちょっとした面接があるのでその予約をしてから大使館に行きます。その際日程の調整などで予約を変更した場合予約がいっぱい取れないことがあるので、時間には余裕をもってから準備したほうがいいです。大使館に持っていくものはすべて事前に準備が必要なのですべて揃えてから行きましょう。必要なのが、I-20、DS-2019、銀行の残高証明遺書、SUUからの留学許可書、などでした。これらも事前に準備するのに時間がかかることが多いので余裕をもって準備するように心がけましょう。つぎに、荷造りについてですがユタはとても乾燥していて冬はとても寒くなるので、保湿系のクリームはヤリップクリームは絶対に持参しましょう。もちろん現地でも調達できますが、肌が弱い人や日本の製品に慣れている人からすると、現地の物が使いづらいので、必ず日本から持参しましょう。シャンプーやボディソープなどは意外と日本でも見かけられるようなものが近くのスーパーにもあるので、最初の1週間分くらいで大丈夫でした。衣類は半袖と冬服半々くらいでもっていくといいと思います。現地は昼間あったくなり、朝と夜は冷え込んだり温度差が激しいので、簡単に調節できるパーカーなどを持つことをお勧めします。あとはサンダルです、アメリカは部屋でも靴を脱ぐ文化がなく、部屋の床もカーペットの生地になっています。ですが現地の人は部屋やトイレにもをはだして移動したりして、自分はそれをとても汚いと思う人間だったので、部屋の中を快適に移動できるようにサンダルは持参したほうがいいと思います。次に、職の面ですが、私自身好き嫌いがなく何でも食べれるので日本食が恋しくなることはないと思っていましたのでみそ汁などインスタントの米を持っていきませんでした。とても後悔しています。自分の場合は現地のご飯が合わなかったのか最初の1週間はおなかの調子が悪くすぐ日本食を食べたくなりました。なので、せめて味噌汁の元はもっていったほうがいいです。あとは百均で買えるレンジでお米

が炊ける小さい炊飯器を持っていくことをお勧めします。あとは、追加として現地の文房具はあまり質が高くないので、余裕があるならノートやルーズリーフ、シャーペン、ボールペンなどは持参したほうが良いと思います。最後に、飛行機の予約ですが私は出発ぎりぎりにとったので値段がとても高かったです。ですが、はじめての長時間移動なので LCC は避けたいと思い、JAL で予約を取ることにしたのですが、約 22 万ほどかかったので早めに飛行機の予約をしたほうが良いです。これで私の留学前準備は終了です。

次に現地についてからのことをお話しします。まず、8 月 22 日に沖縄を出発して 23 日の夕方にアメリカのラスベガスの空港につきました。そこから学校のバスで 2 時間半の移動をして入寮しました。夜中の一時頃に部屋に入り時差の影響ですぐに眠れました。次の日は朝からオリエンテーションがありました。席はほかの日本人とはバラバラでとても緊張していました。さらに当時は全く英語が聞き取れず、自己紹介もできなかったことを今でも覚えています。ですが周りの人たちはコミュニケーションを取り友達になったりしていたので自分は相当焦りがありました。さらに授業が始まって、授業の内容や宿題などが聞き取れず、最初の 2 週間くらいは置いて行かれていました。そこからだんだん耳が慣れてきて、家で自主学習をするようになってから、少しずつ聞き取れるようになっていました。なので留学する前にもっと英語の勉強をしとけばよかったなと思います。そこから韓国人の友達と遊ぶようになり会話でも英語を使ってコミュニケーションを取れるようになりました。なので自分の最初の 1 か月は勉強の期間でした。3 か月目のはじめくらいからサッカー部に入部してチームメイトと話していく中で自分の英語力が伸びてきていることを実感していました。なので最初は怪我や差別などを受けないか心配で入部をためらっていましたが、チームメイトやコーチからも愛されていることを感じれたし、英語ができないのにゲームキャプテンなどを任されたり日本では体験できないことができたので、今思うとほんとに入ってよかったと思います。もしチャンスがあるならこういう部活動やクラブ活動は参加して英語を話す機会を作ったほうが良いと思います。

次に隣のソルトレイクシティに旅行に行ったことについてです。私は秋休みの際にソルトレイクシティに日本人二人とプチ旅行をしました。バスで 4 時間かけて移動ですが、バスが故障してさらに 4 時間かけて目的地まで行きました。バスの中に犬がいたりとてもアメリカを感じました。ソルトレイクシティはユタ州の中で都会なほうなのでショッピングモールや水族館などがあり街並みもきれいで治安も良かったです。さらに日本のように電車やバスが通っていて車がなくても移動ができたので楽しい旅行でした。もう一つプチ旅行としてラスベガスに韓国人や台湾人の友達と行きました。ラスベガスはちょっとだけ治安が悪く夜一人で歩くのは危ないくらいの場所ですが、カジノなどが有名でとても栄えているので、日本食のレストランなどが多く久しぶりにおいしい日本食を食べることができたので良かったです。秋休みが終わり授業が再開すると授業にもすっかりついていけるくらいの英語力になっていました。なので何も問題なく最初の学期を終えることができました。冬休みになると寮が閉まるので、休みの間は友達のおうちを貸してもらっていました。食堂やジムも閉まるので自炊したり外食したりすることが増えました。この休みの期間は友達のほとんどは家族と新年を迎えるためにそれぞれの故郷に帰るので、町に残っている友達はほとんどいませんでした。なのでこの期間は一人になることが多く、日本に帰りたと思っていました。ですが勉強や散歩などを行って出来るだけ

家から出ることを心掛けて何とか乗り切りました。1月8日くらいから春学期が始まり、カジノナイトなどの大きなイベントがありました。さらに授業のレベルも少しずつ上がっていて課題などに追われるようになり時間の流れがとても速く感じました。気づいたら留学があと1か月になっていてその時くらいからだんだん日本に帰りたくない気持ちが大きくなっていました。4月の初めごろには語学学校の授業が終わり、帰国に向けて準備を開始しました。銀行を閉めたり、荷物を送ったり、ポストの返却や部屋の大掃除などやることがたくさんありました。この準備は誰の助けも借りずに自分で英語で解決してできたので、この留学を通して一番英語力が身に就ていることが感じれました。4月23日にシダーシティを出発する際友達やチームメイト、コーチが見送りに来てくれてとてもさみしくなりました。ですが、こうやって違う国の人たちと友達になれて、英語も上達出来て、自分自身も成長できたと思うので本当にいい経験になりました。なのでもしチャンスがあるならビビらず留学することをお勧めします。

最後に帰国してからの現状報告です。私は夏休みが終わるまで学校がないので、TOEICの勉強をしながら、空港でグランドスタッフとしてお仕事をしています。留学で身に着けた英語を使いながら、社会人を体験しているような感じです。長くなりましたが、最後も出読んでいただきありがとうございます。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	Southern Utah University		
留学期間	2023 年 08 月 24 日 ～ 2024 年 04 月 15 日		
所属学部・学科	総合文化学部英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	2 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	英検 2 級程度
帰国時	TOEIC660

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
リスニング能力はかなり上がったと思います。帰国後の TOIEC の問題集で行ったテストでは、リスニングは 95% の正答率でした。また、英語を勉強することに対して、抵抗なく行っているなと感じています。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
友人を作ることや、旅行等今後にもつながる経験や人脈を作りたいと考えていました。また、経済についても学びたいと考えていたので、空き時間に勉強しました。経験や人脈に関しては、思った以上に大きなものを得ることができました。また、経済に関しても、ニュースや企業の情報に関してはある程度理解できるようになりました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今後は、TOEIC900 点を目指し、教職課程も継続して取得していこうと考えています。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修では、現地での病院の使い方等を学び、病院を使うことはありませんでしたが、もし利用するとなれば、その方法を知っている点で心強かったです。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	J-1
申請から発行までかかった期間	14 日程度
申請時期	☐ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと※必要書類、費用、など	早めの申請をお勧めします。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は、スーツケース 2 つで全て持っていました。日本から風邪薬等を持参すると良いかと思います。意外と暑い日もあるので、半袖も持って行くことをお勧めします。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→羽田空港→バス（無料）→成田空港（10 時間）シアトル（2 時間）ラスベガス→バス（3 時間くらい）→シダーシティ
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
無し
その他出発前に準備しておくべきこと
経由する際は、確実に余裕のある時間帯で予約することをお勧めします。また、アメリカに向けて家出発する直前におにぎり等軽食を買うことをお勧めします。（ゲートを通った後、に買う）

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
到着して、2 日後にオリエンテーションがあったかと思います。挨拶をきいたり、ご飯を食べたり、アクティビティをしたりといった内容でした。また、カジノナイトやダンスパーティ、ThunderU（祭り）等に参加しました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
ほとんど参加しました。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
銀行開設（Wells Fargo)(Zion bank で解説している人もいました。)

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
留学生が多く集まる寮のため、留学生同士（特にアジア人）で交流することは多いと思います。しかし、SUU1 年生も利用できるため、アメリカ人もある程度います。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
体育館、図書館、カフェテリア、売店、スターバックス、Chick-fill-A、等沢山あります。体育館は、利用可能で、そこにある事務は、会員制です。図書館の一階に PC を利用できる場所があります。

- 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
シダーシティは、すごく安全で、夜散歩できるほどです。スーパーに行くのも徒歩のため、毎日 2 万歩程度歩きます。ホームレスも見たことがありません。ただ、旅行先では、全く環境が異なるため、気温がある程度温かい地域や都市には、ホームレス等出会わないほうが良い人たちがいます。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
アメリカは、救急車を呼ぶだけでもお金が掛かるため、必須だと思います。

【住居および生活について】

●留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	○ 寮 □ アパート □ ホームステイ □ その他（ ）
	費用	\$ 3 2 9 0 （ □ 月 ・ □ 学期 ・ ○ 年 ）
	支払い時期と方法	学期ごと、学校またはオンラインで支払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	□ 寮 □ アパート □ ホームステイ □ その他（ ）
	費用	円（ □ 月 ・ □ 学期 ・ □ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
いろいろな人と関わる機会が増える シェアするため、プライベートな時間が減る		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
ミールプランがついており、1日1～2食はそこで食べる。それいがいは、寮のキッチンで自炊。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど）		
トイレ、シャワー、ベッド、机、タンスはあるが、シーツや掛け布団、枕、タオルその他は、買わなければならない。歯ブラシセットは持っていくべき。		
日常の買い物について		
週 1 回ウォルマート（スーパー）に買い物に行っていた。日用品（シャンプー、ボディソープ、歯磨き粉、おやつ等）。		
現地での移動手段について		
友人の車か、徒歩が基本で、たまにバスやタクシーを利用した。		
休暇中の過ごし方について		
旅行に行ったり、カフェに行ったりした。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☐ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☐ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
登録は、語学学校だったため、自動的に済まされていました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
レベルは、そこまで高くないです。ただ、話す能力やテストに関しては、準備が必要だと思います。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
クラブは、トライアウトに受かる必要があります。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Intensive English Written LAnguage, Level1	3		
Intensive English Oral Language, Level1	3		
Intensive English Written Language,Level2	3		
Intensive English Oral Language, Level2	3		
Intensive English Written LAnguage, Level4	3		
Intensive English Oral Language, Level4	3		
Intensive English Written LAnguage, Level5	3		
Intensive English Oral Language, Level5	3		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

●留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月23日	現地到着
8月26日～	イベント（オリエンテーション等）
9月01日	イベント（祭り）終了
9月03日～	ソルトレイクシティ
09月04日	ソルトレイクシティ帰宅
09月22日	イベント
～ 23日	イベント終了
10月08日	休暇（ソルトレイクシティ-ラスベガス）
～ 12日	// 終了
10月28日	ハロウィンイベント
12月07日 ～	クリスマス休暇（サンフランシスコ）
1月06日	クリスマス休暇（サンフランシスコ） 終了
2月23日	フロリダ
2月27日	フロリダ帰宅
4月25日	シダーシティ出発
5月18日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		30 万		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		15 万		円	
C. 授業料（1 年） ※沖国大に納める授業料は除く		100 万		円	
D. 教材費（1 年）		0		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）		円（月額）	489,000	円（年額）
	食費		円（月額）	0（交際費）	円（年額）
	交通費		円（月額）	0（交際費）	円（年額）
	携帯代金		円（月額）	38,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）		円（月額）	100 万	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
	生活費合計		円（月額）	157 万 4 千	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		302 万 4 千		円	

- 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
\$ 600 程度の現金は持っていた方が良いと思います、クレジット社会のため、そこまで現金を使う場面はありませんが、友人とのお金の貸し借りやもしもの時に役立ちます。基本的にクレジットがあれば何とかやっていけます。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
留学費用は、保護者の方をお願いすることになるかと思いますが、アメリカにせっかく行ったなら、旅行もした方が絶対に良いです。経験をお金で買うと思い、今節約して、アメリカで使うことをお勧めします。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	Southern Utah University	
留学期間	2023 年 08 月 24 日 ～ 2024 年 04 月 15 日	
所属学部・学科	総合文化学部英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	2 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

1 年間の留學生活で、多くを学ぶことができました。留学ができたこと自体、私一人でできたことではなく、両親や兄弟、沖縄国際大学の関係者の皆様等、多くの方々のサポートがあってその経験であり、とても感謝しています。

初めは、海外に行く事すらも未知の世界で、ワクワクとともに、少し怖い気持ちもありました。また、一般的に留学は楽しそうなイメージがあるかと思いますが、いざ準備を始めると、生活の仕方が全く違い、その文化についても学ぶ必要があることを知りました。ビザやパスポートの取り方、病気になった時に病院をどう利用するか、アメリカには何があるか等を事前に教授や同じ留学先の仲間と調べ、準備しました。留学中も調べた情報が何度も役に立ち、情報収集が重要であり、時にそれは安全を守ることにもつながる事を学びました。

寮生活は、ベッドルームを二人で共有し、お風呂とトイレを四人で共有しました。寝る時すらも誰かと同じ空間にいるという経験や実家を離れて、洗濯や掃除等、身の回りのことを一人でする経験から、普段、家事と仕事を両立している両親の苦勞を体感することができました。このような生活面でも留学を通して成長できたと感じています。

学校生活は、私の場合、朝授業に行き、昼は図書館で課題をしたり、ジムに行って運動したりしていました。学校内では、よく友人と会い、立ち話をしたり、授業後にはカフェテリアでランチしたりすることが日常で、基本的に一人でいることは少なかったかと思います。しかし、初めのうちは、友人が少なく、悩んでいることもありました。その時は、自分から話しかけたり、英会話を上達させるために勉強したり等、行動することで全て解決しました。緊張もありましたが、自分の殻を破って新たな自分に巡り合うことで少しずつ成長してできたと思います。私は、バレーボールクラブに入り、チームメイトと一緒に隣の街まで試合に行く経験もできました。ネットも平均身長も高く、初めは恐怖心でいっぱいでしたが、やってみると上手くって、"You're so good"と褒めてくれる方もいました。実力が認められて嬉しかったです。

アメリカでは、何度か長期休暇がありました。1 週間程度の休暇には、友人とラスベガスに行ったり、ユタの都市であるソルトレイクシティに行きました。旅をする際には、バスや飛行機を利用するのですが、バス停がどこにあるか、何のサイトを使えばよいか等、基礎情報を得る必要があります、国内旅行よりも大変でした。

初めて行ったソルトレイクシティでは、あたり一面塩のボンネビルソルトフラッツに行きました。ダウントウンから車で約 2 時間のところにあり、遠くの山が塩湖に反射して映る景色がとても幻想的でした。ソルトレイクシティは、ユタの代表的な宗教であるモルモン教の聖地であり、いたるところに教会があります。周りにお花が咲いていて、とても美しい建物でした。

ラスベガスは、多くの観光客がいて、観光地としても発展しているため食べ物の選択肢が多く、様々なアクティビティがあります。中心地は、ホテルが立ち並び、カジノに行く人々はドレスアップをしていました。そこで初めて私が想像しているアメリカを見ることができました。この旅行は、友人と車に乗り合わせて 15 人程の団体旅行で、宿を借りて宿泊しました。

また、別の休暇では、フロリダのディズニーランドに行きました。日本のディズニーと似たアトラクションも多数ありましたが、規模が大きく、とても楽しかったです。特に夜のショーがすごくきれいでした。水に映し出されたプロジェクションマッピングをもとにストーリーが展開され、花火も何度も上がりました。

長期休暇の中で、一番印象深い旅行は一か月程度のクリスマス休暇を利用して訪れた、サンフランシスコの旅です。母の友人宅に一か月滞在し、久しぶりの手料理の日本食を食べ、感動しました。そこでは、アメリカでの日常生活を経験することが出来、とても貴重な時間でした。クリスマスには、サンタさんからのプレゼントもあり、お祈りをしたり、イルミネーションを見に行ったりと、久しぶりに家族との時間を過ごしているようで、嬉しかったです。また、サンフランシスコのファミリーは、差別についても教えてくれました。父がアメリカ人、母が日本人のため、日本にいたときは容姿に関して言われることもあったそうです。しかし、アメリカでは、多様な人種の方々があたりまえにいて、その環境下だからこそ差別に関する意識が違うのだろかなと思いました。平日は公園で遊び、休日はコストコで買い物をしたり、ダウンタウンにも行きました。ゴールデンゲートブリッジを車で渡ったり、お土産を買いました。

春学期が終わり、日本に帰国する前に一か月程度の旅行をしました。ロサンゼルス、バンクーバー、サンフランシスコに行きました。カナダのバンクーバーでは、叔父と叔母にも会うことができました。カナダに行く前のフライトで、飛行機の遅延やビザ等の問題が起き、空港で三十時間程過ごしました。本当にカナダに到着できるかという不安と疲労で気が狂いそうでしたが、なんとか到着することができ、叔父の家に無事たどり着いた際には、夢のようでした。叔父が寿司を買って待っていてくれて、その時 1 年ぶりに寿司を食べました。バンクーバーは、海が側にあり、シャチの群れを見ました。海と緑と都市がそろっていて、いつかここに住んでみたいと思いました。叔母の住む、バンクーバーアイランドにはフェリーとバスで行きました。二人でドラマを見たり、料理をしたりと旅の疲れを癒すゆったりとした時間でした。

アメリカの生活では、シダーシティで新たな友人と出会い、一緒にご飯を食べたり、パーティーに参加したり、時には、悩みを打ち明けたりと国を超えて深い繋がりができました。家族のように毎日一緒にいたからこそ切っても切れないような友情が生まれ、彼らから多くを学ぶことができました。彼らがいたからこそ、毎日楽しく過ごすことができ、旅行にも行けて、とても感謝しています。旅行先では、予想外のトラブルに見舞われることもあり、特に安全性の面では、日本にいたときより気を張って過ごさなければならなかったため、とてもストレスを感じました。困難を乗り越えるたびに生きる力を感じ、またそれが自分はきっと解決できるという自信につながりました。この留学を決断した動機は、日本から出て世界を見たいと強く思ったことです。正直、沖縄で生活することがつまらなく思えてきていた事も事実です。しかし、この留学を通して、日本の魅力、沖縄の魅力、故郷の居心地の良さを知りました。また、費用は高いですが、それ以上に経験と知識を得て、私にとって意味のある時間であり、なくてはならない学びだったと感じています。現在、私は英語教師を目指しています。この経験を今後、未来の生徒に伝えて、生徒たちの可能性を広げられる大人になりたいと考えています。

語学力に関しても、行く前と行った後では伸びが全然違うと感じています。現在 TOEIC の勉強をしています。英語を聞く、読むことに関して全く抵抗がなく楽しくできています。さらに、リスニング問題がアメリカにいたときと比べると少しゆっくりに聞こえる気がします。そういう面でも留学に行ってもよかったと感じています。また、留学中、為替レートを見る機会が増え、経

済に興味を持つようになりました。海外に行くと様々な面で自立するようになるのかなと感じます。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	バンクーバーアイランド大学		
留学期間	2023 年 8 月 27 日 ~ 2024 年 5 月 26 日		
所属学部・学科	総合文化学部	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	4 年	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	Speaking & Listening class LF1
	Reading & writing class LF2
	語学検定:英検 2 級、TOIEC420
帰国時	Speaking & Listening class LF3
	語学検定:TOIEC720

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

ホームステイ先での会話でお互いに理解できないこともありましたが、帰る頃にはそういったことも無く会話で困ることはあまりありませんでした。また留学前は TOIEC420 程度でしたが、帰国後すぐに受けたテストでは 720 点とりました。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

現地で出会う人と文化交流し、日本の文化を発信しながら他国の文化を吸収したいと思い行きました。現地では日本食を作ったり、またクリスマスではホストファミリーとともにターキーをたべ祝いました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

TOIEC800 を目指して行きたいと思います。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	助言としてホストファミリーとの生活で不満があればコンプレインをきちんと言い、我慢しないことを教えてもらいました。実際文化も違うので共同生活の中でどうしても不満が出てしまうのでその際にコンプレインを言い互いに文化理解に励むことができました。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	3ヶ月程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	場所が大使館ではないので場所を勘違いしないようにしてください。また実際にビザの証明書を受け取るのは現地の空港です。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物を発送したことがないので記入を控えます。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
羽田からシアトル（シアトル国際空港）へ、そこからバンクーバー国際空港、ナナイモ空港へ行きました。所有時間はおよそ丸1日程度です。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
ナナイモ空港からはホストファミリーに送ってもらいました。
その他出発前に準備しておくべきこと
パスポート、行く前からホストファミリーとメールでやり取りするのも良いと思います。

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
日程：8月30日 内容：アドバイザーや施設紹介などがありました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
なし
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
なし

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
日本人3割、その他中国人や台湾人、香港人、韓国人、ウクライナ人、アラブ人、インドネシア人、ベトナム人などがいました
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC教室の有無、授業における個人PC必要性など
PC教室やジム、図書館や食堂、日本庭園もありました。

- 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
治安が良く、夜なども安全です。
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
ガードミーと呼ばれる保険があり、学内のトリップで怪我などがあった場合その保険が適応されます。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	40 万 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	オンラインでエージェントへ料金を送金しました。
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	60 万 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	エージェントから元々 1 つ目のステイ先に払っておいたお金を回してもらいました。
この住居のメリット・デメリットについて		
メリットは生活の中で現地の文化をしれること、また学校から家が近いこと。デメリットは人によって文化を押し付けてくる人もいること。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
3 ミールでホストファミリーに作ってもらいました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
Wi-Fi やベッド、デスククローゼットでした。		
日常の買い物について		
学内の食堂で 2、3 ドルのジュースを時々買っていました。		
現地での移動手段について		
基本的に全てバス		
休暇中の過ごし方について		
公園で散歩したり、自主学習していました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
なし	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
基本的に毎日 8 時半から 12 時半まで（10 時半からは 20 分の休憩あり）教科書を使ってロールプレイをしたり、議論したり、新しい文法事項や単語の学習を行い、その後に小テストなどをして評価に反映される形です。また毎日宿題として教科書の予習やリスニングログ、多読の記録などがあり、それらの提出も評価対象になります。基本的に講義の時間は決まっており、コマ割りを選べる形ではないのでそれが一番沖縄国際大学の講義の形式と異なります。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
現地の学生受ける日本語の講義に、週に 2 回サポーターとして参加し、講義を手伝っていました。内容は基本的な挨拶の実践や文法の説明など。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Speaking & Listening class LF1	無単位		
Reading & writing class LF2	無単位	英語Ⅲ	2
Speaking & Listening class LF2	無単位	英語Ⅳ	2
Speaking & Listening class LF3	無単位		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

[illegible]

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		428860		円	
B. 海外旅行保険（1年）		1 00495		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		1346760		円	
D. 教材費（1年）		8 万以上		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	1 1 1 1 1 1	円（月額）	1000000	円（年額）
	食費	ホームステイのため滞在費に含まれており詳しくは不明	円（月額）	不明(ホームステイのため)	円（年額）
	交通費	23588	円（月額）	47176	円（年額）
	携帯代金	4890	円（月額）	44010	円（年額）
	交際費（娯楽代）	1 0 0 0 0	円（月額）	90000	円（年額）
	その他	100000	円（月額）	1000000	円（年額）
	生活費合計	38478	円（月額）	181186	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		3137301		円	

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
Visa カードで現地では全て払いました。琉銀で Visa カードを作るなどしたりすると良いと思います。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
円高で物価が高くなっているので、化粧品などはできれば日本で買って持って行くと安く済みます。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	バンクーバーアイランド大学	
留学期間	2024年 8月 27日 ~ 2024年 5月 26日	
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

ホストファミリーとのトラブルとその対応について

留学での予想外の出費

今回の留学は予想外の連続で、想定していた以上に費用がかかってしまいましたことをまず報告したいと思います。ホームステイ先での出来事としてホストファミリーを急遽変え、そこから新しいホストファミリーへと移行する期間その間はモーテルへと避難して暮らしており、およそ20日間で合計15万程度を宿泊費用として費やしました。また現在は円安が進みその関係もあり、日常的に高い費用を強いられて暮らしており、留学に行く前に想定した以上にお金を使ってしまった。

ホストファミリーとの関係性

ホストファミリーの関係性について報告したいと思います。元々初めのホストファミリーとは良好な関係を築けており、悩み事や心配事また互いに不満事があれば遠慮なく話し合う中でもし互いに相違があればその都度互いに歩み寄って妥協点を探るなどしていました。しかしホームステイが始まって2ヶ月が過ぎたあたりから少しずつルールが厳しくなり、「ああして、こうして、ああしないで、こうしないで」という事が毎日増えて行きました。そしてある日バンクーバーへと1泊2日の旅行をした際に勝手に私の部屋に入られ、壁に備え付けられているヒーターのスイッチを別の物と交代させられていました。

ホストファミリーを変えた経緯

そういった事がある中で12月の頭に私が39度の熱を出したのですが、そんな中、急に「明日までにバスルームを洗って欲しい」と言われました。私は熱が出て気分が悪く、風邪が治ってからバスルームを洗いたいと提案したのですが、却下され、「もし明日までに洗わないなら出て行くことになる、エージェントに連絡するからそちらからもエージェントに連絡してくれ」と言われました。そこからは私もイエスマンになりバスルームも洗うと約束したのですが、それでも「早く新しい寮を探してくれ、コミュニケーションで理解してない事が多すぎる」というメールが何通も送られてきました。次の日にバスルームを洗い、またその次の日に家族会議を開くことになりました。その間にたまたま隣の家が同じバンクーバーアイランド大学に通う日本人のシェアハウスだったのですが、そういった人たちと事の経緯を相談する事ができ、彼ら曰く私のホストマザーは常識とは外れた人で、何度も粗相な事でその人たちの所に苦情を言いに来たり、時には警察を呼んだ事なども何度もあったと話してくれました。一応念の為に家族会議の内容を録音したり、メールでのやり取りを写真などで撮って残すように助言をいただき、その人たちはピアヘルパーと呼ばれる留学生を助けるボランティア活動もしているのでも

た何かあれば相談して欲しいと言われました。またその日は学校の先生に相談し、すぐにカウンセラーを勧められ、そのカウンセラーからも「とりあえずはホストファミリーと家族会議を開いて、その後状況が悪化したらこちらの方に来てほしい」と言われました。その日はドーナツを買いそれをプレゼントし、夕飯を食べ、その後に家族会議が始まりました。自身もそれまで聞きたかった事や疑問だった点などもあったのでそこをきちんと聞き、一応3週間程度時間を空けてまた新しいホストファミリーの所へ行こうという事もその時には考えていたのでその事も話相談しようと考えていました。しかし、実際に家族会議では一方的に新しいルールの説明を受けるだけでした。それも自身がリビングにいとイライラするので基本的な生活は全て自身の部屋で行なって欲しいというものであまりリビングには来ないで欲しいというものでした。その内容の話をおよそ30分程度説明し、最後に彼らから「このままホストファミリーとの生活を続けたいか」と聞かれました。私は「この家族は好きだし、この家も快適だと感じているのですが、少しだけストレスを感じてきている部分があるので3週間程度後にまた新しい寮やホストファミリーの所に行くと考えているのですがどう思いますか」と伝えました。そうすると初めは「良いよ」と言ってくれたのですが、すぐに態度が凶変し、「そんなこと何でもっと早く言わない！あんたは私たちの時間を無駄にしている！もう良いからとっとと早く自分の部屋に戻って、ベッドに行って！」と言われました。その後にもぶつぶつ何かを言っていて、一応部屋に戻ったのですが、怖くて隣の家の人やカウンセラー、ホームステイのエージェントに連絡を取りました。とりあえず隣人とカウンセラーとは次の日に会うことになりその日は就寝しました。翌日の朝、学校に向かう前に朝食を食べようと部屋のドアを開けると昨日プレゼントしてあったドーナツが一つも手をつけられていない状態で床に置かれていました。元々怖かったのが余計に怖くなり朝食は取らずにすぐに学校に逃げるように行き、すぐにカウンセラーの所に行きました。その間に両親から電話がかかってきて「お金なら出すからホテルなどに早く泊って欲しい」と言われました。そしてカウンセラーの所に行き家族会議での内容を話し、親からもホテルに行くよう勧められていると話すと、すぐにモーテルや寮などを紹介してくれる担当の所に連絡を入れ、その方からモーテルを紹介され、さらにエージェントにも電話で連絡を取って現在の状況と今後について説明していただきました。その後一旦荷物をまとめ取るために帰宅しました。その際に初めに隣人の家に行きその人たちにも状況を説明し、その方々からも余分な荷物を一度こちらの家に置いて行っても良いと勧められました。そして実際に荷物をまとめていざ出て行こうとしたのですが、運悪くエージェントがホストマザーに連絡を入れてモーテルに移動することを伝えてしまい、走って自身の所にきました。「モーテルに行くの？！早く行って、あんたも隣の家に行けば良いんだ」と言ってきて、私が「なぜ？」と聞くと「だってあんたも彼らと同じような日本でしょ」と差別とも取れるような言葉をかけてきました。結局荷物を全て取り出す事ができたのですが、その際にもずっと文句を浴びせてきて、私が彼らと初めて会った時にもらった「welcome to Canada」と書かれたカードをビリビリに破いたりもしていました。その後もメールで「私は彼を今追い出した」と書かれたメールが私に送られてきました。きっとその時はホストファザーが外出していたのでそのファザーに向けて書いたのを間違えてこちらに送ったのだと思います。ただそれまでホストファミリーは追い出そうというより筆者が出て行きたいいんでしょと言うようなスタンスを主張していたので、やはり追い出したかったんだとその時に気づきました。

その後の対応

では肝心の対応について話して行きたいと思います。その後は現在の状況を先ほどモーテルなどを紹介してくれたアドバイザーに説明し、その方から「すぐにエージェントに事の経緯を詳しく説明し、それ以外の不満点などもあれば書類などにして送るなどした方が良い」と言われました。実際にエー

ジェントとは Zoom で話し、その際にも自身だけではなくピアヘルパーを間に入れ通訳をしてもらいながら進めました。またその際に今までの不満点なども文章にしてまとめ、ホストファミリーとのメールでのやり取りもスクリーンショットに撮り、書類にしてエージェントにも送り報告しました。その時エージェントからも「こういったトラブルに巻き込まれた際に出来事を報告する事を渋り、黙ってしまう人が多いので、今後の改善にもこう言ったことを話してくれるととてもありがたい」と言われました。また「この家族が今後また留学生を受け入れられるかはわからないが何らかの処罰は与えます」とも話してくれました。また新しいホストファミリーを見つけられたとの報告も受けこの一件は終了しました。

まとめ

もしこのような理不尽なホストファミリーと当たってしまい話し合いでも解決できない場合は我慢せずすぐにホストファミリーを変えるもしくはモーテルなどの宿発施設に移動するなどをお勧めします。またそう言ったことが起こった際には一人にならず、エージェントや特に現地の学校と連携し、アドバイスをもらいながら対処してください。また彼らとのメールなどの文章上のやり取りはスクリーンショットを撮り保管し、自身の安全を確保した上で最終的に Zoom などを開き事の経緯を説明し、スクリーショットなどを送ったり書類などを書き、きちんと抗議するという事をしてください。今後このような事が起きないための予防にもつながり、今後またこのファミリーと何かあった時にエージェントから対応してもらうためです。最後にこのような事が起きない人の方が多いですが、留学では何が起こるかわかりません。私が初めてナナイモ空港に着いた際には預けていたスーツケースが届いていなかったりなど他にも色々な予想外な事がたくさんありました。なので備えあれば憂いなしという言葉があるようにきちんと備え、何が起きても臨機応変に対応できるようになることをお勧めします。(3688 文字)

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	バンクーバー・アイランド大学		
留学期間	2023 年 8 月 27 日 ~ 2024 年 6 月 20 日		
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	4 年	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	英検準一級、TOEIC スコア 825、ESL（語学学校）LF3
帰国時	ESL・UP5

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は所謂一般的なアメリカ・カナダ発音の英語を 7 割ほど聞き取り理解することができるものの非ネイティブの英語は 5 割ほどしか聞き取れなかった。しかし、帰国時には両方とも 8 割から 9 割ほど安定して聞き取ることができるようになったと感じている。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
様々な国々から来た留学生たちとの交流を通してその方々と彼らの文化を学び、彼ら自身が持つ自国の印象と私が持つその国々の印象の共通点と相違点を知る。授業中の会話や休み時間の交流などを通して気になることはほとんど聞くことができた。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学で学んだことを生かせるように各種資格等で留学前より高い点数を目指し勉強を続ける。そして、それらを活かせる職業に就く。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	カナダの文化や時事ニュースについてディスカッションをしたり、IELTS のリスニング模擬問題を解いたりしていたので英語に触れる機会が豊富だった。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	約 30 日程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	申請時に提出する書類に沢山の記入項目があるため記入ミスを起こさないように複数回確認をして提出することを推奨する。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は全てバックパックとキャリーバッグに入れて持ち込んだ。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→羽田空港（約 2 時間半）、羽田国際空港→シアトル国際空港（約 10 時間）、アメリカ・シアトル国際空港→バンクーバー国際空港（約 1 時間半）、バンクーバー国際空港→ナナイモ空港（約 30 分）
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
ホストファミリーによる空港への出迎えサービスあり。申込先は CHN（ホームステイ仲介業者）。申込時期はカナダ行きの航空券を購入次第すぐ。
その他出発前に準備しておくべきこと
クレジットカード、デビットカード、SIM カード TOEIC や TOEFL などを勉強しておくとう理解できる内容が段違いに広がる。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
留学生全員参加必須の留学生向けオリエンテーションが現地時間の 8 月 30 日の朝 9 時頃から VIU で行われた。初めに周りの生徒と軽く会話をする時間が設けられ、その後は各担当教員から VIU のシステムや授業内容、ロードトリップや異文化交流の機会とそれの参加方法、ホームステイ・寮・シェアハウスに関するあらゆるトラブル時の相談窓口等々を一通り説明してもらった。11 時半頃にお昼ご飯としてピザが出された後は、配られたカードの色毎にグループに分かれてキャンパス内の主要な建物を巡るツアーが行われた。その後は留学生が通学する校舎にあるパソコン教室で学籍番号とメールアドレスを使い VIU の管理システム（冲国大のポータルのようなサイト）に本人登録をして使い方を教えてもらい 15 時頃には各自解散となった。新学期開始前の数日間は新入生、在学学生、留学生を歓迎する ROCK VIU という自由参加型のイベントが開催されており、日付や時間帯によって対象生徒が異なっていた。留学生対象の時間に参加し様々な国々のメジャーな飲み物や食べ物提供されており、それらをつまみながら沢山の生徒と自由に交流できた。外の会場ではお祭りの屋台のようにミニゲーム、エアスレチック、綿あめやかき氷やピザなどが無料で提供されていた
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
上記と同じく ROCK VIU の国内（主にカナダ人）新入生、在学学生向けのイベントには参加しなかった。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
VIU の生徒として学籍番号とメールアドレスを登録してアカウントを作成し、顔写真を提出して学生証を発行した。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
留学開始時から 12 月頃までは日本人は沖縄組を除き 20 名ほど居た。それ以外ではインドネシア、ベトナム、中国、韓国、ウクライナ、カタール、アフガニスタン、イラン、コンゴ、メキシコ、ペルー、トルコなどの多様な国から留学生が来ており、年齢層も 18 から 50 歳まで幅広かった。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
語学学校として使用される校舎には主に授業で使用するパソコン教室が二部屋あり、通路の壁沿いには授業外でも好きな時に使えるパソコンが 10 台以上設置されている。また勉強用の個室が三室ある（要予約）。フリートークスペースがありそこでご飯を食べたり休憩したりできる。電子レンジがあるのでご飯を温めることができ自販機で飲み物やスナックを購入することもできる。図書館は通常 24 時間開館しており遅くまで勉強できる。体育館では部活や授業の先約が無ければ様々なスポーツを予約して楽しめるし、併設のウェイトルーム（ジム）は登録後基本的に自由に出入りできる。学生ユニオンという施設がありそこではソファに座ってコーヒー、紅茶、シリアル、フルーツをつまみながらリラックスでき、学生割のバス券を購入できる。カフェテリアがアップパーカフェテリアとローカフェテリアの二か所ありそれぞれ異なったメニューが用意されていて、それぞれ自販機や電子レンジが設置されている。また、ローカフェテリアでは毎週金曜日にボリュームなハンバーガーが半額の 5 ドルで販売されていた。授業においては大体の先生が個人パソコンの使用の有無を生徒の判断に任せている。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

大学構内は清潔で安全である。周辺は走行車が多いものの安全。滞在したホームステイ先も人通りが少なく危険さは感じられなかった。

保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等

Guard me という独自の保険への加入が定められており VIU が催すロードトリップに参加する際に加入済みであることを証明するため提示したりする。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	1,232,771 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	更新を依頼し請求書が来た段階で Flywire という送金用ウェブサイトから支持されたとおりに支払う
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
一番のメリットは家に誰か頼れる大人がいるということで、ほかにも朝夜のご飯の支度と日常的な掃除などを行ってくれたので勉強や友達との交流に使える時間が増えたことだった。デメリットとしてはホームステイ先が決定すると家族とのトラブル等を除いて個人的な好みなどで変更することが難しいため交通機関へのアクセス、家族メンバーや出自、学校までの距離など善し悪しが分かれる。例えばホストファミリー自体が移民であるため発音に訛りがあり会話が難しかったり、高齢で車を運転しないためバスしか使えなかったりなど。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
朝、夜はホストマザーに作ってもらっていたが私自身が朝食を摂らないことが多いので朝食を昼食として食べて、それでも足りない場合はキャンパス内のカフェテリアで購入したり、友人とレストランに行ったりした。		
どのような家具・日用品が用意されていたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
自室には寝具、机と椅子、テーブルライト、備え付けのクローゼットのみがあった。浴室は歯ブラシ、歯磨き粉、バスタオル、ボディーソープ、シャンプー、リンスが用意されていたが化粧水や乳液等のスキンケア商品は無く、日本で流通している商品はほぼ売っていないので必要な場合は持参するのを推奨する。また歯ブラシのブラシサイズがかなり大きく磨きづらかったり、歯磨き粉が苦かったり、バスタオルがゴワゴワしていたり、ボディーソープやシャンプー類も日本にあるものとは異なる場合もあるためこれらの好みがある場合は同じく持参を推奨する。部屋によってはコンセントが足りない場合もあるので延長コードやモバイル充電器の持参も推奨する。		
日常の買い物について		
一番多かった買い物はキャンパス内のカフェテリアで購入したお昼ご飯で平均して一回 \$ 6 ほどだった。月に 1～2 回家の近くのショッピングセンターで大袋のお菓子を購入し時々食べていて、一度の買い物は平均して \$ 10 ほどかった。		
現地での移動手段について		
市バスが徒歩で、それ以外に 2～3 回ほど友人が所有する車に乗っていた。		
休暇中の過ごし方について		
大体は家で映画やアニメを観てくつろぎ、時々友人たちと公園やレストランやビリヤード場に行った。他にも、映画館や、フェリーに乗ってバンクーバーに遊びに行ったりもした。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？	
語学学校で 85 パーセント以上の評価を取っていたためレベル 3 から 5 にスキップするはずが手違いでそのままレベル 4 に配属されていた。それをクラス担任に相談し無事レベル 5 に変更してもらった。アカデミックコースに関しては専門の相談員がいるので彼らに相談してくれとのことだった。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学学校ではレベルや先生毎に形態や評価基準は異なるが基本的に細かな宿題や授業でやり残した課題が追加の宿題として課される。さらに週に複数回小テストがある場合がほとんどなのでそれに向けた勉強もする必要があった。加えて、授業内で行われるプレゼンや長文エッセイの制作等もあるので、課題の大小はあれどフリーな日はあまり無い。授業のレベルも先生によって変わってくるが難易度が高すぎる、もしくは低すぎるという場合は担任やアドバイザーに相談できる。また授業は週 5 日、朝の 8：30～12：30 と決まっているため冲国大の講義のように好みの時間帯の講義・クラスを選ぶということはできない。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
語学学校の授業とは別にアカデミックコースの日本語講義がありそちらにサポートとして火・木曜日の 14：30 から参加していた。主な内容としては VIU の生徒と隣同士で座り、分からないことや疑問点などを英語で解説したり一緒に問題を解いたりした。こちらは完全なボランティアとなっている。クラブには参加していない。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Language Foundations 3: Reading & Writing（秋学期 ターム A 語学学校）	無単位		
Language Foundations 3: Listening & Speaking（秋学期 ターム B 語学学校）	無単位		
University Preparation 4: Reading & Writing（春学期 ターム A 語学学校）	無単位		
University Preparation 5: Listening & Speaking（春学期 ターム B 語学学校）	無単位		
University Preparation 5: Reading & Writing（夏学期 ターム A 語学学校）	無単位		

・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。

- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8 月 27 日	現地到着
8 月 30 日	留学生向けオリエンテーション
8 月 31 日	新学期前イベント ROCK VIU
9 月 5 日	秋学期ターム A 開始
10 月 19 日	秋学期ターム A 期末試験 クラス最終日
10 月 20 日	～25 日まで休暇
10 月 26 日	秋学期ターム B 開始
12 月 13 日	秋学期ターム B 期末試験 クラス最終日
12 月 14 日	～1 月 7 日まで休暇
1 月 8 日	春学期ターム A 開始
2 月 23 日	春学期ターム A 期末試験 クラス最終日
2 月 24 日	～28 日まで休暇
2 月 29 日	春学期ターム B 開始
4 月 17 日	春学期ターム B 期末試験 クラス最終日
4 月 18 日	～30 日まで休暇
5 月 1 日	夏学期ターム A 開始
6 月 18 日	夏学期ターム A 期末試験 クラス最終日
6 月 20 日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		385,970		円	
B. 海外旅行保険（1年）		143,830		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		1,700,000		円	
D. 教材費（1年）		67,000		円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	123,277	円（月額）	1,232,771	円（年額）
	食費	2~30,000	円（月額）	300,000	円（年額）
	交通費	6,500	円（月額）	65,000	円（年額）
	携帯代金	5,700	円（月額）	57,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	1~15,000	円（月額）	150,000	円（年額）
	その他	5,000	円（月額）	50,000	円（年額）
	生活費合計	185,477	円（月額）	1,854,771	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		4,151,571		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
基本的にクレジットカードで支払いをしていたが限度額が少ないのでクレジットカード 2 枚とデビットカード 1 枚を持参した。学費やホームステイ代等の高額な支払いは私のカードで払いきれないので両親のカードで代わりに支払ってもらった。VIU 側が主催しているロードトリップは現金支払いのみなので、必要な際はキャンパス内カフェテリアに設置されている ATM でカナダドル札に換金した。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。 円安の影響で私以上に高額になる可能性もあるのでそれらを考慮して両親に相談するか、できる限りアルバイトで資金を貯めてから留学に取り組むことを推奨する。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	バンクーバー・アイランド大学	
留学期間	2023 年 8 月 27 日 ～ 2024 年 6 月 20 日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4 年	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

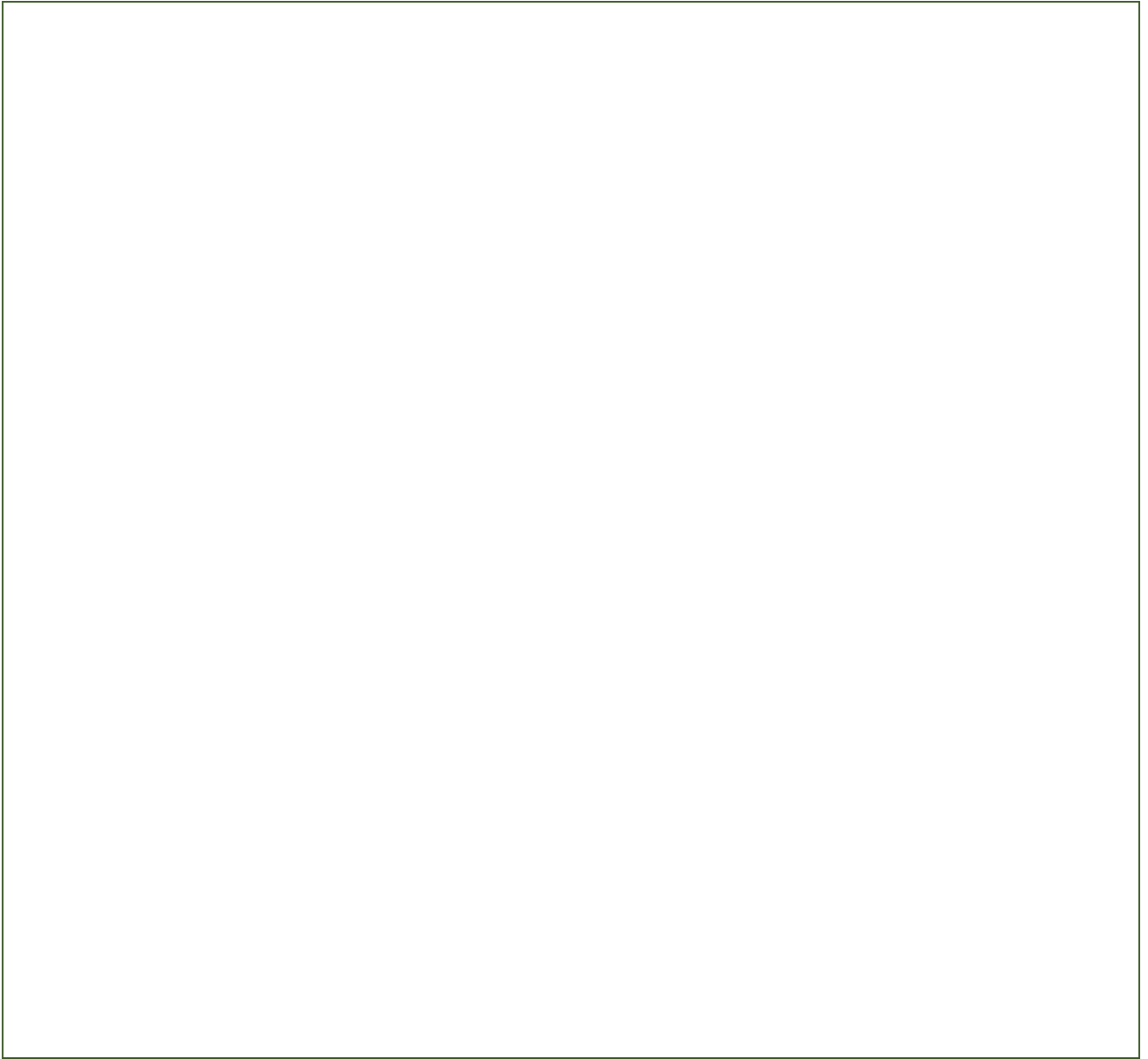
8 月 27 日にナナイモに到着し、迎えに来てくれたホストマザーと緊張交じりの会話をしながら荷物の受け取りを待っていたが運ばれてこず、ホストマザーにその旨を説明するとカウンターに聞きに行ってくれた。スタッフさんによると空港の手違いで韓国に渡ったとのことだったので荷物の特徴やホームステイ先住所を伝えて、そちらに配送してもらうことになり翌日には無事配達された。空港からホームステイ先に向かう途中でナナイモの中で最も大きなショッピングモールに寄り朝食のための買い出しをして、最寄りのバス停も教えてもらった。無事ホームステイ先に到着し夕食として焼きそばに似た料理が出された。長時間フライトと所持品消失の疲れからその日はすぐに就寝した。30 日に VIU で留学生向けのオリエンテーションがあったのでバスに乗るためにマザーと歩いて最寄りのバス停に行った。VIU に一本で行ける 40 番に乗り 50 分ほどバスに揺られキャンパスに到着し朝 9 時から 14 時頃までオリエンテーションに参加した。オリエンテーションの内容としてはバンクーバー・アイランド大学（VIU）と語学学校の概要、VIU が開催しているロードトリップの体験内容と参加方法の説明、ホームステイ・寮・シェアハウスにおけるトラブル時の相談先が紹介された。その後少数人数でグループに分かれて各自で VIU キャンパス巡りを行い国外留学生が授業で訪れる校舎や図書館、体育館やカフェテリアの場所を確認した。

9 月上旬、秋学期が始まりターム A は 5 段階レベル中の LF3 リーディング＆ライティングクラスに配属された。オリエンテーションには日本人が沢山居たがこのクラスには 3 人しかおらず他は中国、韓国、インドネシア、ベトナム、ウクライナ、カザフスタン、トルコ、イラン、カタール、メキシコなど多様な国からの留学生が多く 30 代やそれ以上の方々も居た。主な授業内容は期末試験で行われる 350 語のエッセイ筆記試験を突破するために必要な単語力や文法理解を身につけるための訓練がベースになっていた。MLA フォーマットという構成が北アメリカの大学や高等教育機関で多く使用されるエッセイのテンプレートの一つらしく、重点的に時間をかけて教えてもらいながら何度もライティングを練習した。ライティング以外にも毎日細かな課題が出されたり毎週単語テストがあったりとハードな内容だった。授業以外では、アカデミックコースで実施されている日本語授業のサポート係を募集していたのでそれに応募し、自身の授業が終わった後に週に 2 回お手伝いをしていた。それを通してカナダ人生徒や同じ日本人留学生と交流することができた。学期始めということでキャンパス内では無料飲食イベントが頻繁に開催されていたのでその度に足を運びハンバーガーやホットドッグを食べた。10 月になると早くも期末試験が迫ってきておりクラスの雰囲気もより緊張感が増すようになった。これまでのようにインプットとアウトプットを実践するだけでなく、短い制限時間内に与えられたテーマについて自分の意見を書き上げる練習をしたり、それをグループに分かれて共有しお互いで指摘し合ったりもした。他にもブレインストーミングやアウトラインなどのテクニックを使ってアイデアの考案やロジックを組み立てる方法を学習するようになった。そのおかげか、語数を稼げなかったライティングも期末試験では規定された 350 語を書き上げることができクラスをパスすることができた。あっという間の 7 週間だったがとても充実したスタートだったと感じている。その後 1 週間の休暇を挟みターム B が始まった。配属先は LF3 のリスニング＆スピーキングクラスだった。シャイな自分としてはスピーキングが最も苦手であり少しでも克服したいと考えていたのでより一層緊張と不安が高まったが担任もクラスメイトもほぼ同じだったので少し安心できた。このコースはリーディング＆ライティングとは異なり、音と言葉が主体なため個人で完結する板書や書き物よりもディスカッショ

ンやプレゼンテーション、ディクテーションなどがメインのタスクだった。ここで浮上する問題点が異国訛りのある英語である。リスニング力には多少自身があった私でもウクライナやロシア訛り、中東、アジア訛りとこれまで実際の対話を通して聞いたことがない訛り英語を聞き取るのはかなり難しく、時々理解できないまま会話が進行することもあった。リスニング練習も多く、TEDなどのスピーチや楽曲などをひたすら聞き、ノートにメモし、後からそれに基づいた小テストを実施し聞き取れているかを試すという流れを何度も繰り返した。授業以外では、11 月中頃から街が徐々にクリスマス仕様に変化していき月末にはロードトリップでレディスミスという町に行きクリスマスパレードを観に行った。そして 12 月になりいよいよ期末試験の日が近づいてきた。リスニングテストは言わずもがなだがスピーキングテストは三名グループで分かれてクレーム対応のロールプレイをするというものだった。クレーム一つ入れるのも躊躇ってしまう性分の私にはかなりハードルが高いのに、ペアの二人はウクライナ訛りとスペイン訛りを持つ方々だったのでさらに難易度は上がった。だが実際は、9 月に比べて圧倒的にクリアに聞き取ることができジョークを交えながら返答する余裕さえ培われていた。この時に学習の成果を確かに実感した。最終的に期末試験でのロールプレイはかなりスムーズに進行することができ、全体評価もレベルスキップに必要な 85 パーセント以上を獲得できた。期末試験終了後にはポットラックという打ち上げパーティを催し、生徒達の国の伝統料理などを持ち寄り、それらを食べながらミニゲームを楽しんで秋学期の頑張りを労った。この時期に私と同じタイミングで留学を開始した何名かの日本人達が帰国することになっていたため、ポットラックが終わった後はその足でダウンタウンにあるビリヤード場遊びに行き別れを惜しんだ。月末にはダウンタウンにあるパブに行きゆったりした心地の良いジャズを聴きながら年越しをして新年の訪れを祝った。

1 月上旬から春学期のターム A が始まった。クラスは同じメンバーもいれば新顔もあり担任は別の方に変わった。配属先は UP4 リーディング & ライティングクラスとなり難易度も高くなっていた。特に担任のカリキュラムや接し方が秋学期の担任と大きく異なり高圧的で常にプレッシャーが伴う空気がクラスに漂っており精神的にも苦しい 7 週間だった。ライティングにおいては「意味が分からない、何が言いたいのか分からない」とはっきり指摘され丸ごと書き直しになることが多くかなり苦戦した。原因としては新たに習った APA フォーマットという構成がかなり細かく複雑で、それを正しく理解するまでに時間がかかってしまったことだった。2 月からは二人ペアになって一つのテーマを決め、それについて APA フォーマットに沿ったエッセイを書くという長期課題があり提出日当日の夕方、放課後まで学校に残りペアの方と制作していた。秋学期のライティングとは異なり今回は参考文献の調査と引用が必要だったので時間と労力を要したが最終的には満足のいく評価を頂くことができ、期末試験もなんとかパスすることができて最も大きな達成感を得られた。中旬から休暇に入ったので友人とバンクーバーに渡り電車とバスで 2 時間半かけて射撃体験に行った。3 月からターム B が始まり、留学開始時から目標だった最終レベルの UP5 リスニング & スピーキングクラスに配属になった。UP4 をスキップしていたのでよりやる気に満ちていた。担任は秋学期の方が再度担当になり顔馴染みのクラスメイトも多く居心地の良いクラスだった。難易度は上がったものの授業内容に大きな変化は無くとてもやりやすかった。4 月に行われた期末試験もテーマに対するディスカッションというシンプルなものでも無事パスすることができ春学期が終了した。その後の長期休暇で幼少期からの夢だったカリフォルニアのディズニーランドに訪れることができた。

5 月から夏学期のターム A が始まり、語学学校の必須課程の中で事実上最後のコースである UP5 リーディング & ライティングクラスに配属された。担任は初めて受け持っていた方で、かなり親切で献身的ながらもカリキュラムは高難易度なものだった。授業内容は LF3 と UP4 の応用で UP4 と同じく長文エッセイの長期課題があり、それに向けての準備と瞬間的なアイディ構築のトレーニングが続いた。6 月に入ってからかなり苦戦する日々が続いた。見せては修正箇所を指摘されるというやり取りを繰り返した末にこちらも無事提出が受理され、期末試験も 450 語を書き切りパスすることができ語学学校の全過程を終えて約 10 か月のカナダ留学が幕を閉じた。(3,608 文字)



沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	バンクーバーアイランド大学		
留学期間	2023 年 8 月 27 日 ~ 2024 年 6 月 21 日		
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学部・学科	
留学出発時の年次	3 年	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	英語検定準 2 級 ESL（語学学校）LF(language foundation)1—Reading Writing, LF2-Listening Speaking
帰国時	受けていない, 今から受ける予定 ESL（語学学校）UP(universal preparing)4-Listening Speaking

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

留学開始時はほとんど英語が分からない状態でした。特にリスニング、スピーキングは苦手で最初は英語でのコミュニケーションに苦戦しました。日常会話が流暢にできるレベルまではいきませんでした。ある程度リスニングでき英語を話すことの抵抗感は少なくなったと思います。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

カナダは多国籍文化でいろいろな人種と交流でき、自分の価値観や考えの幅が広がると聞きカナダ留学を決めました。語学学校や大学では様々な国の人がおり、お互いの文化や価値観を共有して日本にいただけではわからないことをたくさん学びました。また、私は環境学に興味があり、ナナイモと沖縄の自然環境の違いについて意識しながら生活していました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

カナダ留学では英語だけではなく、他国の価値観や文化を学ぶことができ自分の視野や物事に対する考え方が広がったと思います。今後の目標は、どのくらい英語力が上がったのか知るためにいくつかの資格試験を受けるつもりです。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	ネイティブカナディアンやナナイモ、カナダの歴史を学んだおかげで現地についてからもさらに学びが深くなりました。特に、ホームレス事情やドラッグなど日本ではあまり見ない事柄について深く勉強したことで、現地での過ごし方やドラッグの断り方など適切な対応をとることができました。
-------------------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	1 カ月ほど
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、など	しっかりと申請場所の確認と必要書類の確認が必須！！ （私は場所を勘違いして予約時間ギリギリだったため）

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物の発送は利用していない

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
経由便での渡航 沖縄 → 東京・羽田空港 → シアトル・タコマ国際空港 → バンクーバー → ナナイモ (2 時間半) (10 時間) (3 時間) (30 分) 合計 : 約 30~40 時間 (待機時間含め)
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
有 ホームステイ先が決まり次第、出迎えサービスの有無が選べる (カナダホームステイネットワークとメールでやり取り)
その他出発前に準備しておくべきこと
風邪薬やコンタクトなどの日用品で海外製の品質が心配な方は使い慣れているものを持っていくことをお勧めします。 カナダはコンセントの形やワット数は変わらないので変換プラグは不要です。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
ESL（語学学校）のオリエンテーション 2023 年 8 月 30 日 学校の施設説明、ESL の授業形態説明・アカウント作成、VIU 施設見学
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容など
特にないです。
その他、到着後に行った手続きについて ※外国人登録証の申請、銀行口座の開設など
在留届の提出 ※ネットでの申請（到着後速やかにやらなければいけない） VIU 学生証の発行（学校にておこなう）

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
2023.9 - 2024.6 日本人、ウクライナ人、中東系の人が結構いた。1 クラスに 12 か国ほどがいたクラスもあった。 日本語ボランティアに参加し現地の学生と交流できる機会がある。 アカデミックの学生たちと飲み会やピリヤードなどいろんなところに遊びに行っていた。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか、PC 教室の有無、授業における個人 PC 必要性など
基本的に設備は整っていてきれい ESL の棟にも PC 教室が完備されており、自由に使えるスペースもたくさんあり課題や自習がしやすい環境であった 敷地内にはスターバックス、サブウェイ、カフェテリアが二か所 体育館にジム、敷地内にバスターミナルがあるので交通面ではとても便利なつくり

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
構内は基本的に安全でセキュリティもしっかりしている 周辺にはアイススケートリンクがあり放課後遊びに行ける 近くにはスーパーマーケットなどがあり寮に住む人からしたらとても便利な立地 ダウンタウンはホームレスや違法ドラッグの売買が行われているので夜に行くのはとても危険!!!
保険について ※留学先大学が指定する保険の有無、加入した保険の内容等
渡航前に基本的に日本の海外保険会社で保険に加入すると思うのであまり心配はいらない VIU 独自の保険プランがあり 1 セメスター(学期)ごとに約 2 万円の保険料を学校側に収める必要がある

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	合計 約 130 万 (10 カ月) 13 万円（ ☒ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	ネットから専用フォームを使用しての支払い 時期は人による （延長申請から 1 カ月以内の支払い）
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットについて		
ホームステイ メリット： 食事の心配がない、英語での交流ができる、いろいろなところに連れて行ってくれる デメリット： 規則の厳しい所だと生活が制限される、自分時間の確保が難しい		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
2 meal （朝・夜） 基本的にホストマザーが作ってくれた 食材やキッチンの使用はすべて許可されていたので自分で作る日もあった		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
基本的な家具や日用品は常備されていた （シャンプー・リンス・ボディーソープ・クレンジング完備） 購入するべきものはほぼなかった 日用品などは完備してくれないところが多いので、こだわりがある人は 1 か月分ほど日本から持って行くことをお勧めします。 洗顔ネット、体用ネットは持参すべき		
日常の買い物について		
食べたいスナックなどは自分で買っていた （ウォルマートなどが安い）		
現地での移動手段について		
基本的にバス		
休暇中の過ごし方について		
家にいるか、友達の家にお泊りに行っていた 時々ホストファミリーとハイキングなど		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありませんか？ どのように解決しましたか？	
特にないです ESL はクラス編成を教師人が行うのでこちらから何かすることはない 行きたいクラスに交渉などは人数次第でできる	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
LF クラス（基礎クラス）：そこまでの課題や自習は必要なかった、苦手次第で変わる UP クラス（高レベルクラス）：プレゼンが多く準備に多くの時間を要した 授業で理解できない部分が多く、授業後に復習をしたり、自主学習として家や図書館で勉強していた 授業形態：ディスカッション型で積極性や自主性が求められる 時間：8:30～12:30 まで 成績評価：平常成績 60%以上、Final Exam 55%以上 → 可 ※それ以下は不可、どちらか一方が下回っても不可	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
2 か月間 日本語ボランティア 週に 2 回 VIU で開講されている日本語クラスの授業にヘルパーとして現地学生たちと一緒に授業を受ける	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名（語学学校のみ）	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
LF1 Reading Writing （Fall Semester）			
LF2 Listening Speaking （Fall Semester）			
LF2 Reading Writing （Spring Semester）			
LF3 Listening Speaking （Spring Semester）			
UP4 Listening Speaking （Summer Semester）			

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月 27日	現地到着 ナナイモ 18:30 着
8月 30日	ESL オリエンテーション
9月 5日	Term A クラス開始 (Fall Semester)
9月 7日	ビアガーデンイベント
10月 9日	サンクスギビングデイ
10月 19日	Term A 試験日
10月 20日 ～ 10月 25日	5 日間のやすみ トロント旅行 2 泊 3 日
10月 26日	Term B クラス開始
12月 13日	Term B 試験日
12月 14日 ～ 2024 1月 7日	長期休み
1月 8日	Term A クラス開始 (Spring Semester)
2月 22・23 日	Term A 試験日
2月 29日	Term B クラス開始
4月 16・17 日	Term B 試験日
5月 1日	Term A クラス開始 (Summer Semester)
6月 17・18 日	Term A 試験日
6月 23日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		約 45 万		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		約 14 万		円	
C. 授業料（1 年） ※沖縄大に納める授業料は除く		約 180 万		円	
D. 教材費（1 年）		約 3 万		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	約 13 万	円（月額）	約 130 万 (10 カ月)	円（年額）
	食費		円（月額）	約 5 万	円（年額）
	交通費		円（月額）	約 3 万	円（年額）
	携帯代金	約 5 0 0 0	円（月額）		円（年額）
	交際費（娯楽代）		円（月額）	約 15 万	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
	生活費合計		円（月額）	約 153 万	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		約 400 万		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
ライフカードと琉銀 VISA デビットカード 留学費用：・沖縄からの給付奨学金 81 万 ・琉銀からの融資 約 250 万 ・貯金（バイトなどの）約 30 万
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
アルバイトなどで現地での娯楽費の確保を推奨します お金問題で悩んでいる方は、銀行や沖縄公庫から融資を受けられる可能性があるため視野に入れるべき

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	バンクーバーアイランド大学	
留学期間	2023 年 8 月 27 日 ~ 2024 年 6 月 21 日	
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

バンクーバーアイランド大学に昨年 9 月から今年の 6 月までの約 10 か月間留学しており、6 月 23 日に沖縄に帰ってきました。

今回、海外に行くこと自体が初めての私は楽しみな気持ち反面不安も少なからず感じていました。特に飛行機が心配で、私たちは沖縄、東京、シアトル、バンクーバー、ナナイモという順番で行ったので約 30 から 40 時間ほどかかり、ナナイモについた時にはとても疲弊していたので直行便で行くことをお勧めします。帰国時は、ナナイモからバンクーバーへのフェリーを利用し電車とバスを乗り継ぎして 2 時間ほどかけて空港まで向かいました。大きなスーツケース 2 つだったのでとても大変思いをしました。なので、帰国の際もナナイモ空港から直接バンクーバー空港まで行くことをお勧めします。

私は、VIU (バンクーバーアイランド大学) の ESL (語学学校) に通っていました。基本的には朝 8:30 に授業が始まり、12:20 に終了する午前中のみの語学学校でした。留学する前にオンラインで受けるプレイスメントテストの結果をもとにクラスが編成されます。リーディング・ライティング、リスニング・スピーキングの 2 パターンのクラスがありそこから LF クラス (基礎クラス) か UP クラス (大学準備クラス) にレベル別で 1~5 段階で振り分けされ、Fall semester, Spring semester, Summer semester の三学期がありその中で 1 term, 2 term に分かれています。私は一番下のクラスから始まり、最終的には UP 4 クラスを受け無事パスすることができました。課題自体はレベルや先生によってかなり違いますが、エッセイやプレゼンテーションはやはり難しく授業外でも取り組まなければよい成績が取れないので計画的に物事を進めることが重要だと思いました。また、積極的にわからないことを質問しなければすぐに授業が進んでしまうので、しっかりと話を聞き質問することがとても重要です。特に、プレゼンテーションは先生ごとに成績の付け方や内容が異なっており、詳細を明確に確認することが大切です。実際に説明をしっかりと聞かずに提出期限を過ぎた生徒はその一回のミスでクラスを落としていました。私は合計 5 term の授業を受けたのですが、一番大変だったのはやはり UP クラスです。もともとレベル設定が高いクラスなので大変なことは知っていましたが、先生自体が厳しく授業内容が難しくて最初の週はとても忙しかったです。1 term を通して大きなプレゼンテーションが 3 回あり、どれも内容が難しく原稿を作るのも暗記するのも禁止で、即興で話さないといけなかったので苦労した記憶があります。さらに、記述式のリスニングテスト、単語テスト、ディスカッションなど通常の授業でも 1 つ 1 つが難しくクラスの中でもレベルが下の私には難しすぎて、日本に帰りたい気持ちが常にありました。ですが、毎日真面目に授業に参加し、積極的に質問し一所懸命取り組んだおかげで、プレゼンテーションは 3 回とも高得点を取得し、平常成績でもよい成績を維持することができました。最初はとても難しく感じていた授業が、時間が経つにつれ慣れてきて、Final exam はさらに簡単に感じました。私にとってこの UP クラスは挑戦であり厳しい場面も多々ありましたがこのクラスを通し

て英語力が飛躍的に伸びたと感じました。日本とは授業スタイルが違い、生徒参加型の授業で最初はずれに面倒くさいと感じていたが、こなすうちに自分のレベルが上がっていくのが実感でき日本の英語教育にも取り入れるべき手法だと思いました。

約 10 か月間私は同じホームステイ先にお世話になっていました。ホストマザーとホストブラザー、犬 2 匹、猫 2 匹で生活していました。ナナイモについたときの最初の印象はとても自然豊かで海と山が共生したきれいな場所でした。沖縄とは明らかに違う自然環境、文化がとても興味深くホストファミリーとお互いの地域の文化や自然について話す機会がたくさんありました。また、沖縄という特殊な環境に興味を持ってくれたのかたくさん調べてくれて沖縄料理に近いものを作ってくれることもありました。ネットフリックスにて沖縄の長寿の秘訣というドキュメンタリービデオを探してくれて一緒に見たりし、互いに情報を共有しあい異文化に対して理解を深めることができたことがとても貴重な経験でした。実際に異国の地で過ごし現地の人と交流することが異文化理解において重要だと改めて実感しました。

週末はホストファミリーとハイキングや様々なイベントに行ったり、ホームパーティーを開いたり家族が集まって毎週末にぎやかな日々を過ごしていました。私の誕生日やサンクスギビングデイ、ハロウィン、クリスマス、イースターなどのイベントごとを本気で取り組む家族だったので日本にはない行事を楽しむことができ、いろいろな思い出をホストファミリーと作ることができました。留学先のホームステイではよくルールが厳しく制限がある家庭が多いと聞いていましたが、そんなことはなく基本的にお風呂の時間制限や門限もなく、外泊などをする際は連絡をすれば自由だったので快適な生活を送ることができました。基本的な生活用品（シャンプー、リンス、ボディーソープなど）も完備されていて日用品を買う必要はなく、大きなトラブルもなく快適なカナダ生活を送ることができました。ですが、文化がやはり違うので嫌なことは嫌と伝える勇気や、遠慮せず相談、頼みごとをすることが大切だと学びました。ホストファミリー側も何も言わなければ心配してしまうので定期的に話し合う機会を持つことをお勧めします。

私はこの留学期間中に 1 度だけトロント旅行に行きました。10 月に行き、きれいなナイアガラ滝を友達達と一緒に見ました。ホテルや飛行機のチケット、現地での食費など合わせて 10 万以内で旅行することができました。ですが、海外旅行ならではのトラブルをいくつも経験し日本との対応の差に幻滅することもありましたが、海外旅行の醍醐味と思えば楽しく過ごすことができました。旅行するにはクレームをすることが一番大切なので英語で強気な姿勢で挑むことが大切です。また、もし旅行を計画するならイベントごと（サンクスギビングデイやクリスマス）の前にすべての手続きすることを推奨します。

今回の留学は私にとってとても貴重でよい経験になり、大きな挑戦でもありました。昔からカナダに留学したい気持ちがあり今回の留学に踏み切ったのですが、やはりワーキングホリデーとは違い語学留学なのでお金がとてもかかりました。最初はお金の工面問題があり断念しようかとも考えていましたが、両親がサポートしてくれたおかげで実現できたと思います。なので、有意義な留学経験にしようと思い目標をたくさん立てました。ESL では目標であった UP クラスを取ることができ苦手だったスピーキングが飛躍的に伸びたと実感でき、英語で話すことにためらいが無くなったように感じます。最終目標であったアカデミックの授業を取ることはできませんでしたが、ESL で有意義な授業を受けることができ、たくさん外国人の友達を作ることで自分の短所であった人見知りも多少解消され、積極性が上がったと思います。私の性格的に内向的で引きこもり体質、一人行動が苦手なので初海外は心配でしたが、環境が変わった影響か沖縄いたときよりも外向的になりました。環境が人を変えるという言葉があるが、私はまさにそれを体験できたのだと思いました。留学に行きたいと考え

ている方や悩んでいる方は、お金の工面やいろいろな側面で問題が浮上してくると思いますが大きな心配はせずに挑戦してみることを進めます。私自身、問題がたくさんありましたが最終的にはとても楽しかったと思える留学を送ることができたので、時間やチャンスがあるうちに挑戦しいろいろなことを学ぶことが人生設計において大事だと思います。沖縄国際大学の派遣留学制度では年間81万円の留学奨学金があるので綿密な計画を立て挑戦し、余計な心配はせずにやりたいことを時間があるうちにやることをお勧めします。この留学を通して私は様々なことを学びました。カナダで学んだことを生かすために将来は外資系など英語を使う職業に就きたいと考えています。また、英語力が衰えないように定期的に資格検定試験を受け継続的に英語学習を続け、基地の中でアルバイトをしながらさらに英語力を高めていきたいと考えています。